

神奈川県医療費適正化に関するデータ分析

報 告 書

令和3年3月

目 次

1 医療費を巡る状況	1
(1) 医療費の状況	1
ア 神奈川県 の 県民医療費	1
(ア) 神奈川県 の 県民医療費	1
図1-1 神奈川県 の 県民医療費と伸び率の推移	1
図1-2 県民医療費の都道府県比較	2
図1-3 神奈川県 の 県民医療費に占める後期高齢者医療費(老人医療費)の割合の推移	2
(イ) 一人当たり医療費	2
図1-4 一人当たり県民医療費の都道府県比較	2
イ 神奈川県 の 概算医療費	3
(ア) 神奈川県 の 概算医療費	3
図1-5 神奈川県 の 概算医療費と伸び率の推移	3
図1-6 概算医療費の都道府県比較	4
(イ) 一人当たり医療費	4
a 一人当たり医療費	4
図1-7 一人当たり概算医療費の都道府県比較	4
図1-8 一人当たり概算医療費の都道府県比較[入院・入院外・歯科別の全国値に対する差]	5
図1-9 神奈川県 の 一人当たり概算医療費の推移	5
b 一人当たり日数と一日当たり医療費の関係	6
図1-10 一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[概算医療費][都道府県別]	6
図1-11 一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布[概算医療費][都道府県別]	7
図1-12 一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[概算医療費][都道府県別]	7
c 医療費の3要素から見た一人当たり医療費	8
表1-13 神奈川県 の 一人当たり概算医療費と医療費の3要素の推移	8
表1-14 一人当たり概算医療費と医療費の3要素の都道府県比較	9
d 受診率と一人当たり医療費の関係	10
図1-15 入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	11
図1-16 入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	11
e 一件当たり日数と一人当たり医療費の関係	12
図1-17 一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	13
図1-18 一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	13
f 一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係	14
図1-19 一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	15
図1-20 一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	15
(ウ) 一人当たり医療費と各種指標との関係	16
図1-21 高齢化率と一人当たり医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	17
図1-22 特定健康診査実施率と一人当たり医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	17
ウ 神奈川県 の 後期高齢者医療費(老人医療費)	18
(ア) 神奈川県 の 後期高齢者医療費(老人医療費)	18

図1-23	神奈川県の後期高齢者医療費(老人医療費)と伸び率の推移	18
図1-24	後期高齢者医療費の都道府県比較	19
図1-25	神奈川県の後期高齢者医療被保険者(老人医療受給対象者数)の推移	19
(イ)	一人当たり医療費	20
a	一人当たり医療費	20
図1-26	一人当たり後期高齢者医療費の都道府県比較	21
図1-27	一人当たり後期高齢者医療費の都道府県比較[入院・入院外・歯科別の全国値に対する差]	21
図1-28	一人当たり後期高齢者医療費の県内圏域・市町村比較	22
図1-29	一人当たり後期高齢者医療費の県内圏域・市町村比較 [入院・入院外・歯科別の県全体に対する差]	22
図1-30	神奈川県の一入当たり後期高齢者医療費(老人医療費)の推移	22
b	一人当たり日数と一日当たり医療費の関係	23
図1-31	一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[後期高齢者医療費][都道府県別]	24
図1-32	一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布 [後期高齢者医療費][都道府県別]	24
図1-33	一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[後期高齢者医療費][都道府県別]	25
図1-34	一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]	25
図1-35	一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]	26
図1-36	一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]	26
c	医療費の3要素から見た一人当たり医療費	27
表1-37	神奈川県の一入当たり後期高齢者医療費(老人医療費)と医療費の3要素の推移	28
表1-38	一人当たり後期高齢者医療費と医療費の3要素の都道府県比較	29
表1-39	一人当たり後期高齢者医療費と医療費の3要素の県内圏域・市町村比較	30
図1-40	受診率の県内圏域・市町村比較 [後期高齢者医療費][入院・入院外・歯科別の県全体に対する差]	31
図1-41	一件当たり日数の県内圏域・市町村比較 [後期高齢者医療費][入院・入院外・歯科別の県全体に対する差]	31
図1-42	一日当たり医療費の県内圏域・市町村比較 [後期高齢者医療費][入院・入院外・歯科別の県全体に対する差]	32
d	受診率と一人当たり医療費の関係	33
図1-43	入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]	34
図1-44	入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]	34
図1-45	入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]	35
図1-46	入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]	35
e	一件当たり日数と一人当たり医療費の関係	36
図1-47	一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]	37
図1-48	一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係 [後期高齢者医療費][都道府県別]	37
図1-49	一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]	38
図1-50	一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]	38
f	一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係	39
図1-51	一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]	40
図1-52	一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係	

[後期高齢者医療費][都道府県別].....	40
図1-53 一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別].....	41
図1-54 一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係 [後期高齢者医療費][市町村別].....	41
(ウ) 一人当たり医療費と各種指標との関係.....	42
図1-55 特定健康診査実施率と一人当たり医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別].....	42
エ 県民所得と医療費の関係.....	43
表1-56 県民所得と県概算医療費・県後期高齢者医療費(老人医療費)の推移.....	43
オ 神奈川県における後発医薬品の状況.....	44
図1-57 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の年別提供推移.....	45
図1-58 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の制度別使用割合.....	45
図1-59 都道府県別の後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用割合.....	45
カ 神奈川県におけるがん検診の状況.....	46
図1-60 神奈川県国民健康保険における悪性新生物の医療費の推移.....	47
図1-61 神奈川県の後期高齢者医療制度における悪性新生物の医療費の推移.....	47
図1-62 神奈川県のがん検診受診率推移.....	48
(2) 生活習慣病を中心に見た医療費.....	49
ア 神奈川県国民健康保険における疾病別医療費.....	49
表2-1 神奈川県国民健康保険における医療費上位10疾病[年齢階層別][中分類].....	50
表2-2 神奈川県国民健康保険における一人当たり医療費上位10疾病[年齢階層別][中分類].....	52
表2-3 神奈川県国民健康保険における受診率上位10疾病[年齢階層別][中分類].....	54
表2-4 神奈川県国民健康保険における一件当たり医療費上位10疾病[年齢階層別][中分類].....	56
イ 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費.....	58
(7) 年齢階層別に見た状況.....	58
図2-5 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費構成比[年齢階層別].....	58
図2-6 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一人当たり医療費[年齢階層別].....	59
図2-7 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率[年齢階層別].....	59
図2-8 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一件当たり医療費[年齢階層別].....	60
(イ) 年齢階層別の医療費の推移.....	61
表2-9 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費の推移[年齢階層別].....	61
表2-10 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一人当たり医療費の推移[年齢階層別].....	63
表2-11 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率の推移[年齢階層別].....	65
表2-12 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一件当たり医療費の推移[年齢階層別].....	67
(ウ) 県内圏域別の状況.....	69
表2-13 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費の県内圏域比較.....	70
表2-14 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の 一人当たり医療費の県内圏域比較.....	70
表2-15 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率の県内圏域比較.....	71
表2-16 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の 一件当たり医療費の県内圏域比較.....	71
ウ 神奈川県後期高齢者医療制度における医療費.....	72

(ア) 神奈川県の後期高齢者医療制度における疾病別医療費	72
表2-17 神奈川県の後期高齢者医療制度における医療費上位10疾病[年齢階層別][中分類]	73
表2-18 神奈川県の後期高齢者医療制度における 一件当たり医療費上位10疾病[年齢階層別][中分類]	76
(イ) 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の医療費	79
図2-19 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の医療費構成比[年齢階層別]	79
図2-20 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の一件当たり医療費[年齢階層別]	80
エ 全国との比較	81
(ア) 医療費の構成	81
図2-21 全国と神奈川県の国民健康保険及び後期高齢者医療における医療費の構成	81
オ 神奈川県における糖尿病の状況	82
図2-22 神奈川県内の糖尿病患者数の推移	82
図2-23 神奈川県内の糖尿病性腎症の年間新規透析導入患者数	82
(3) 医療の提供体制を巡る状況	83
ア 医療施設数の状況	83
(ア) 医療施設数の状況	83
図3-1 全病院数(人口10万人当たり)[都道府県別]	83
図3-2 一般病院数(人口10万人当たり)[都道府県別]	84
図3-3 精神科病院数(人口10万人当たり)[都道府県別]	84
図3-4 一般診療所数(人口10万人当たり)[都道府県別]	84
図3-5 歯科診療所数(人口10万人当たり)[都道府県別]	84
表3-6 医療施設数(人口10万人当たり)の推移	85
図3-7 全病院数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	86
図3-8 一般病院数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	86
図3-9 精神科病院数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	86
図3-10 一般診療所数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	87
図3-11 歯科診療所数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	87
(イ) 医療施設数と一人当たり概算医療費の関係	88
図3-12 一般病院数(人口10万人当たり)と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	89
図3-13 一般診療所数(人口10万人当たり)と一人当たり入院外医療費の関係 [概算医療費][都道府県別]	89
イ 病床数の状況	90
(ア) 病床数の状況	90
図3-14 全病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]	90
図3-15 一般病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]	90
図3-16 療養病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]	91
図3-17 精神病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]	91
表3-18 病床数(人口10万人当たり)の推移	91
図3-19 全病床数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	92
図3-20 一般病床数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	92

図3-21 療養病床数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	92
図3-22 精神病床数(人口10万人当たり)[県内圏域別]	93
(イ) 病床数と一人当たり概算医療費の関係	94
図3-23 全病床数(人口10万人当たり)と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]	94
(ウ) 病床数と一人当たり後期高齢者医療費の関係	95
図3-24 全病床数(人口10万人当たり)と一人当たり入院医療費の関係 [後期高齢者医療費][都道府県別]	95

2 神奈川県の特徴と課題	96
(1) 神奈川県の特徴	96
ア 医療費の状況	96
イ 生活習慣病を中心に見た医療費	97
ウ 医療の提供体制を巡る状況	97
(2) 重点的に取り組むべき課題	98
ア 健康の保持の推進	98
イ 効率的な医療の提供	100
ウ 適正な受診の促進	100

1 医療費を巡る状況

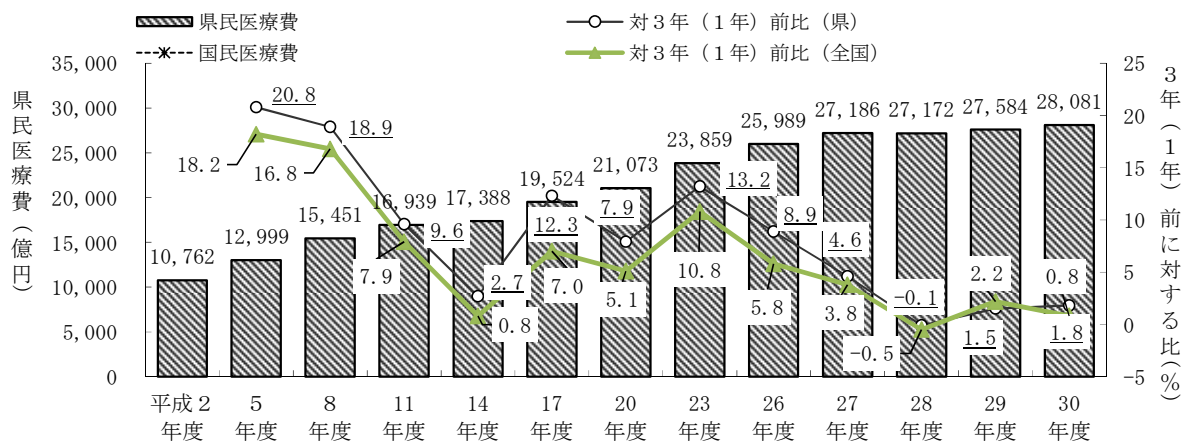
(1) 医療費の状況

ア 神奈川県 の 県民医療費

(7) 神奈川県 の 県民医療費

- 厚生労働省「国民医療費」の都道府県別医療費^(※1)は平成26年度までは3年に1回、平成27年度からは毎年度公表されますが、直近の統計である平成30年度の神奈川県の県民医療費は2兆8,081億円です。統計のある平成2年度以降平成27年度まで増加し続けていましたが、平成27年度以降はほぼ横ばいとなり、平成30年度は前年度からやや増加となっています。(図1-1)
- 県民医療費の3年(1年)前に対する伸び率(比)は、平成14年度まで低下を続け、平成17年度から上昇と低下を交互に繰り返した後、平成26年度以降低下が続いていましたが、平成29年度以降は上昇しています。また、国民医療費の3年(1年)前に対する伸び率(比)を上回って推移していましたが、平成30年度の県民医療費の伸び率(1.8%)は、国民医療費(0.8%)を上回っています。(図1-1)
- 平成30年度の県民医療費は、都道府県比較で高い方から3番目です。(図1-2)
- 神奈川県の後期高齢者医療費(老人医療費)の県民医療費に占める割合は、平成2年度以降ほぼ一貫して増加しています。平成17から20年度は平成14年度からの老人医療受給対象者の減少の影響を受け減少しましたが、平成23年度から再び増加しています。また、平成2年度以降、全国の後期高齢者医療費(老人医療費)の国民医療費に占める割合を下回って推移していますが、平成20年度以降、その差は徐々に縮まっています。(図1-3)

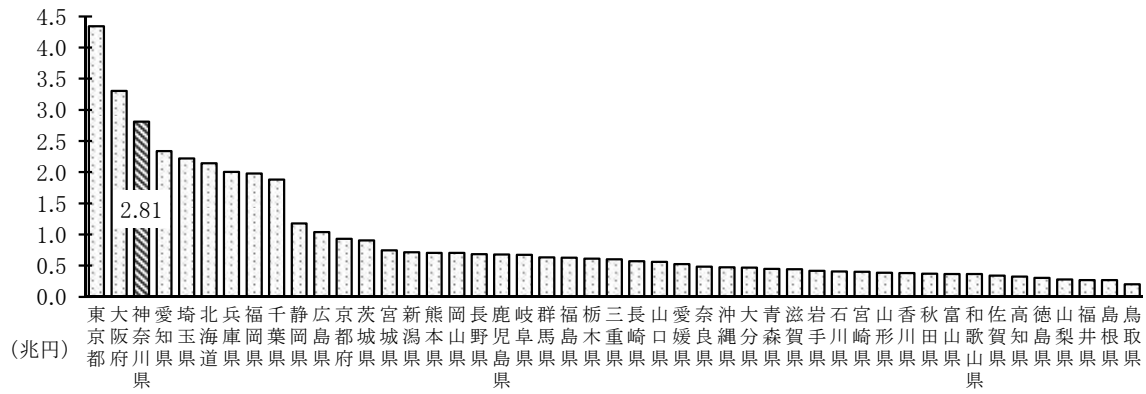
図1-1 神奈川県 の 県民医療費 と 伸び率 の 推移



出典：厚生労働省 国民医療費（平成8、11、14、17、20、23、26、27、28、29、30年度）

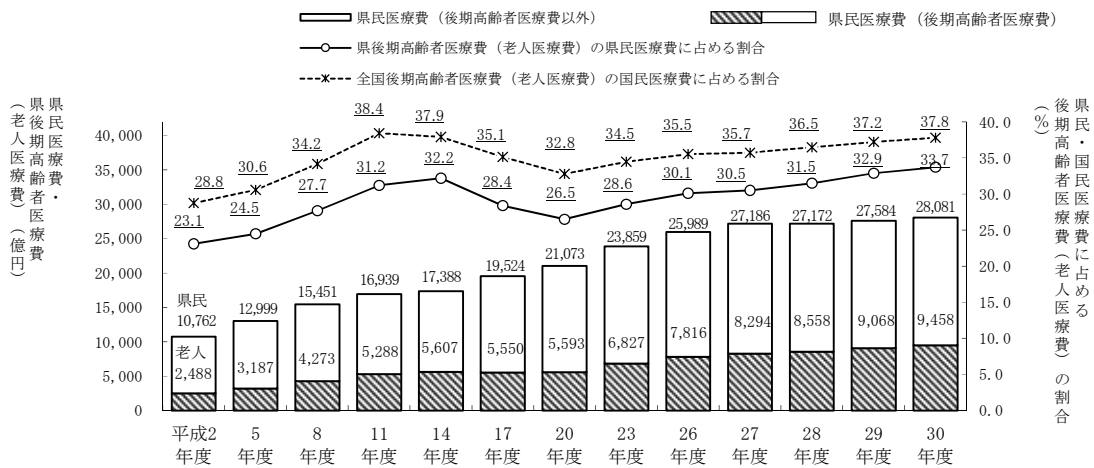
※1 都道府県別に見た国民医療費（都道府県民医療費）は、平成26年度までは3年に1回公表されていましたが、平成27年度からは毎年度公表するようになりました。そのため、図1-1及び図1-3は平成26年度までは3年間隔で表記しています。

図1-2 県民医療費の都道府県比較



出典：厚生労働省 国民医療費（平成30年度）

図1-3 神奈川県の県民医療費に占める後期高齢者医療費（老人医療費）の割合の推移



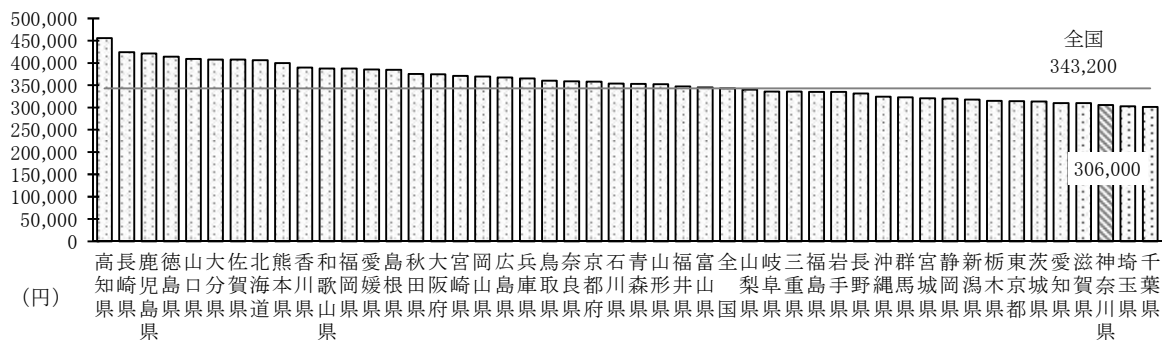
出典：厚生労働省 国民医療費（各年度）

厚生労働省 老人医療事業年報（平成2～17年度）

厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成20、23、26、27、28、29、30年度）

(イ) 一人当たり医療費

○ 平成30年度の県民一人当たり医療費は、30万6,000円で全国の34万3,200円を下回っており、都道府県比較で低い方から3番目です。（図1-4）



出典：厚生労働省 国民医療費（平成30年度）

総務省 人口推計（平成30年）

イ 神奈川県概算医療費

厚生労働省の「概算医療費」は、診療報酬明細書（レセプト）の集計で、医療費総額には、医科入院、医科入院外、歯科及び調剤の医療費並びに入院時食事療養及び訪問看護療養の費用額が含まれ、平成18年10月以降分は、入院時生活療養の費用額も含まれます。一方、現物給付でない分（はり・きゅう、保険証忘れ等による全額自費による支払い分、労災医療費等）は含まれていませんが、概算医療費は医療費全体を示す国民医療費の約98%にあたることから、概算医療費により医療費の動向を把握することが可能です。

集計の範囲は、社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会で処理される診療報酬等の計数（点数、費用額、件数及び日数）を集計し、報酬の点数を10倍して、概算医療費として評価しています。

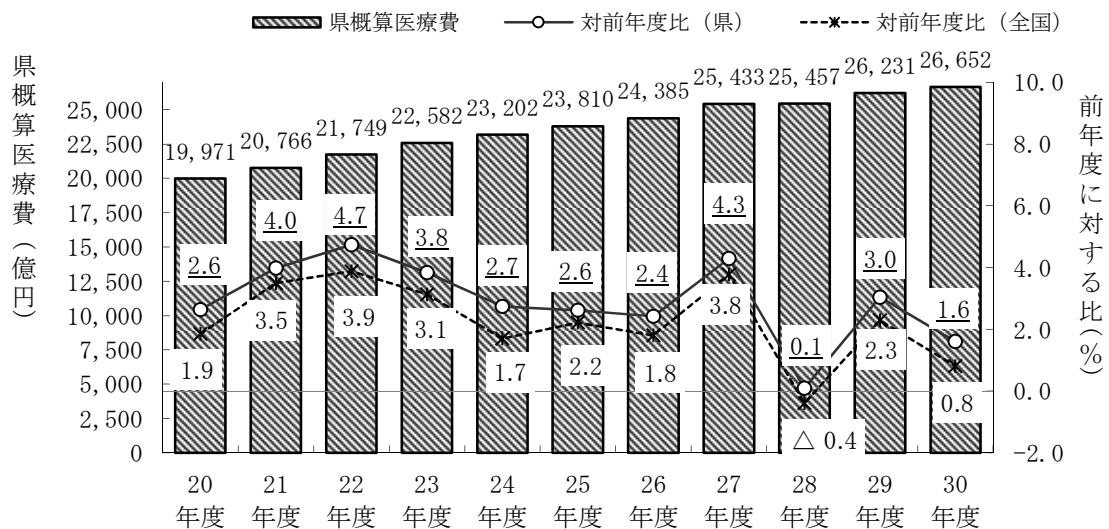
都道府県別データは、医療機関所在地の都道府県別データであり、県民医療費とは異なります。

なお、概算医療費では一人当たり医療費は公表されていませんが、本書では総務省の人口推計及び国勢調査のデータを用いて一人当たり医療費を算出しています。

(7) 神奈川県概算医療費

- 神奈川県の平成30年度の概算医療費^(※1)は2兆6,652億円で、平成20年度以降、増加を続けています。(図1-5)
- 神奈川県の概算医療費の対前年度比伸び率は、全国を上回って推移しています。平成30年度の対前年度比伸び率は神奈川県が1.6%、全国が0.8%です。(図1-5)
- 平成30年度の神奈川県の概算医療費は、都道府県比較で高い方から3番目です。(図1-6)

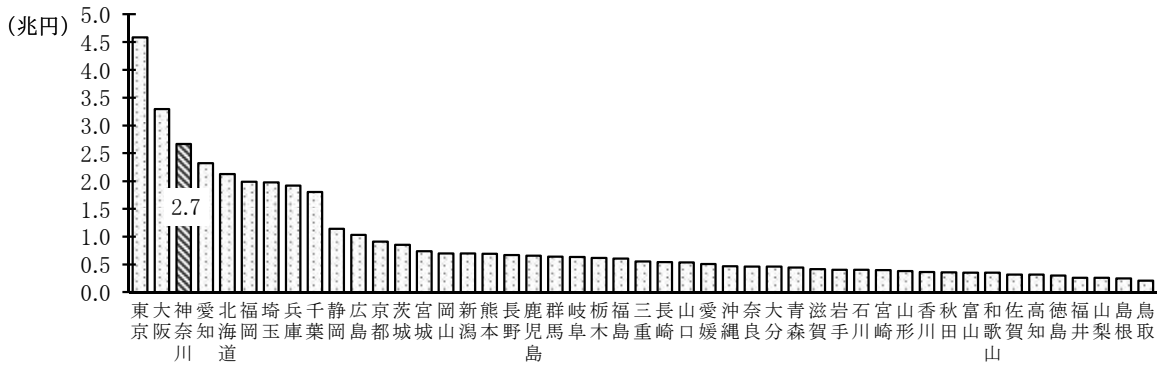
図1-5 神奈川県の概算医療費と伸び率の推移



出典：厚生労働省 概算医療費（平成20年4月～平成31年3月）

※1 概算医療費は、月ごとのデータですが、本書では4月～3月のデータを年度のデータとして取り扱います。

図1-6 概算医療費の都道府県比較



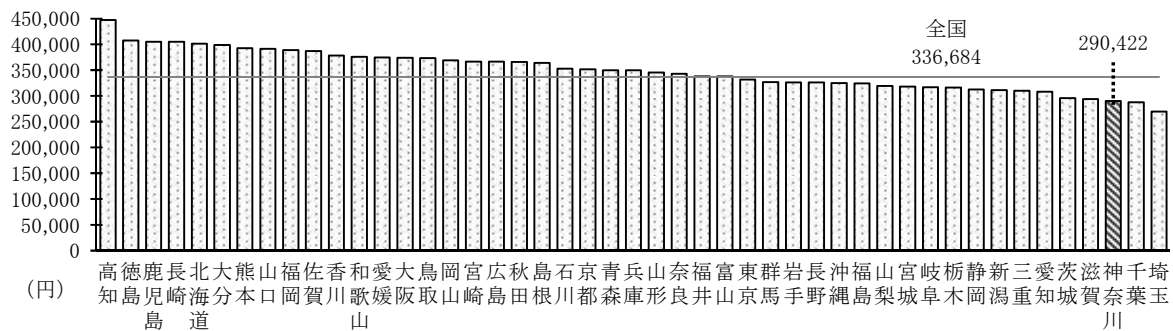
出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）

(イ) 一人当たり医療費

a 一人当たり医療費

- 神奈川県は平成30年度の一人当たり概算医療費は、29万422円で全国の33万6,684円を下回っており、都道府県比較で低い方から3番目です。(図1-7)
- 神奈川県は平成30年度の一人当たり概算医療費を入院、入院外、歯科^(※1)別にみると、入院医療費が10万5,143円、入院外医療費が16万412円、歯科医療費は2万3,195円ですべて全国値を下回っています。(図1-8)
- 都道府県の一人当たり概算医療費について、入院、入院外、歯科ごとに全国値との差をとると、一人当たり概算医療費の都道府県ごとの差は入院医療費の差が大きく影響しています。(図1-8)
- 平成20～30年度までの神奈川県の一人当たり概算医療費は、全国の一人当たり概算医療費を下回って推移しています。また、平成20年度以降増加を続けています。(図1-9)

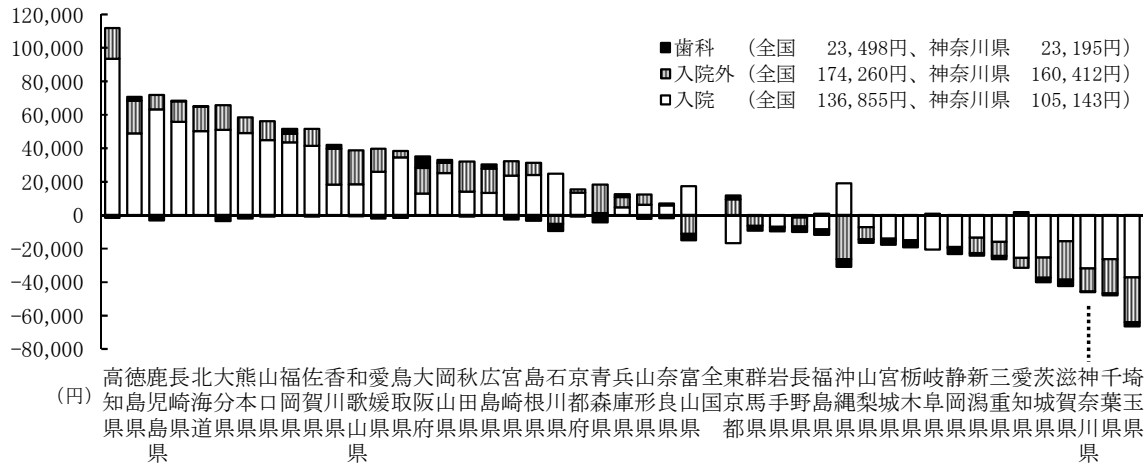
図1-7 一人当たり概算医療費の都道府県比較



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

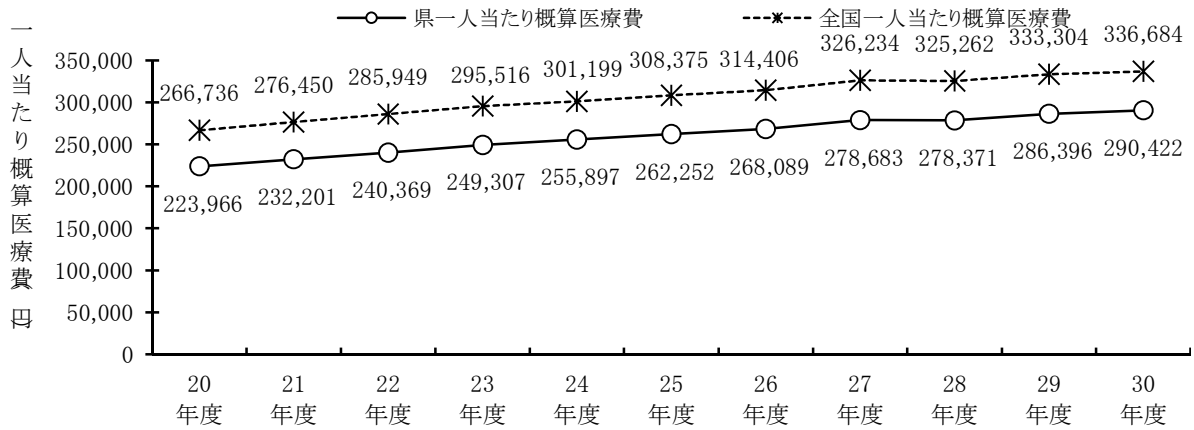
※1 概算医療費を分析するに当たり後期高齢者医療費（老人医療費）と比較するため、「入院」は医科入院（入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額を含む）の計数、「入院外」は医科入院外及び調剤の計数の合計、「歯科」は歯科入院（入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額を含む）と歯科入院外の計数の合計としています。

図1-8 一人当たり概算医療費の都道府県比較[入院・入院外・歯科別の全国値に対する差] (※1)



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図1-9 神奈川県の一入当たり概算医療費の推移



出典：厚生労働省 概算医療費（平成20年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成18～21年、23～26年、28年、29年、30年）

総務省 国勢調査（平成22年、27年）

※1 図1-8は入院・入院外・歯科別医療費の全国値に対する差を見たもので、全国値を上回ったものは0より上に積み上げられ、逆に下回ったものは0より下に積み上げられています。図1-7では訪問看護療養の費用額が含まれていますが、図1-8では含まれていないため、都道府県順位が若干異なっています。

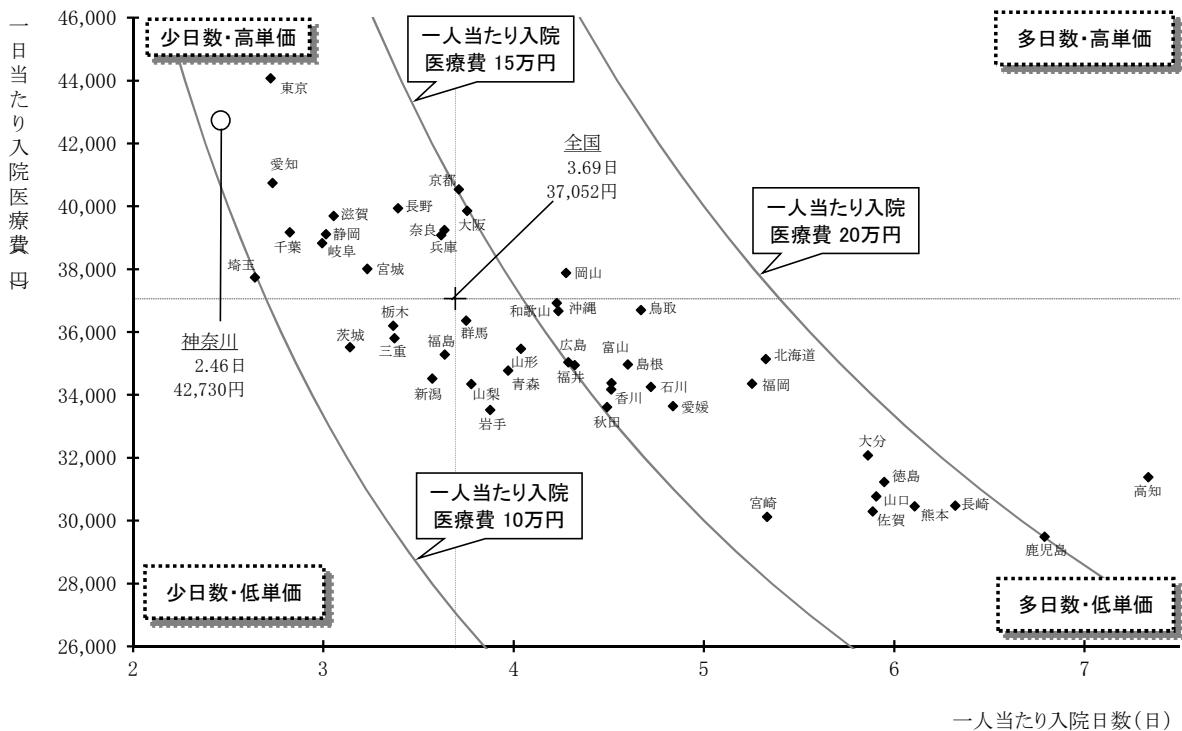
※2 人口推計については、平成22年は国勢調査結果による補間補正人口を用いています。

b 一人当たり日数と一日当たり医療費の関係

- 平成30年度の概算医療費について、一人当たり日数と一日当たり医療費の関係を都道府県と比較すると、入院、入院外では一人当たり日数が短いほど一日当たり医療費が高い傾向がありますが、歯科では顕著な傾向は見られません。(図1-10～図1-12)
- 当該年度の一人当たり日数と一日当たり医療費を掛け合わせると一人当たり医療費^(※1)になり、一人当たり日数、一日当たり医療費の高さが一人当たり医療費を押し上げる要因となります。入院、入院外については「少日数・高単価」よりも「多日数・低単価」に分類される都道府県の一人当たり医療費が高い傾向にあることから、一人当たり医療費の高さは一人当たり日数の長さにより強く影響されるものと考えられますが、歯科については、明確な影響は見られません。(図1-10～図1-12)
- 神奈川県は、入院が2.46日、入院外が12.07日、歯科が3.21日で、全て全国値を下回っています。また、神奈川県は一日当たり医療費は、入院が4万2,730円、入院外が1万3,294円、歯科が7,227円で、入院は全国値を上回り、歯科もわずかながら全国値を上回っています。一方、入院外はわずかながら全国値を下回っています。(図1-10～図1-12)
- 神奈川県は、入院は「少日数・高単価」に分類され、入院外と歯科は「少日数」で「高単価」と「低単価」の中間に位置しています。(図1-10～図1-12)

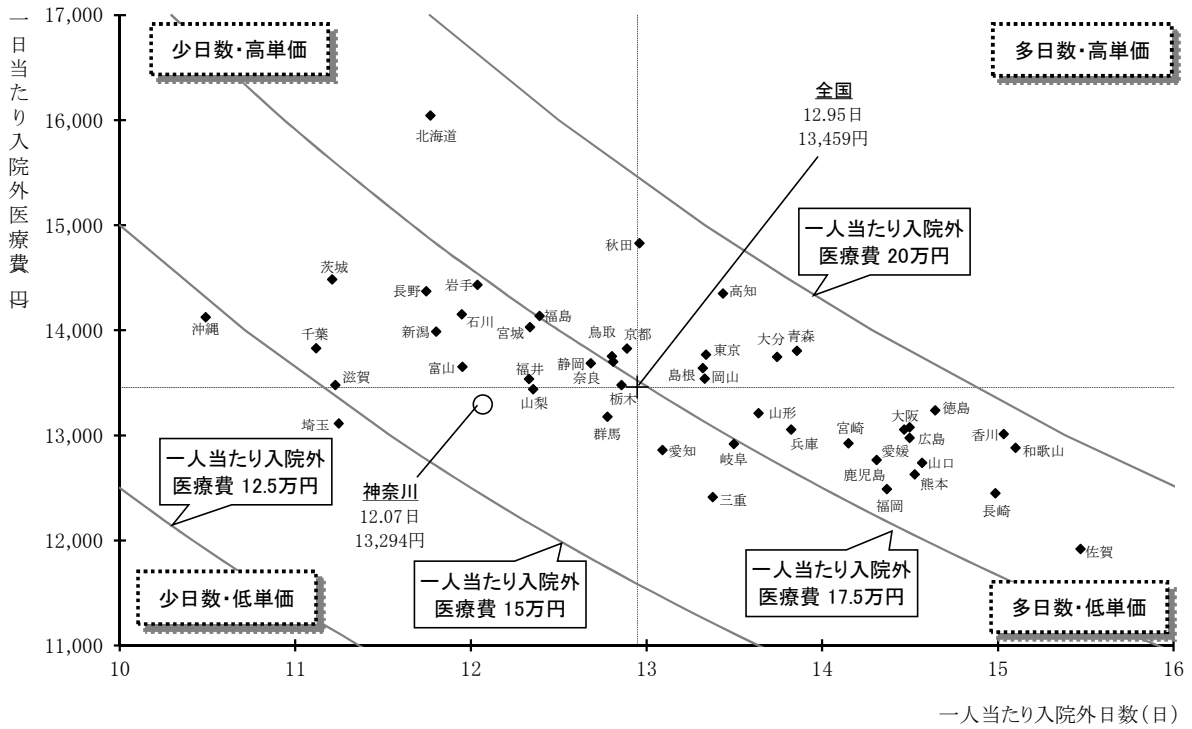
※1 「一人当たり医療費」は、「医療費の3要素」といわれる「受診率(一人当たり)」「一件当たり日数」「一日当たり医療費」に分けることができ、これらは医療費分析の基本となります。三つを掛け合わせると「一人当たり医療費」となり、「受診率(一人当たり)」と「一件当たり日数」を掛け合わせると「一人当たり日数」となります。

図1-10 一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[概算医療費][都道府県別]



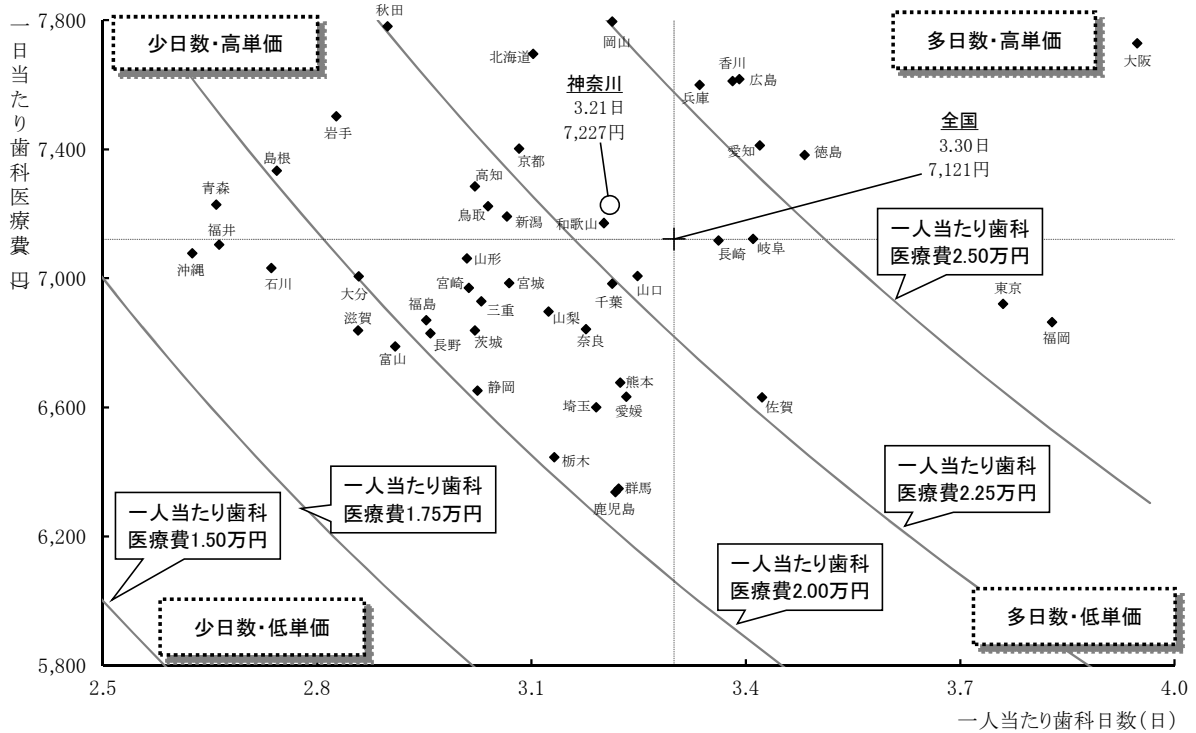
出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図1-1-1 一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図1-1-2 一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

c 医療費の3要素から見た一人当たり医療費

- 神奈川県のご算医療費について、平成21から30年度の一人当たり医療費の推移をみると、入院、歯科、訪問看護は増加傾向にあります。入院外では平成28年度に一旦減少したものの、平成29年度から再び増加しています。入院外のうち、調剤だけをみると平成30年度は前年度から減少しています。(表1-13)
- 平成21から30年度の医療費の3要素^(※1)の推移をみると、受診率については、入院・入院外・歯科のいずれも一貫して増加傾向にあります。一件当たり日数は、入院外、歯科が一貫して減少していますが、入院は減少が続いた後、平成30年度は横ばいです。また、一日当たり医療費については、入院は一貫して増加しています。入院外は増加傾向ですが、平成28年度及び平成30年度は一旦減少しています。(表1-13)
- 平成30年度の神奈川県の入院、入院外、歯科の一人当たり医療費及び医療費の3要素をみると、一人当たり医療費は28万8,750円、受診率は987.93件、一件当たり日数(平均)は1.8日、一日当たり医療費(平均)は1万6,280円で、いずれも全国値を下回っています。(表1-14)

表1-13 神奈川県の一人当たり概算医療費と医療費の3要素の推移^(※2)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
												神奈川県
一人当たり医療費(円)	入院	81,016	86,046	88,831	92,212	93,777	95,707	97,557	98,969	102,055	105,143	136,855
	入院外	131,374	134,392	139,928	142,717	147,151	150,139	158,312	156,043	160,296	160,412	174,260
	(再掲)調剤	47,939	49,567	53,079	53,579	56,220	57,285	62,446	59,483	61,253	59,362	59,114
	歯科	19,398	19,474	20,036	20,376	20,653	21,422	21,833	22,189	22,644	23,195	23,498
	訪問看護費用額	412	456	513	592	671	821	981	1,173	1,401	1,674	2,070
受診率(100人当たり件数)	入院	16.47	16.65	16.78	16.99	17.09	17.23	17.43	17.60	17.88	18.03	24.17
	入院外	720.20	715.45	723.86	739.97	741.64	751.20	765.07	770.43	780.04	787.50	831.65
	歯科	146.90	148.69	153.86	157.85	162.34	168.21	171.89	174.52	178.80	182.41	186.49
一件当たり日数(日)	入院	14.58	14.47	14.37	14.18	14.05	13.89	13.80	13.71	13.65	13.65	15.28
	入院外	1.68	1.69	1.67	1.64	1.62	1.60	1.58	1.56	1.55	1.53	1.56
	歯科	2.11	2.07	2.03	1.98	1.94	1.90	1.87	1.83	1.79	1.76	1.77
一日当たり医療費(円)	入院	33,742	35,734	36,835	38,279	39,067	39,994	40,559	41,017	41,818	42,730	37,052
	入院外	10,857	11,121	11,584	11,778	12,278	12,475	13,079	12,952	13,269	13,294	13,459
	歯科	6,270	6,331	6,409	6,514	6,547	6,690	6,806	6,942	7,069	7,227	7,121

出典：厚生労働省 概算医療費(平成20年4月～平成31年3月)
 総務省 人口推計(平成18～21年、23～26年、28年、29年、29年)
 総務省 国勢調査(平成22年、27年)

- ※1 本書における医療費の3要素は、入院(診療費、入院時食事療養費、入院時生活療養費)、入院外(診療費、調剤の医療費)、歯科(診療費、入院時食事療養費、入院時生活療養費)を対象としています。
 ※2 一人当たり医療費は、入院、入院外等ごとに単位未満を四捨五入しているため、これらの合計と概算医療費から算出した一人当たり医療費とが一致しない年度があります。

表1-14 一人当たり概算医療費と医療費の3要素の都道府県比較^(※1)

	一人当たり 医療費		入院・入院外・歯科								
			一人当たり 医療費		受診率 (100人当たり)		一件当たり日数 (平均)		一日当たり医療費 (平均)		
	単位:円	(順位)	単位:円	(順位)	単位:件	(順位)	単位:日	(順位)	単位:円	(順位)	
全 国	336,684	—	334,613	—	1,042.31	—	1.91	—	16,780	—	
都 道 府 県	北 海 道	401,431	(5)	399,774	(5)	985.65	(40)	2.05	(13)	19,795	(1)
	青 森	350,272	(23)	348,595	(23)	1,058.37	(25)	1.94	(23)	17,016	(19)
	岩 手	326,298	(31)	324,887	(31)	1,019.76	(34)	1.84	(34)	17,335	(14)
	宮 城	318,284	(36)	316,834	(36)	1,048.39	(26)	1.77	(47)	17,038	(18)
	秋 田	366,465	(19)	365,647	(17)	1,079.81	(15)	1.88	(29)	17,969	(6)
	山 形	345,810	(25)	344,601	(25)	1,134.80	(3)	1.82	(37)	16,659	(25)
	福 島	324,686	(34)	323,688	(33)	1,042.93	(31)	1.82	(39)	17,048	(16)
	茨 城	295,553	(43)	294,515	(43)	949.55	(43)	1.83	(36)	16,956	(20)
	栃 木	316,523	(38)	315,372	(37)	1,043.32	(30)	1.86	(31)	16,293	(40)
	群 馬	326,799	(30)	325,201	(30)	1,045.04	(29)	1.89	(28)	16,466	(35)
	埼 玉	269,774	(47)	268,217	(47)	927.90	(46)	1.84	(33)	15,703	(45)
	千 葉	288,104	(46)	286,804	(46)	942.32	(45)	1.82	(38)	16,718	(23)
	東 京	331,852	(29)	329,674	(29)	1,110.63	(8)	1.78	(46)	16,632	(28)
	神 奈 川	290,424	(45)	288,750	(45)	987.93	(39)	1.80	(45)	16,280	(41)
	新 潟	311,446	(40)	310,425	(40)	1,019.89	(33)	1.81	(42)	16,835	(21)
	富 山	338,408	(28)	337,120	(27)	999.02	(38)	1.94	(22)	17,402	(12)
	石 川	352,914	(21)	350,012	(21)	968.11	(42)	2.00	(17)	18,038	(4)
	福 井	338,485	(27)	335,978	(28)	969.45	(41)	1.99	(18)	17,373	(13)
	山 梨	319,583	(35)	318,163	(35)	1,013.39	(35)	1.90	(27)	16,544	(30)
	長 野	325,864	(32)	324,574	(32)	1,007.33	(36)	1.80	(44)	17,940	(7)
	岐 阜	316,961	(37)	314,860	(38)	1,083.42	(13)	1.84	(35)	15,820	(44)
	静 岡	312,502	(39)	311,496	(39)	1,037.57	(32)	1.80	(43)	16,641	(27)
	愛 知	307,755	(42)	305,067	(42)	1,060.12	(24)	1.82	(41)	15,853	(43)
	三 重	310,289	(41)	308,291	(41)	1,073.46	(17)	1.85	(32)	15,554	(46)
	滋 賀	293,862	(44)	292,118	(44)	944.02	(44)	1.82	(40)	17,043	(17)
	京 都	351,704	(22)	349,349	(22)	999.73	(37)	1.96	(19)	17,825	(8)
	大 阪	373,999	(14)	369,809	(15)	1,105.16	(10)	2.01	(16)	16,657	(26)
	兵 庫	349,683	(24)	347,253	(24)	1,077.24	(16)	1.93	(25)	16,713	(24)
	奈 良	342,547	(26)	339,908	(26)	1,047.73	(27)	1.87	(30)	17,323	(15)
	和 歌 山	376,202	(12)	372,766	(12)	1,157.89	(1)	1.95	(20)	16,539	(31)
	鳥 取	373,587	(15)	371,456	(14)	1,064.61	(21)	1.93	(24)	18,036	(5)
	島 根	364,539	(20)	362,635	(20)	1,072.73	(19)	1.93	(26)	17,549	(11)
	岡 山	369,312	(16)	367,522	(16)	1,071.65	(20)	1.94	(21)	17,652	(10)
	広 島	366,938	(18)	364,807	(18)	1,081.85	(14)	2.05	(14)	16,480	(33)
	山 口	391,899	(8)	390,062	(8)	1,124.92	(5)	2.11	(10)	16,443	(36)
	徳 島	407,935	(2)	405,258	(2)	1,129.80	(4)	2.13	(8)	16,834	(22)
	香 川	378,695	(11)	376,613	(11)	1,117.42	(6)	2.05	(11)	16,418	(37)
	愛 媛	374,849	(13)	372,272	(13)	1,099.36	(11)	2.05	(12)	16,495	(32)
	高 知	447,219	(1)	444,960	(1)	1,062.29	(23)	2.24	(2)	18,702	(2)
	福 岡	389,122	(9)	386,108	(9)	1,089.20	(12)	2.15	(5)	16,466	(34)
	佐 賀	387,541	(10)	385,371	(10)	1,109.21	(9)	2.23	(3)	15,551	(47)
	長 崎	404,744	(4)	403,071	(4)	1,137.24	(2)	2.17	(4)	16,340	(39)
	熊 本	392,952	(7)	390,973	(7)	1,114.21	(7)	2.14	(7)	16,387	(38)
	大 分	399,277	(6)	396,915	(6)	1,045.50	(28)	2.15	(6)	17,670	(9)
	宮 崎	366,979	(17)	364,425	(19)	1,063.01	(22)	2.12	(9)	16,202	(42)
	鹿 児 島	405,364	(3)	403,260	(3)	1,073.05	(18)	2.27	(1)	16,583	(29)
	沖 縄	324,984	(33)	322,744	(34)	859.31	(47)	2.02	(15)	18,612	(3)

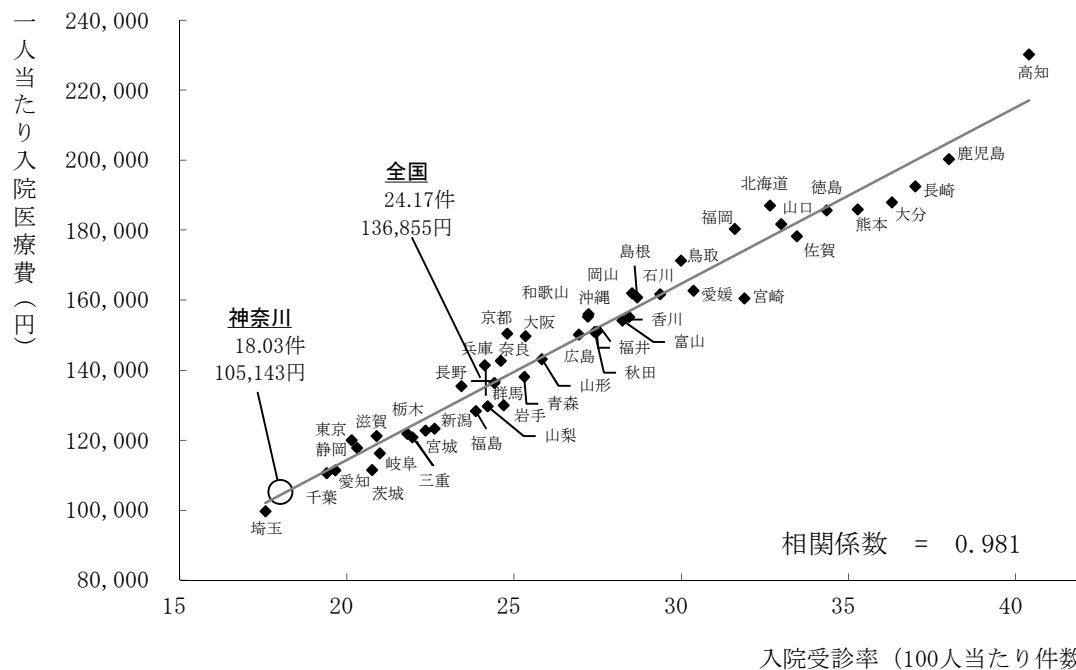
出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

※1 最大値と最小値の各5位までに網掛けしています。

d 受診率と一人当たり医療費の関係

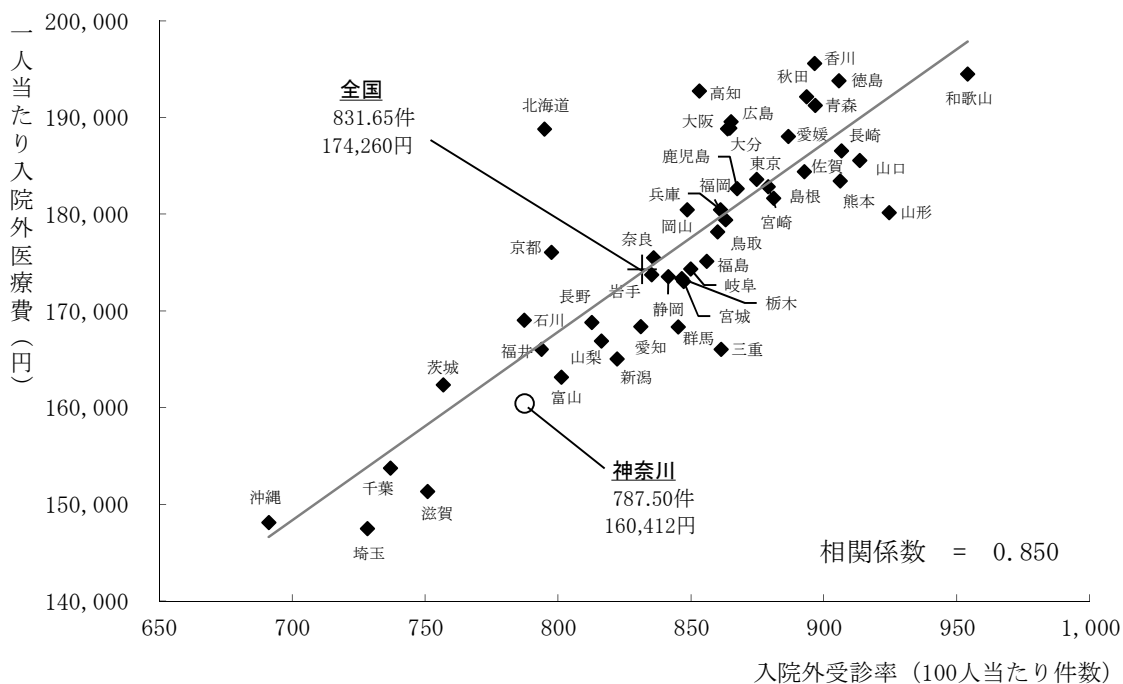
- 平成30年度の概算医療費について、受診率と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、受診率が高いほど一人当たり医療費が高くなる傾向があり、入院では特に強い相関が見られます。
(図1-15～図1-16)
- 神奈川県を受診率は、入院が18.03件、入院外が787.5件でいずれも全国値を下回っており、特に入院では、都道府県比較で少ない方から2番目となっています。(図1-15～図1-16)

図1-15 入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別] (※1)



※1 グラフ中にある斜めの直線で表わされた補助線 (回帰直線) は、各都道府県データ (全国値を含む48件) が示す点との距離の合計が最小となるよう (最小二乗法) に求めたものです。県内市町村別のグラフでは、各市町村データ (神奈川県値を含む34件) が示す点との距離の合計が最小となるよう (最小二乗法) に求めたものです。

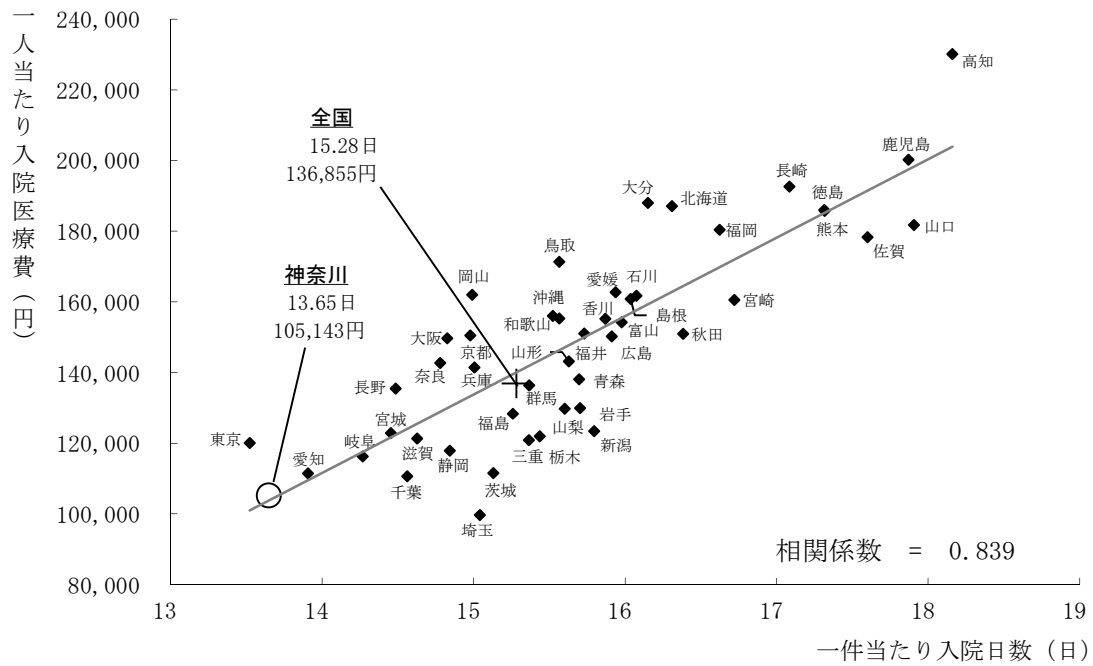
図1-16 入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



e 一件当たり日数と一人当たり医療費の関係

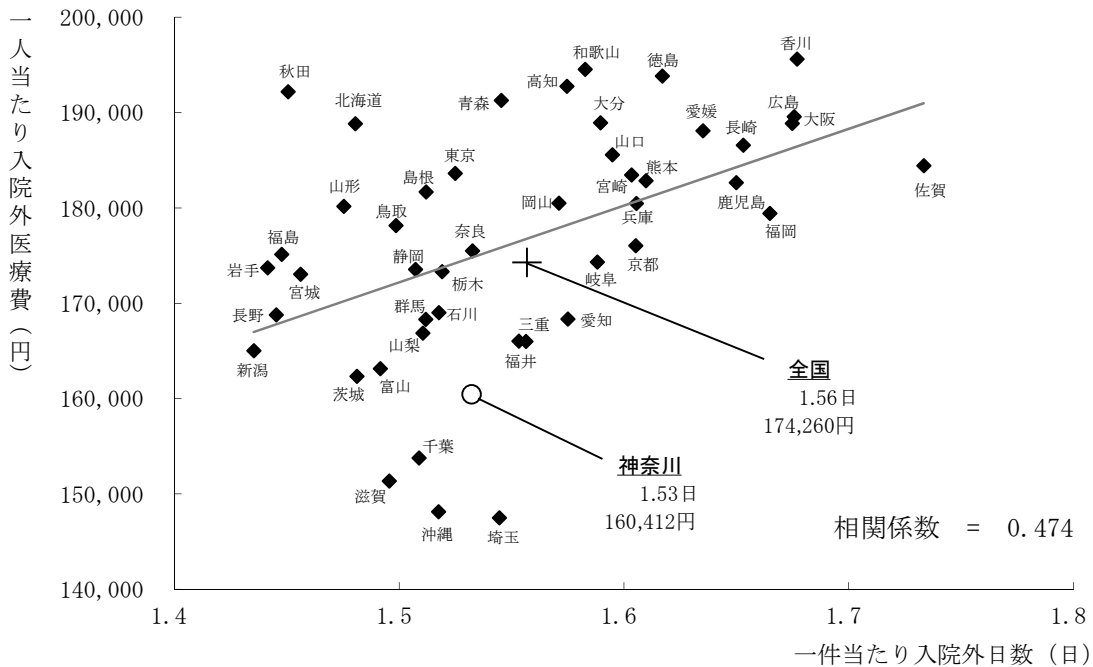
- 平成30年度の概算医療費について、一件当たり日数と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、入院、入院外は一件当たり日数が多いほど一人当たり医療費が高くなる傾向があり、特に入院では強い相関が見られます。(図1-17～図1-18)
- 神奈川県的一件当たり日数は、入院が13.65日、入院外が1.53日で、いずれも全国値を下回っており、特に入院では、都道府県比較で少ない方から2番目となっています。(図1-17～図1-18)

図 1-17 一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図 1-18 一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]

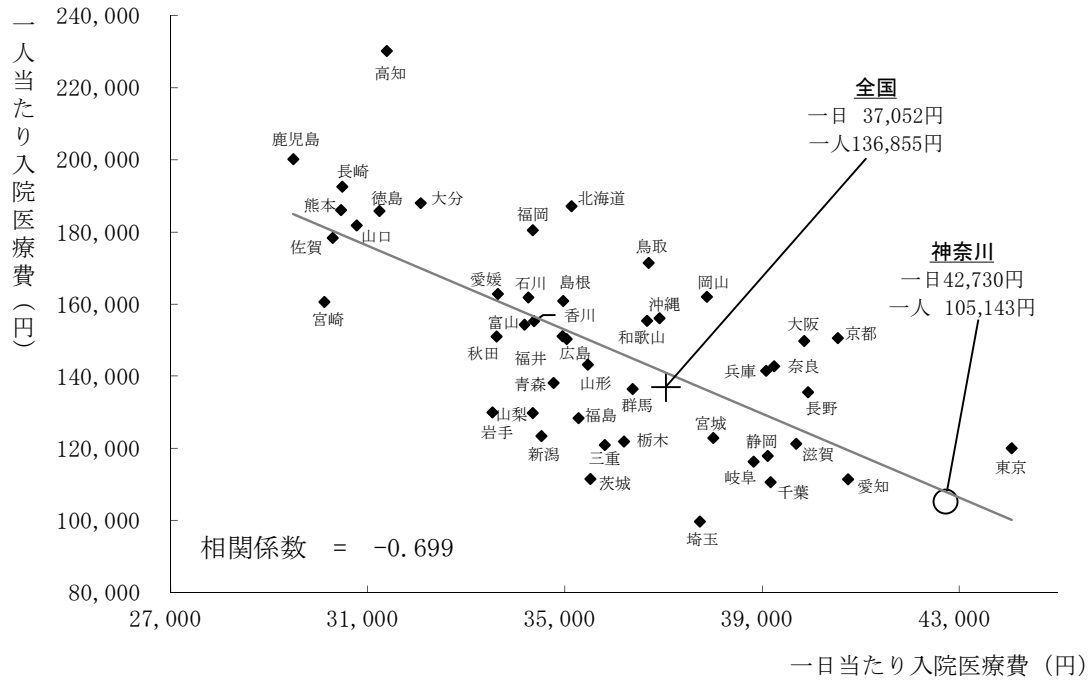


出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

f 一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係

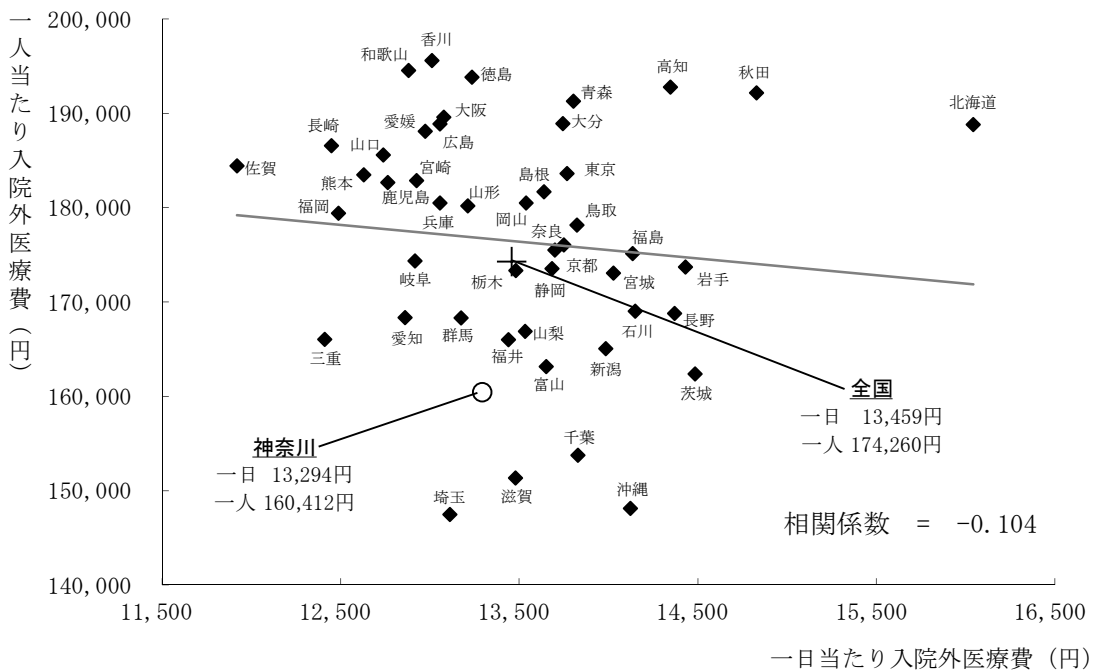
- 平成30年度の概算医療費について、一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、入院は一日当たり医療費が高いほど一人当たり医療費が低くなる傾向があります。入院外については、相関は見られません。(図1-19～図1-20)
- 神奈川県の日当たり医療費は、入院が4万2,730円、入院外が1万3,294円で、入院は全国値を上回り、入院外は全国値をわずかに下回っています。(図1-19～図1-20)

図1-19 一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図1-20 一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]

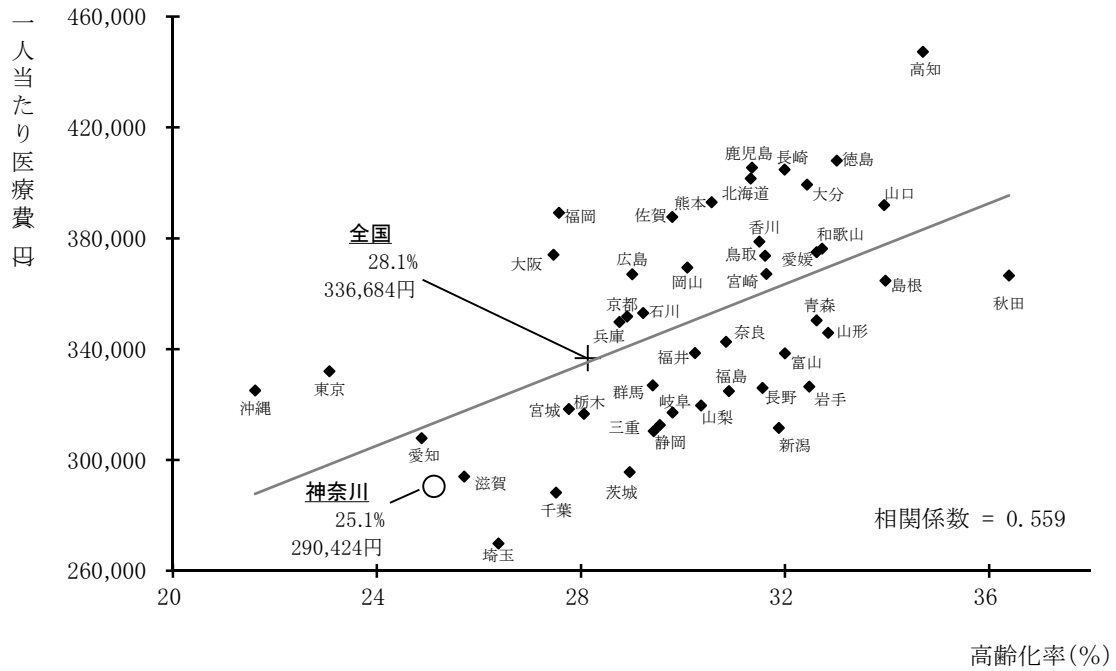


出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

(ウ) 一人当たり医療費と各種指標との関係

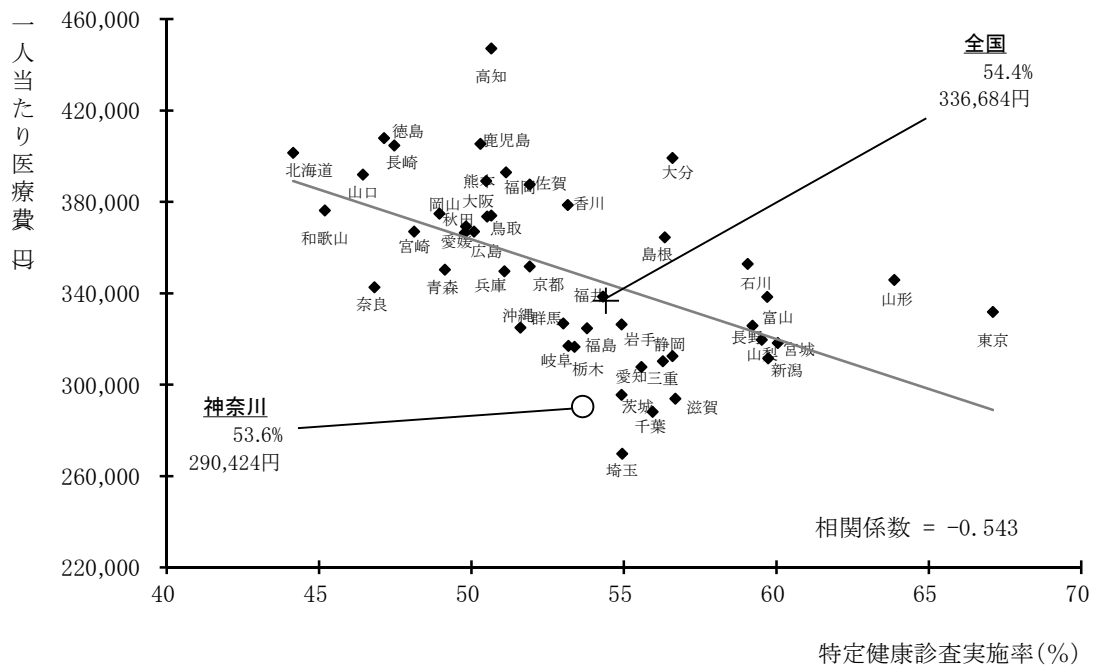
- 平成30年度の概算医療費について、高齢化率（総人口における65歳以上人口の占める割合）と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、高齢化率が高いほど一人当たり医療費が高くなる傾向があります。高齢化率、一人当たり医療費のいずれも全国値を上回る都道府県が多い中、神奈川県の高齢化率は25.1%、一人当たり医療費は29万424円といずれも全国値を大きく下回っており、滋賀県、愛知県等が同様の傾向を示しています。（図1-21）
- 平成30年度の概算医療費について、特定健康診査実施率と一人当たり概算医療費との関係を都道府県別で比較すると、特定健康診査実施率が高い都道府県では一人当たり概算医療費が低くなる傾向が見られます。（図1-22）
- 神奈川県の一入当たり概算医療費は、全国値を下回り、特定健康診査実施率は全国値をわずかに下回っています。（図1-22）

図1-2-1 高齢化率と一人当たり医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
総務省 人口推計（平成30年）

図1-2-2 特定健康診査実施率と一人当たり医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）
厚生労働省 特定健康診査・特定保健指導の実施状況（平成30年度）
総務省 人口推計（平成30年）

ウ 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）

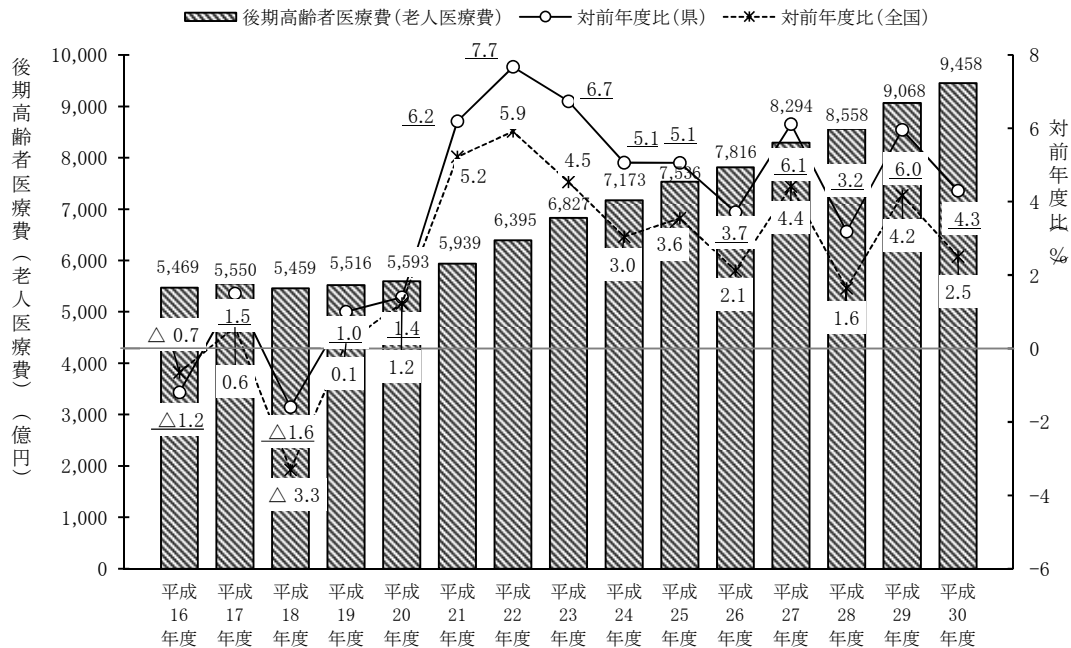
後期高齢者医療費（老人医療費^{※1}）とは、後期高齢者医療被保険者にかかった医療費のことで、診療費、調剤、入院時食事療養費、入院時生活療養費、訪問看護、療養費（はり・きゅう等）が含まれます（平成13年度までは老人保健施設療養費も含まれます）。

※1 平成20年3月までは、老人医療受給対象者（各医療保険の加入者で75歳以上の方（ただし、平成14年9月30日までに70歳になられた方を含む）と65～74歳の障害認定を受けられた方を含む）。

(7) 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）

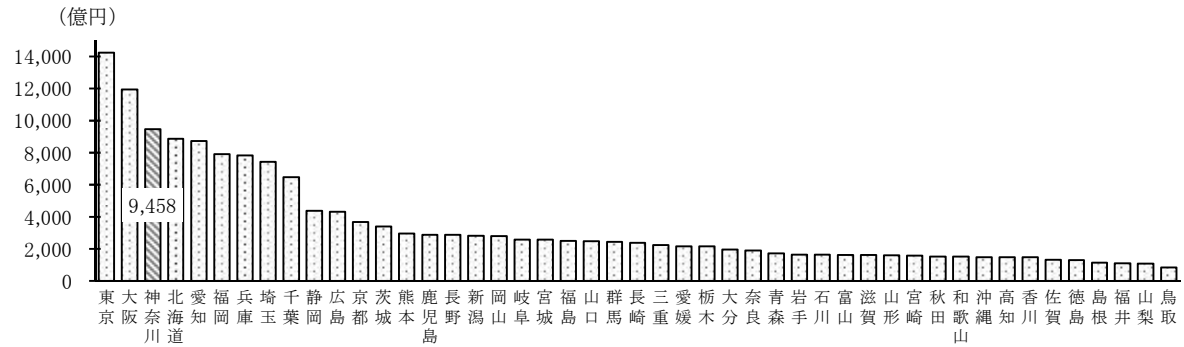
- 神奈川県は平成30年度の後期高齢者医療費は9,458億円、対前年度比伸び率は4.3%と低下しましたが、全国の対前年度比伸び率2.5%を上回っています。（図1-23）
- 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）は、平成18年度は対前年度比減、それ以外の年度も平成20年度まではプラス1%前後の低い伸び率で推移していました。その後、平成21から23年度は伸び率が高まり、平成24年度以降はやや鈍化したものの、対前年度比増で推移しています。（図1-23）
- 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）の対前年度比伸び率は、全国の伸び率を上回って推移しています。（図1-23）
- 平成30年度の神奈川県の後期高齢者医療費は、都道府県比較で高い方から3番目です。（図1-24）
- 神奈川県の後期高齢者医療被保険者（老人医療受給対象者）数は、平成14年度からの老人医療受給対象年齢の段階的引き上げにより平成15から19年度まで減少が続きましたが、平成20年度以降は一貫して増加しています。また、対前年度比伸び率は、全国の伸び率を上回って推移しています。（図1-25）

図1-23 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）と伸び率の推移



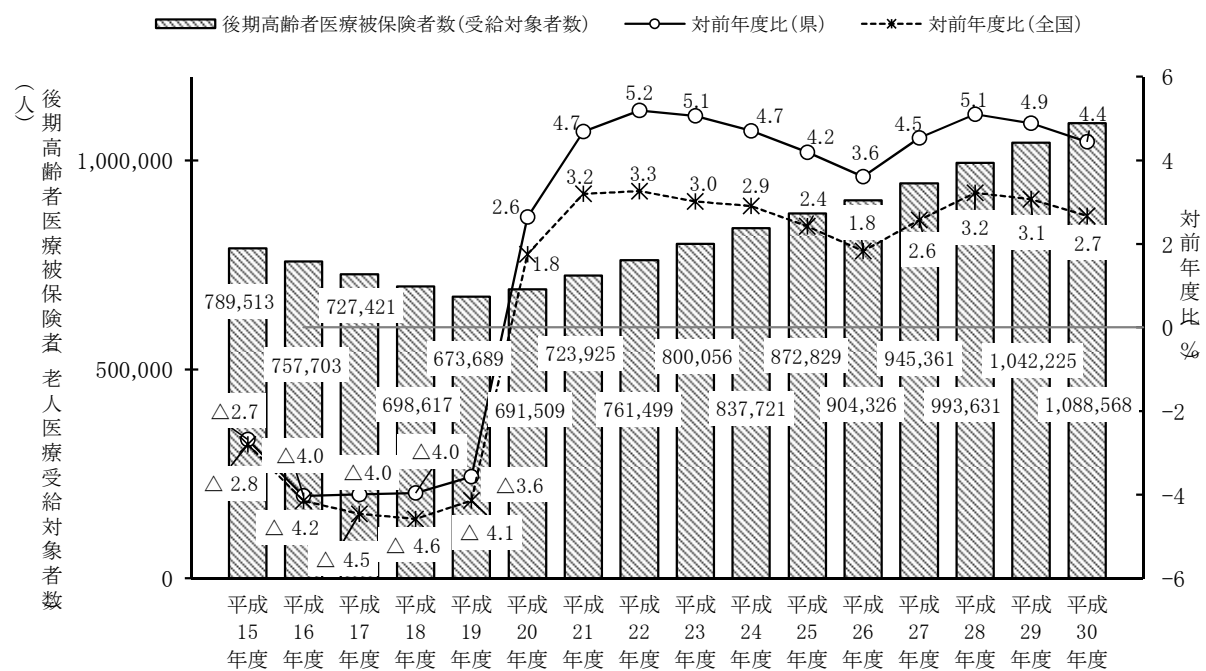
出典：厚生労働省 老人医療事業年報（平成16～19年度）
 厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成20～30年度）

図1-24 後期高齢者医療費の都道府県比較



出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成30年度）

図1-25 神奈川県の後期高齢者医療被保険者（老人医療受給対象者数）の推移



出典：厚生労働省 老人医療事業年報（平成15～19年度）
 厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成20～30年度）

(イ) 一人当たり医療費

a 一人当たり医療費

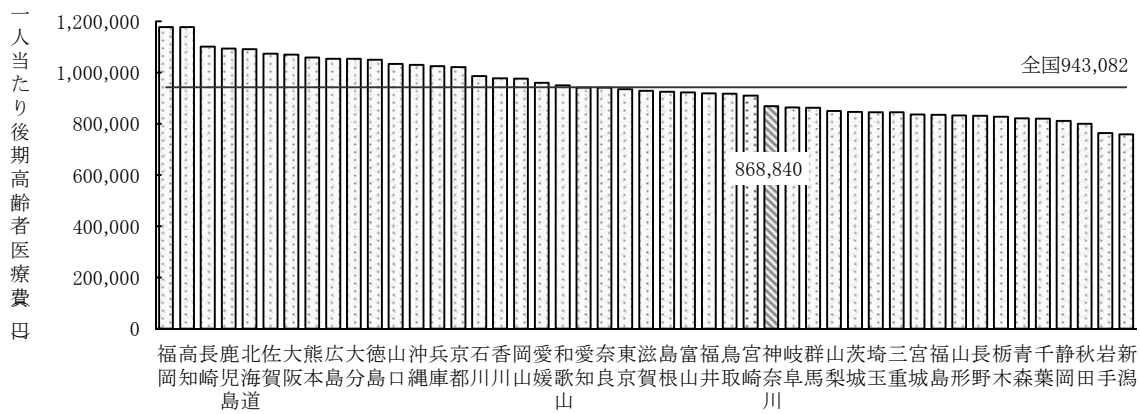
- 神奈川県は平成30年度の一人当たり後期高齢者医療費は、86万8,840円で全国の94万3,082円を下回っており、都道府県比較で低い方から18番目です。(図1-26)
- 神奈川県は平成30年度の一人当たり後期高齢者医療費を入院、入院外、歯科^(※1)別にみると、入院医療費が38万4,915円、入院外医療費が42万4,051円、歯科医療費が4万71円で、入院医療費は全国値を下回っていますが、入院外医療費、歯科医療費は全国値を上回っています。(図1-27)
- 都道府県の一人当たり後期高齢者医療費について、入院、入院外、歯科ごとに全国値との差をとると、一人当たり後期高齢者医療費の都道府県ごとの差は入院医療費の差による影響が大きく、神奈川県は入院の一人当たり医療費が全国値を下回ることから一人当たり医療費が全国値を下回っています。(図1-27)
- 神奈川県内の二次保健医療圏、市町村^(※2)の平成30年度の一人当たり後期高齢者医療費を比較すると、神奈川県の値を上回るのは、二次保健医療圏では川崎と横浜で、市町村では川崎市、中井町、箱根町、大磯町、横浜市、真鶴町、鎌倉市、逗子市、山北町、湯河原町となっており、他の23市町村は下回っています。(図1-28)
- 県内二次保健医療圏、市町村の一人当たり後期高齢者医療費について、入院、入院外、歯科ごとに神奈川県の値との差をとると、入院外医療費の差による影響が大きい市町村が多くあります。(図1-29)
- 平成16から30年度までの神奈川県の一人当たり後期高齢者医療費は、ほぼ一貫して増加しているものの、平成20年度、平成28年度および平成30年度は前年度から減少となっています。また、全国の一人当たり後期高齢者医療費を下回る水準で推移しています。(図1-30)

※1 後期高齢者医療費を分析するに当たり、「入院医療費」は医科入院診療費（入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額を含む）の計数、「入院外医療費」は医科入院外診療費及び薬剤の支給の計数の合計、「歯科医療費」は歯科入院（入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額を含む）と歯科入院外の計数の合計としています。

※2 神奈川県では、第6次神奈川県保健医療計画（平成25年度～29年度）において、「横浜市」に三つ、「川崎市」に二つの二次保健医療圏を設定していますが、後期高齢者医療については市町村単位のデータを用いて、横浜、川崎としてまとめて表示しています。

圏域【二次保健医療圏】	市町村
横浜	横浜市
川崎【川崎北部・川崎南部】	川崎市
横須賀・三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
相模原	相模原市
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

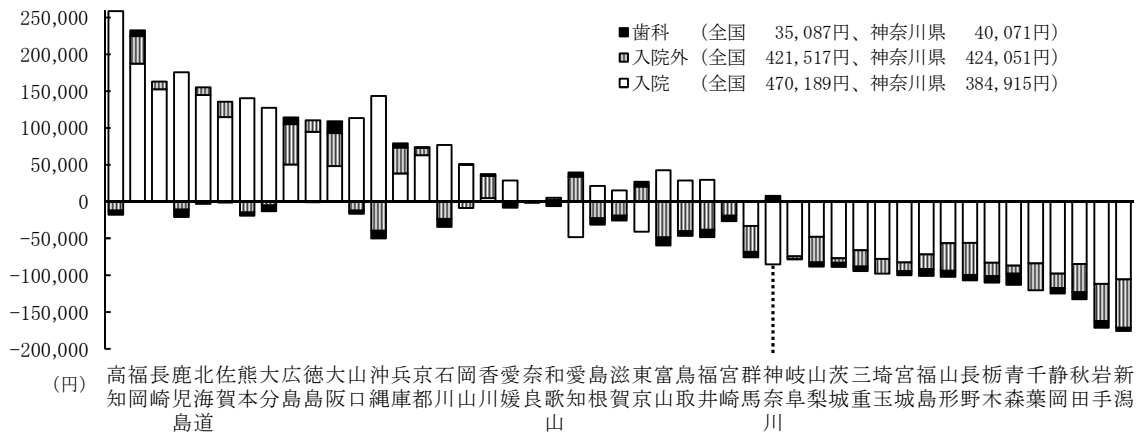
図 1-26 一人当たり後期高齢者医療費の都道府県比較



出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-27 一人当たり後期高齢者医療費の都道府県比較[入院・入院外・歯科別の全国値に対する差] ※

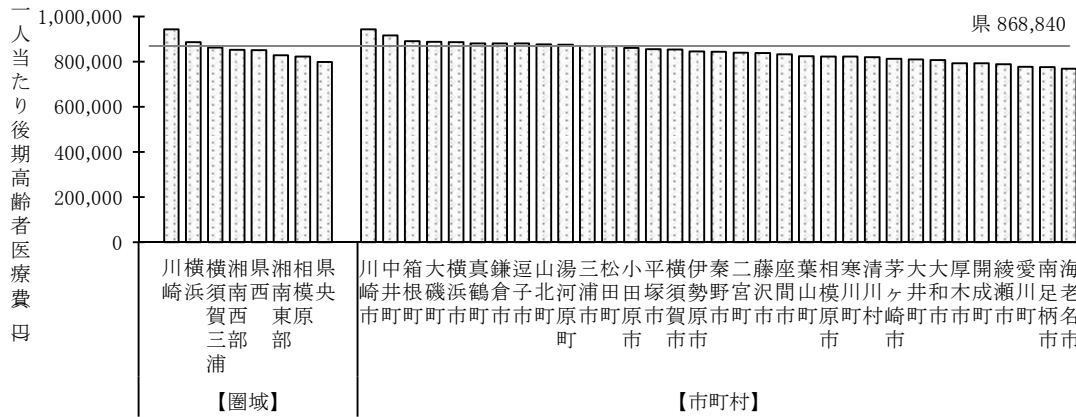
1)



出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

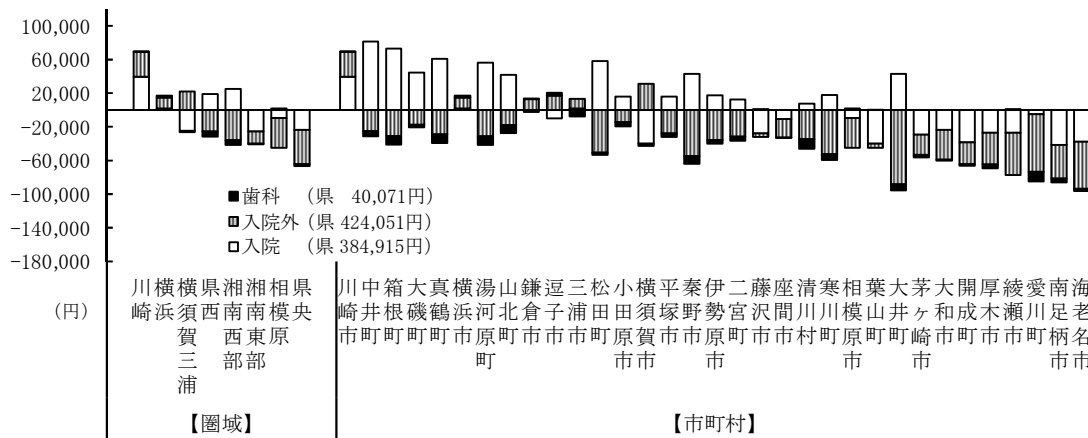
※1 図 1-27 は入院・入院外・歯科別医療費の全国値に対する差を見たもので、全国値を上回ったものは 0 より上に積み上げられ、逆に下回ったものは 0 より下に積み上げられています。図 1-26 では訪問看護や療養費等が含まれていますが、図 1-27 では含まれていないため、都道府県順位が若干異なっています。同様に次ページの図 1-29 は神奈川県値に対する差を見たもので、図 1-28 と圏域・市町村順位が異なっています。

図1-28 一人当たり後期高齢者医療費の県内圏域・市町村比較



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

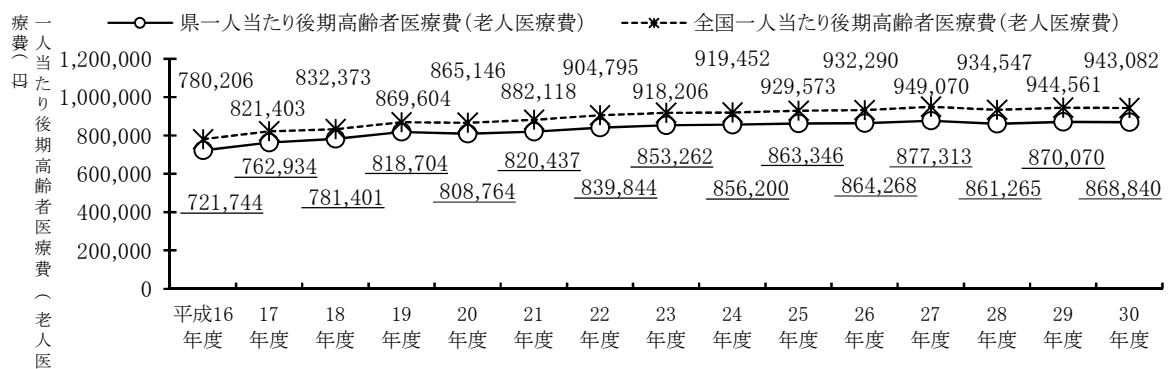
図1-29 一人当たり後期高齢者医療費の県内圏域・市町村比較[入院・入院外・歯科別の県全体に対する差] ※1



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

※1 前ページ※1参照。

図1-30 神奈川県の一人当たり後期高齢者医療費（老人医療費）の推移

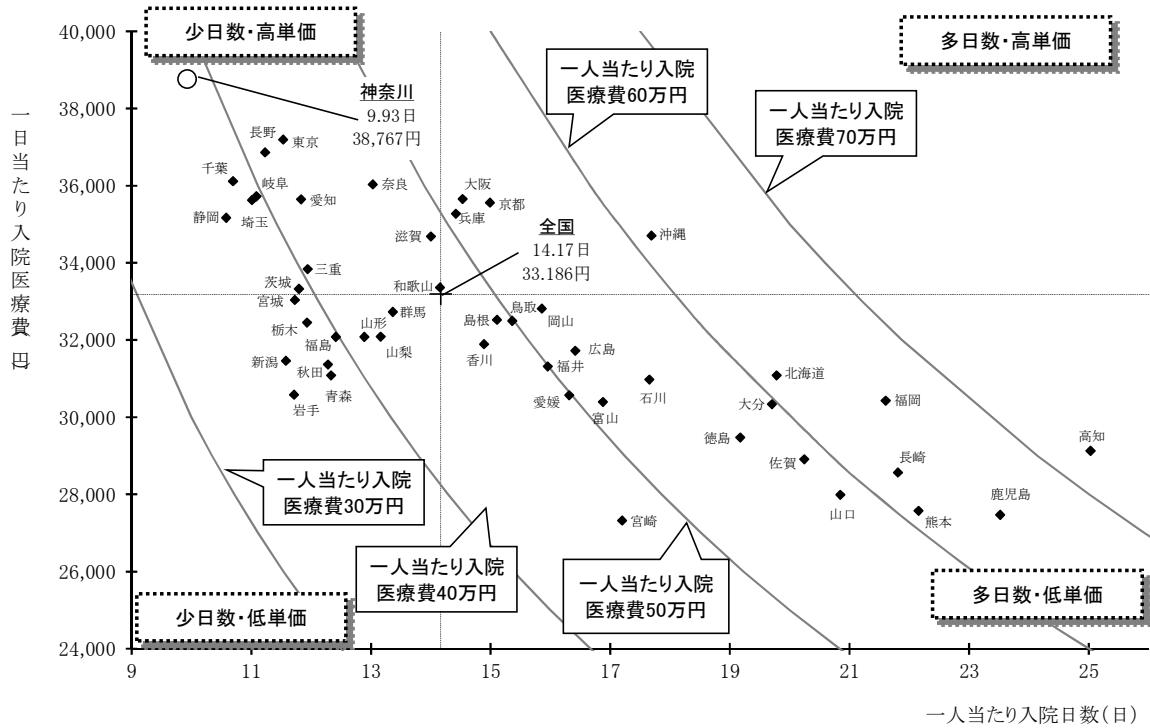


出典：厚生労働省 老人医療事業年報（平成16～19年度）
厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成20～30年度）

b 一人当たり日数と一日当たり医療費の関係

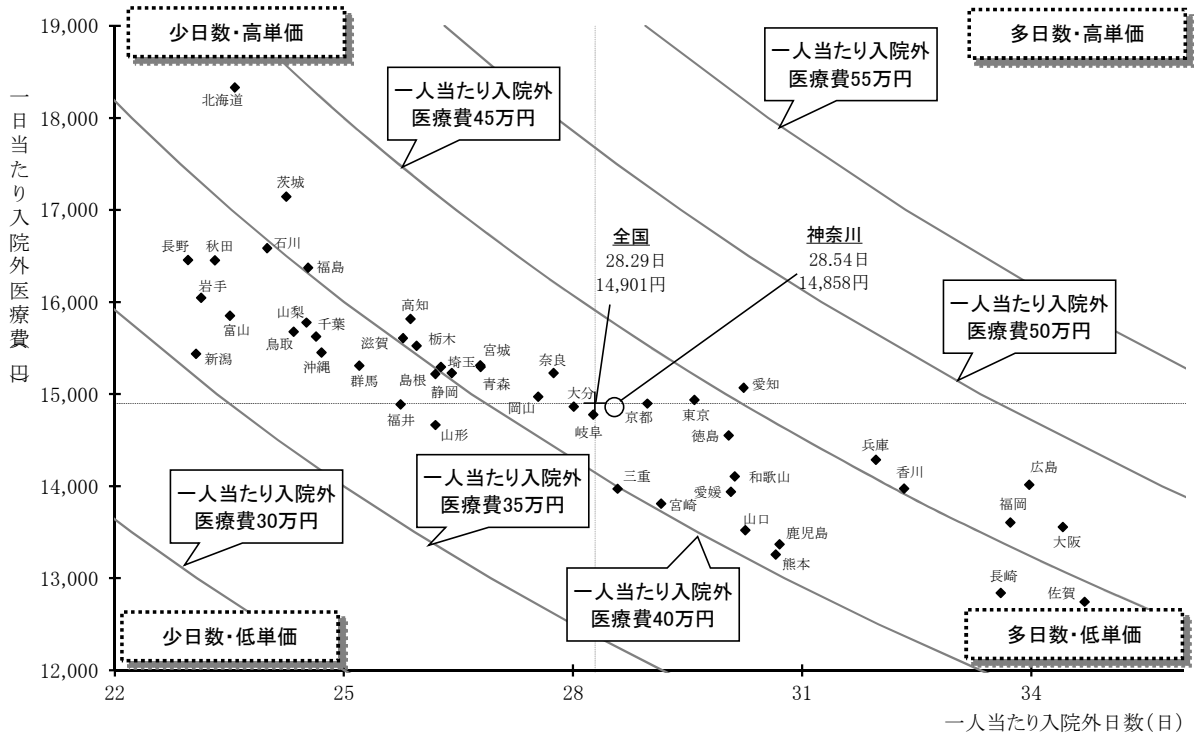
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一人当たり日数と一日当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、入院、入院外では一人当たり日数が短いほど一日当たり医療費が高い傾向があります。一方、歯科では顕著な傾向は見られません。(図1-31～図1-33)
- 当該年度の一人当たり日数と一日当たり医療費を掛け合わせると一人当たり医療費になり、一人当たり日数、一日当たり医療費の高さが一人当たり医療費を押し上げる要因となります。入院、入院外とも、「少日数・高単価」よりも「多日数・低単価」に分類される都道府県の一人当たり医療費が高い傾向にあることから、一人当たり医療費の高さは一人当たり日数の長さの方により強く影響されるものと考えられます。(図1-31～図1-33)
- 神奈川県の一入当たり日数は、入院が9.93日、入院外が28.54日、歯科が5.46日で、入院は全国値を下回り、入院外は全国値とほぼ同程度、歯科は全国値を上回っています。また、神奈川県の一入当たり医療費は、入院が3万8,767円、入院外が1万4,858円、歯科が7,336円で、入院は全国値を大きく上回り、入院外、歯科は全国値とほぼ同程度となっています。(図1-31～図1-33)
- これらから神奈川県の分類は、入院が「少日数・高単価」、入院外が「少日数・高単価」と「多日数・低単価」の中間、歯科が「多日数・高単価」と「多日数・低単価」の中間となり、東京都、奈良県、愛知がこれに近い位置づけにあります。(図1-31～図1-33)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一人当たり日数と一日当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院、入院外は一人当たり日数が短いほど一日当たり医療費が高い傾向にありますが、歯科では顕著な傾向は見られません。(図1-34～図1-36)
- 入院については、「少日数・高単価」よりも「多日数・低単価」に分類される市町村の一人当たり医療費が高い傾向にあることから、一人当たり医療費の高さは一人当たり日数の長さにより強く影響されるものと考えられます。(図1-34～図1-36)
- 県内各市町村を神奈川県と比較すると、入院は「多日数・低単価」、入院外は「少日数・高単価」、歯科は「少日数・低単価」に分類される市町村が多くなっています。(図1-34～図1-36)

図 1-3 1 一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[後期高齢者医療費][都道府県別]



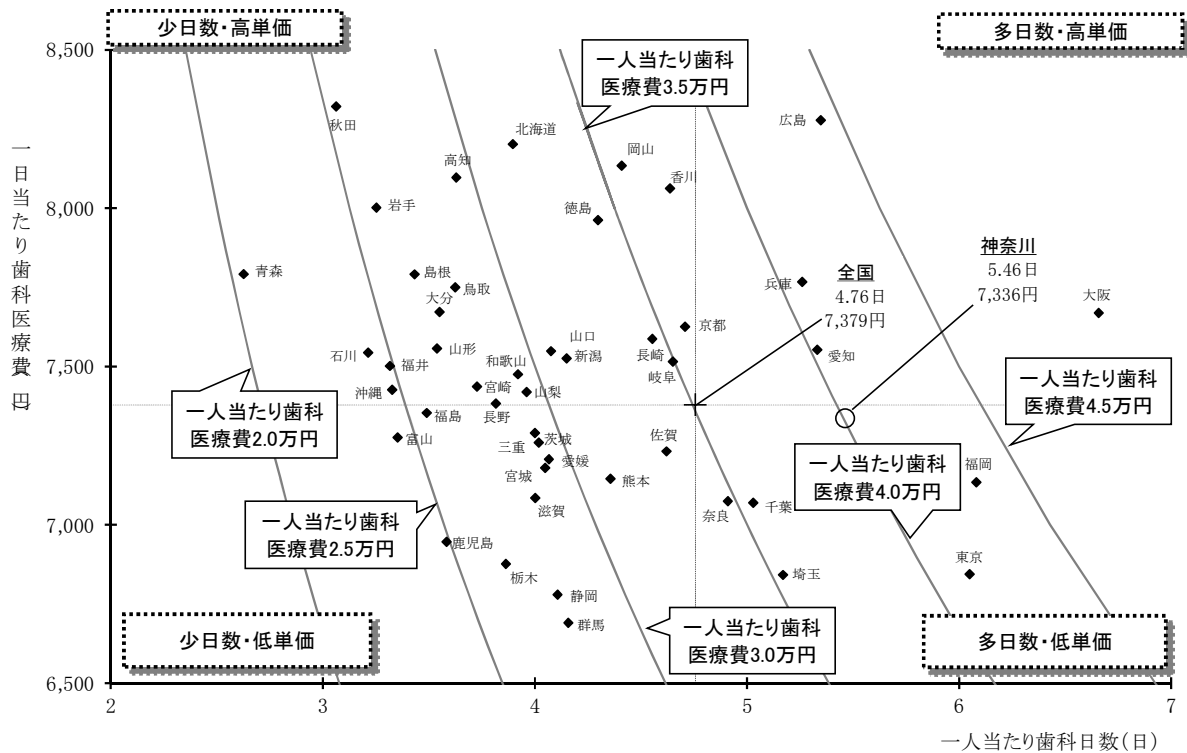
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-3 2 一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布[後期高齢者医療費][都道府県別]



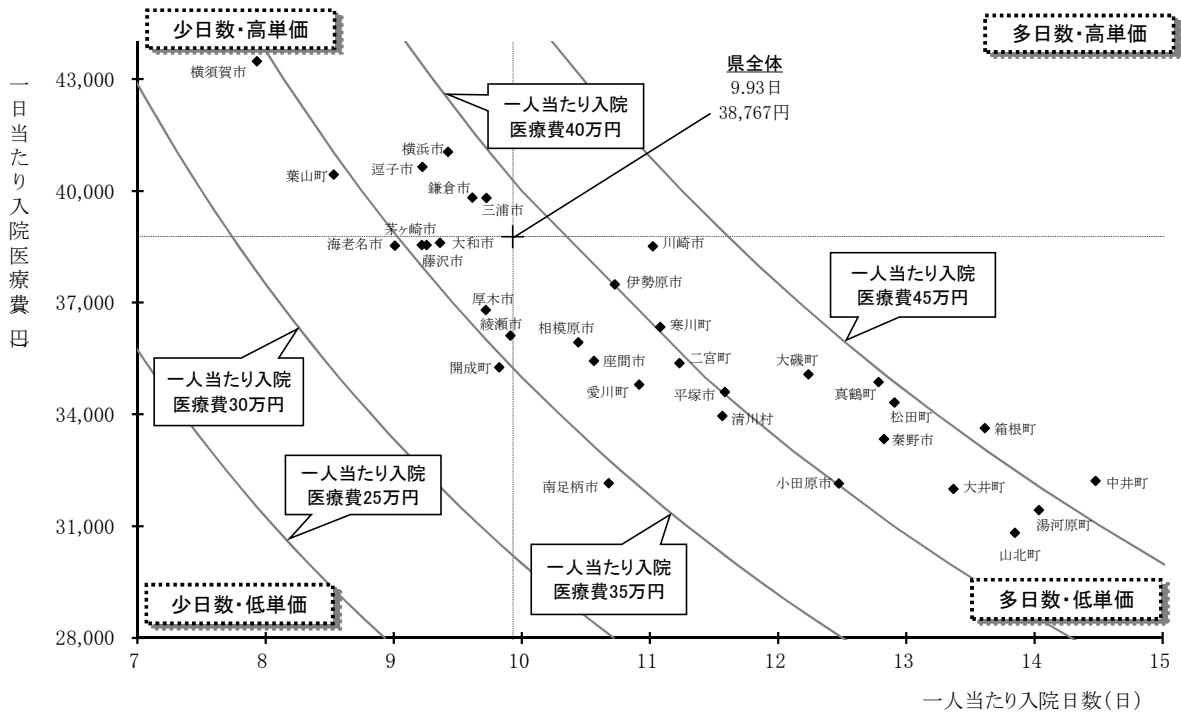
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図1-33 一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[後期高齢者医療費][都道府県別]



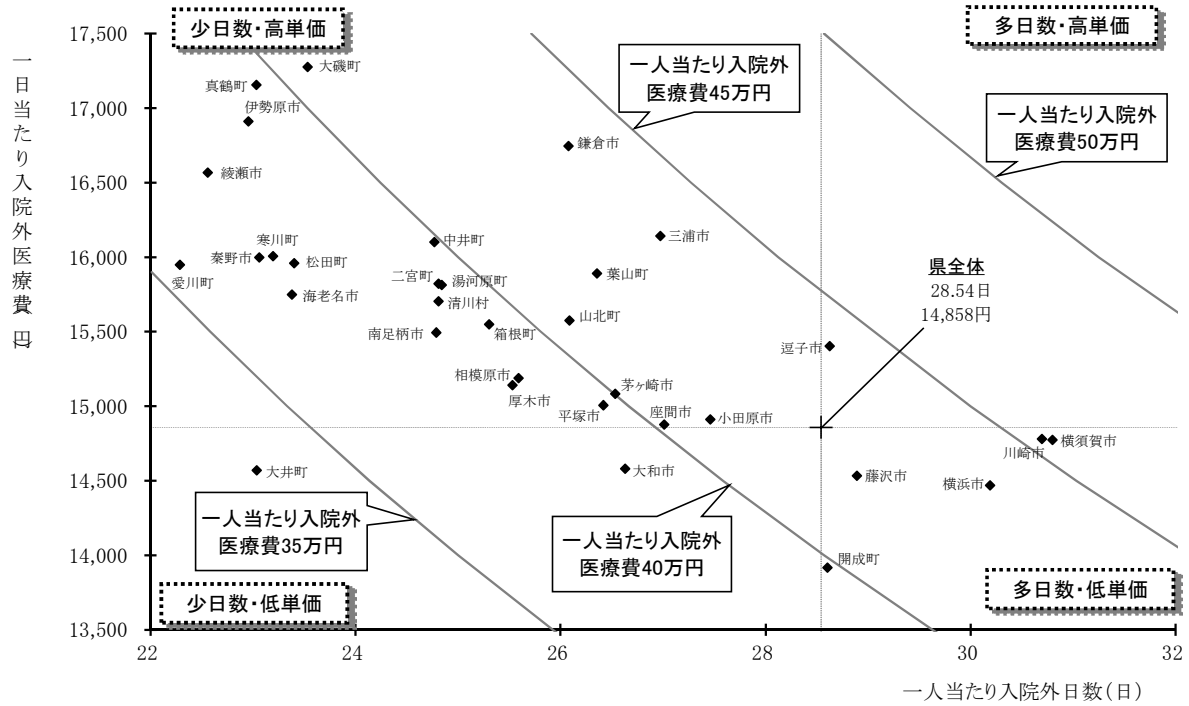
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成30年度）

図1-34 一人当たり入院日数と一日当たり入院医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]



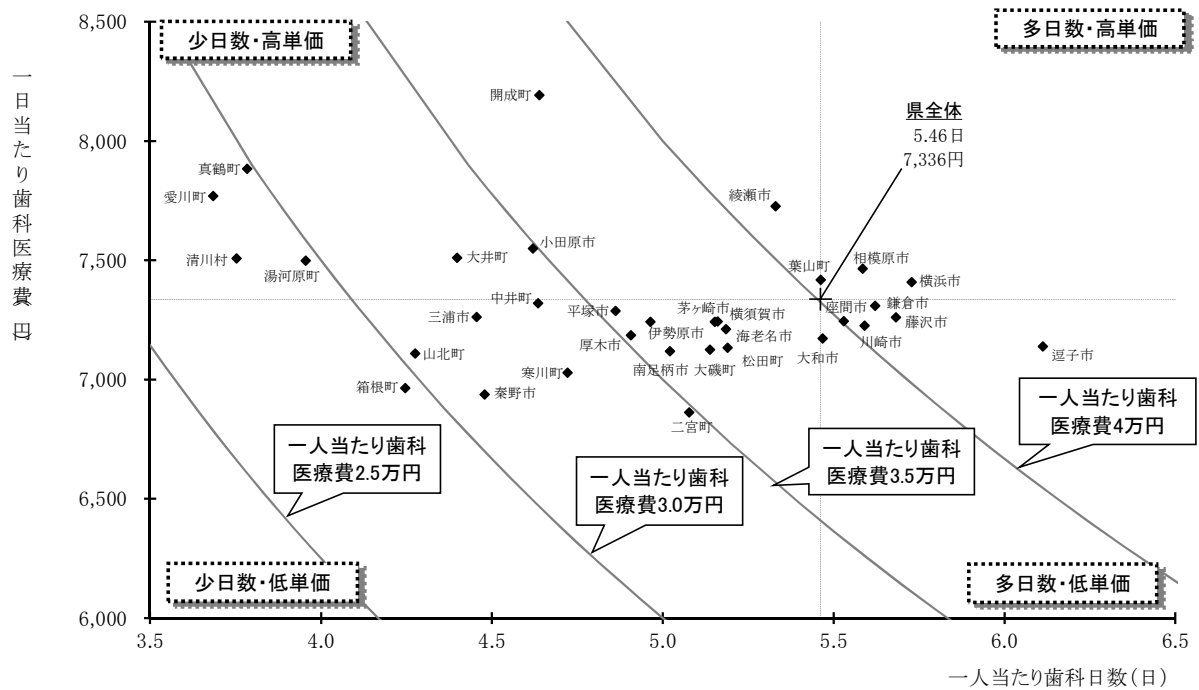
出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

図1-35 一人当たり入院外日数と一日当たり入院外医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

図1-36 一人当たり歯科日数と一日当たり歯科医療費の分布[後期高齢者医療費][市町村別]



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

c 医療費の3要素から見た一人当たり医療費

- 神奈川県の後期高齢者医療費（老人医療費）について、平成20から30年度の一人当たり医療費の推移をみると、入院は平成24年度まで増加を続けた後、平成25年度、27年度、28年度は前年度から減少しましたが、平成29年度以降は再び増加傾向です。入院外は増加基調で推移していますが、平成26年度以降は増減を交互に繰り返しており、平成30年度は前年度から減少しています。また、入院外のうち、調剤は平成20から23年度に大きく増加し、その後平成24から27年度は増減を交互に繰り返した後、28年度以降は減少傾向です。歯科は一貫して増加しています。（表1-37）
- 平成20から30年度の後期高齢者医療費（老人医療費）の3要素^{※1}の推移をみると、受診率については、入院・歯科（一貫して増加）はほぼ一貫して減少が続いています。入院外は平成23年度以降、ほぼ横ばいでしたが、平成28年度以降は減少しています。一件当たり日数については、入院、入院外、歯科のいずれも減少しています。また、一日当たり医療費については、入院は一貫して増加しており、入院外も平成28年度は一旦減少しましたが、平成29年度は再び増加しており、増加基調にあります。また、歯科も平成22年度以降、増加が続いています。（表1-37）
- 平成30年度の神奈川県の入院、入院外、歯科の一人当たり医療費及び医療費の3要素をみると、一人当たり医療費は84万9,037円、受診率は1,995.72件、一件当たり日数（平均）は2.20日、一日当たり医療費（平均）は1万9,326円で、受診率のみ全国値を上回っています。（表1-38）
- 平成30年度の二次保健医療圏の入院、入院外、歯科の一人当たり医療費及び医療費の3要素をみると、川崎は一人当たり医療費・一件当たり日数（平均）が県内で最も高く、受診率も高くなっています。横浜は受診率が県内で最も高く、一人当たり医療費も高くなっていますが、一日当たり医療費（平均）は低くなっています。県央は一人当たり医療費が最も低く、受診率も低くなっています。湘南西部は受診率は県内で最も低く、一日当たり医療費（平均）は県内で最も高くなっています。（表1-39）
- 同様に、市町村をみると、中井町は一人当たり医療費が川崎市に次いで高く、一件当たり日数（平均）が県内で最も高くなっています。真鶴町は一日当たり医療費（平均）が県内で最も高くなっていますが、受診率と一件当たり日数（平均）は低くなっています。逗子市は受診率が県内で最も高くなっていますが、一件当たり日数（平均）と一日当たり医療費（平均）が低くなっています。海老名市は一人当たり医療費が最も低く、一件当たり日数（平均）が低くなっています。（表1-39）
- 県内各二次保健医療圏・市町村の医療費の3要素について、入院、入院外、歯科ごとに神奈川県の値との差をとると、受診率は入院外受診率、一件当たり日数は入院日数、一日当たり医療費は入院医療費の差が大きくなっています。（図1-40～図1-42）

※1 医療費の3要素は、入院（診療費、入院時食事療養費、入院時生活療養費）、入院外（診療費、調剤）、歯科（診療費、入院時食事療養費、入院時生活療養費）を対象としています。

表 1-37 神奈川県の一入あたり後期高齢者医療費（老人医療費）と医療費の3要素の推移^(※1)

		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成30年度	
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		(全国)
一人当たり医療費 (円)	入院	358,682	361,543	375,760	378,041	378,690	375,002	377,089	376,292	374,167	380,342	384,915	470,189
	入院外	402,726	411,259	414,157	423,550	424,519	434,261	431,675	444,252	429,756	431,437	424,051	421,517
	(再掲) 調剤	140,607	161,599	163,360	172,639	170,196	176,890	176,416	186,097	174,588	174,202	165,035	152,104
	歯科	30,579	31,109	32,624	33,753	34,698	35,697	36,694	37,654	38,195	38,899	40,071	35,087
	老人訪問看護 費用額	1,658	1,698	1,758	1,928	2,104	2,266	2,652	3,027	3,644	4,191	4,920	5,642
	医療費の 支給等	15,112	14,809	15,545	15,989	16,188	16,120	16,159	16,088	15,503	15,201	14,883	10,647
受診率 (100人当 たり件数)	入院	70.67	69.67	69.91	68.75	67.44	64.37	64.65	64.42	63.82	63.66	63.37	80.82
	入院外	1,718.52	1,723.97	1,662.80	1,659.70	1,668.48	1,669.80	1,668.56	1,666.15	1,656.10	1,648.01	1,643.67	1,587.85
	歯科	196.22	205.39	215.96	226.62	236.78	248.33	260.38	269.60	274.30	281.43	288.68	245.95
一件当 たり日数 (日)	入院	17.28	17.06	16.88	16.68	16.41	16.58	16.20	16.00	15.80	15.74	15.67	17.53
	入院外	2.04	1.99	2.02	1.98	1.93	1.89	1.85	1.82	1.79	1.76	1.74	1.78
	歯科	2.29	2.26	2.23	2.19	2.14	2.10	2.05	2.01	1.97	1.93	1.89	1.93
一日当 たり医療 費(円)	入院	29,372	30,421	31,848	32,968	34,208	35,131	36,003	36,512	37,099	37,947	38,767	33,186
	入院外	11,509	11,974	12,342	12,905	13,191	13,794	13,970	14,654	14,522	14,841	14,858	14,901
	歯科	6,803	6,715	6,761	6,810	6,862	6,854	6,885	6,966	7,084	7,175	7,336	7,379

出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成20～30年度）

※1 一人当たり医療費は、入院、入院外等ごとに単位未満を四捨五入したため、これらの合計と後期高齢者（老人）医療事業年報における一人当たり医療費とが一致しない年度があります。

表1-38 一人当たり後期高齢者医療費と医療費の3要素の都道府県比較^(※1)

	一人当たり医療費		入院・入院外・歯科								
			一人当たり医療費		受診率 (100人当たり)		一件当たり日数 (平均)		一日当たり医療費 (平均)		
	単位:円	(順位)	単位:円	(順位)	単位:件	(順位)	単位:日	(順位)	単位:円	(順位)	
全 国	943,082	-	926,793	-	1,914.62	-	2.47	-	19,631	-	
都 道 府 県	北海道	1,091,309	(5)	1,078,682	(5)	1,746.26	(40)	2.71	(12)	22,832	(1)
	青森	822,215	(42)	813,892	(42)	1,765.89	(35)	2.36	(29)	19,498	(25)
	岩手	763,690	(46)	755,356	(46)	1,744.28	(41)	2.18	(46)	19,827	(21)
	宮城	836,858	(37)	826,557	(37)	1,942.40	(13)	2.19	(45)	19,411	(27)
	秋田	800,643	(45)	794,073	(45)	1,702.82	(44)	2.27	(39)	20,546	(11)
	山形	832,184	(39)	824,452	(39)	1,889.75	(20)	2.26	(40)	19,341	(31)
	福島	835,710	(38)	825,540	(38)	1,777.89	(34)	2.27	(38)	20,416	(13)
	茨城	846,461	(34)	838,029	(34)	1,717.12	(43)	2.33	(31)	20,920	(8)
	栃木	828,031	(41)	816,734	(41)	1,797.82	(30)	2.32	(33)	19,565	(22)
	群馬	862,667	(32)	850,962	(30)	1,792.04	(32)	2.38	(27)	19,919	(20)
	埼玉	844,747	(35)	829,424	(36)	1,851.35	(26)	2.29	(37)	19,540	(23)
	千葉	820,317	(43)	806,684	(43)	1,803.16	(29)	2.24	(41)	19,990	(19)
	東京	935,443	(23)	912,339	(25)	2,037.30	(7)	2.32	(35)	19,340	(32)
	神奈川	868,840	(30)	849,037	(31)	1,995.72	(9)	2.20	(42)	19,326	(33)
	新潟	759,076	(47)	750,986	(47)	1,760.15	(36)	2.20	(44)	19,399	(28)
	富山	923,138	(26)	909,905	(26)	1,641.58	(47)	2.66	(16)	20,806	(9)
	石川	986,722	(16)	968,985	(16)	1,656.49	(46)	2.71	(11)	21,601	(3)
	福井	919,222	(27)	907,694	(28)	1,678.29	(45)	2.68	(15)	20,165	(17)
	山梨	851,038	(33)	838,348	(33)	1,755.61	(38)	2.37	(28)	20,138	(18)
	長野	831,187	(40)	819,901	(40)	1,740.51	(42)	2.18	(47)	21,574	(4)
	岐阜	863,876	(31)	848,423	(32)	1,902.92	(17)	2.31	(36)	19,284	(34)
	静岡	812,077	(44)	802,129	(44)	1,867.45	(22)	2.20	(43)	19,518	(24)
	愛知	942,408	(21)	917,517	(22)	2,008.67	(8)	2.36	(30)	19,359	(30)
	三重	844,698	(36)	832,515	(35)	1,920.07	(16)	2.32	(34)	18,699	(39)
	滋賀	928,615	(24)	916,142	(24)	1,795.31	(31)	2.44	(25)	20,930	(7)
	京都	1,021,654	(15)	1,000,503	(15)	1,872.63	(21)	2.60	(20)	20,557	(10)
	大阪	1,069,730	(7)	1,035,797	(11)	2,119.60	(1)	2.62	(18)	18,628	(41)
	兵庫	1,024,601	(14)	1,005,995	(14)	2,068.93	(4)	2.50	(22)	19,481	(26)
	奈良	942,338	(22)	926,645	(20)	1,961.51	(12)	2.33	(32)	20,286	(15)
	和歌山	950,287	(20)	926,317	(21)	1,938.42	(14)	2.49	(23)	19,221	(35)
	鳥取	918,185	(28)	908,851	(27)	1,747.77	(39)	2.48	(24)	20,976	(6)
	島根	924,806	(25)	916,616	(23)	1,841.66	(27)	2.43	(26)	20,490	(12)
	岡山	976,070	(18)	968,468	(17)	1,863.13	(25)	2.57	(21)	20,259	(16)
	広島	1,054,883	(9)	1,041,094	(9)	2,046.82	(6)	2.72	(10)	18,679	(40)
	山口	1,033,715	(12)	1,023,611	(12)	1,991.78	(10)	2.77	(9)	18,528	(43)
	徳島	1,051,071	(11)	1,036,231	(10)	1,865.04	(24)	2.87	(6)	19,367	(29)
	香川	978,300	(17)	964,131	(18)	1,924.33	(15)	2.69	(13)	18,591	(42)
	愛媛	959,875	(19)	946,968	(19)	1,899.41	(18)	2.66	(17)	18,777	(37)
	高知	1,178,054	(2)	1,167,575	(1)	1,785.57	(33)	3.05	(2)	21,413	(5)
	福岡	1,178,616	(1)	1,159,600	(2)	2,116.32	(2)	2.90	(3)	18,883	(36)
	佐賀	1,073,948	(6)	1,060,735	(6)	2,053.97	(5)	2.90	(4)	17,810	(47)
	長崎	1,102,137	(3)	1,089,054	(3)	2,108.52	(3)	2.84	(7)	18,162	(45)
	熊本	1,058,942	(8)	1,048,312	(7)	1,981.10	(11)	2.89	(5)	18,341	(44)
	大分	1,053,460	(10)	1,041,243	(8)	1,836.54	(28)	2.79	(8)	20,313	(14)
	宮崎	911,108	(29)	900,190	(29)	1,865.36	(23)	2.68	(14)	17,976	(46)
	鹿児島	1,094,966	(4)	1,081,207	(4)	1,890.28	(19)	3.06	(1)	18,705	(38)
	沖縄	1,030,565	(13)	1,020,222	(13)	1,758.60	(37)	2.60	(19)	22,314	(2)

出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成30年度）

※1 最大値と最小値の各5位までに網掛けしています。

表1-39 一人当たり後期高齢者医療費と医療費の3要素の県内圏域・市町村比較^(※1)

	一人当たり 医療費		入院・入院外・歯科							
			一人当たり 医療費		受診率 (100人当たり)		一件当たり日数 (平均)		一日当たり医療費 (平均)	
	単位:円	(順位)	単位:円	(順位)	単位:件	(順位)	単位:日	(順位)	単位:円	(順位)
神奈川県	868,840	-	849,037	-	1,995.72	-	2.20	-	19,326	-

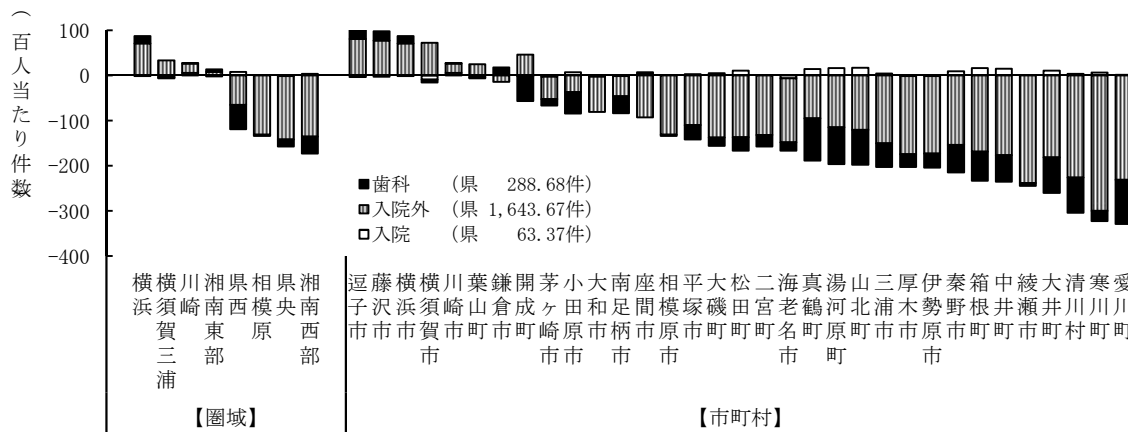
圏 域	横 浜	887,122	(2)	866,151	(2)	2,082.11	(1)	2.18	(6)	19,103	(7)
	川 崎	942,649	(1)	918,556	(1)	2,023.05	(3)	2.34	(1)	19,417	(4)
	横須賀三浦	862,751	(3)	844,810	(3)	2,023.13	(2)	2.12	(7)	19,699	(2)
	湘南東部	828,475	(6)	808,383	(6)	2,006.89	(4)	2.12	(8)	19,030	(8)
	湘南西部	851,803	(4)	832,610	(5)	1,826.42	(8)	2.26	(3)	20,177	(1)
	県 央	798,259	(8)	782,347	(8)	1,838.72	(7)	2.18	(5)	19,484	(3)
	相 模 原	823,204	(7)	805,489	(7)	1,861.96	(6)	2.23	(4)	19,356	(5)
県 西	850,476	(5)	836,547	(4)	1,884.63	(5)	2.30	(2)	19,313	(6)	

市 町 村	横 浜 市	887,122	(5)	866,151	(6)	2,082.11	(3)	2.18	(20)	19,103	(26)
	川 崎 市	942,649	(1)	918,556	(1)	2,023.05	(5)	2.34	(6)	19,417	(22)
	横 須 賀 市	853,771	(15)	837,171	(14)	2,052.98	(4)	2.14	(26)	19,074	(27)
	平 塚 市	855,005	(14)	832,713	(15)	1,856.37	(15)	2.31	(10)	19,428	(21)
	鎌 倉 市	880,913	(7)	860,642	(9)	1,999.61	(7)	2.07	(31)	20,831	(4)
	藤 沢 市	838,569	(19)	817,977	(19)	2,090.87	(2)	2.10	(30)	18,662	(32)
	小 田 原 市	860,814	(13)	845,348	(13)	1,918.69	(10)	2.32	(8)	18,973	(29)
	茅ヶ崎 市	813,013	(25)	792,866	(26)	1,929.48	(9)	2.12	(27)	19,383	(24)
	逗 子 市	880,886	(8)	859,455	(10)	2,094.37	(1)	2.10	(29)	19,549	(18)
	相 模 原 市	823,204	(22)	805,489	(23)	1,861.96	(14)	2.23	(17)	19,356	(25)
	三 浦 市	869,163	(11)	854,840	(11)	1,797.07	(23)	2.29	(11)	20,772	(5)
	秦 野 市	844,007	(17)	827,674	(16)	1,790.69	(26)	2.25	(14)	20,505	(9)
	厚 木 市	793,600	(28)	779,525	(29)	1,792.92	(24)	2.24	(15)	19,411	(23)
	大 和 市	806,763	(27)	788,950	(27)	1,915.19	(11)	2.16	(23)	19,029	(28)
	伊 勢 原 市	845,273	(16)	826,244	(17)	1,791.81	(25)	2.16	(25)	21,381	(2)
	海 老 名 市	768,378	(33)	752,654	(33)	1,828.83	(19)	2.05	(32)	20,033	(16)
	座 間 市	832,814	(20)	816,232	(20)	1,910.48	(13)	2.26	(12)	18,937	(30)
	南 足 柄 市	775,811	(32)	763,217	(32)	1,911.65	(12)	2.12	(28)	18,851	(31)
	綾 瀬 市	789,317	(30)	772,853	(30)	1,751.53	(29)	2.16	(24)	20,446	(11)
	葉 山 町	824,056	(21)	804,271	(24)	2,014.57	(6)	2.00	(33)	19,933	(17)
	寒 川 町	822,552	(23)	807,206	(22)	1,679.76	(32)	2.32	(9)	20,698	(7)
	大 磯 町	887,812	(4)	872,411	(4)	1,844.70	(16)	2.22	(18)	21,327	(3)
	二 宮 町	839,626	(18)	824,673	(18)	1,839.35	(18)	2.24	(16)	20,057	(15)
	中 井 町	915,932	(2)	899,204	(2)	1,774.96	(28)	2.47	(1)	20,491	(10)
	大 井 町	810,332	(26)	796,555	(25)	1,746.22	(30)	2.34	(7)	19,521	(20)
	松 田 町	867,513	(12)	853,536	(12)	1,839.73	(17)	2.26	(13)	20,567	(8)
	山 北 町	877,256	(9)	863,598	(8)	1,815.24	(22)	2.44	(2)	19,534	(19)
	開 成 町	792,369	(29)	782,556	(28)	1,985.82	(8)	2.17	(22)	18,171	(33)
	箱 根 町	890,165	(3)	880,864	(3)	1,779.14	(27)	2.43	(3)	20,409	(12)
	真 鶴 町	881,174	(6)	870,865	(5)	1,822.07	(20)	2.17	(21)	21,990	(1)
	湯 河 原 町	875,118	(10)	863,763	(7)	1,815.65	(21)	2.36	(5)	20,166	(14)
	愛 川 町	776,775	(31)	763,976	(31)	1,668.37	(33)	2.21	(19)	20,711	(6)
	清 川 村	820,121	(24)	810,465	(21)	1,695.28	(31)	2.37	(4)	20,198	(13)

出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

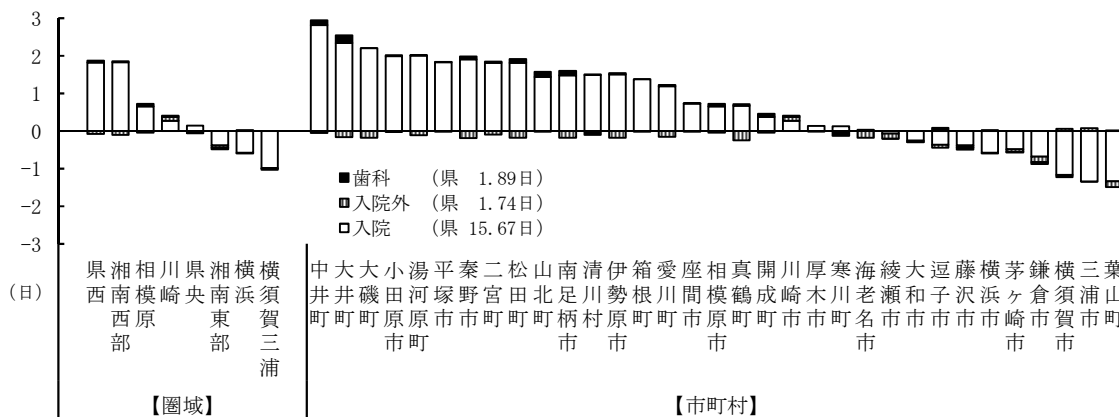
※1 圏域は最大値と最小値、市町村は最大値と最小値の各3位までに網掛けしています。

図 1-40 受診率の県内圏域・市町村比較〔後期高齢者医療費〕〔入院・入院外・歯科別の県全体に対する差〕



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

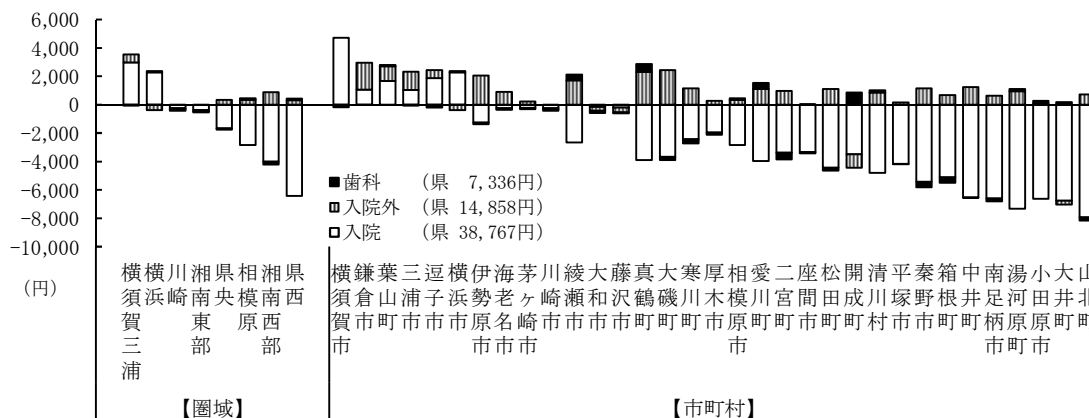
図 1-41 一件当たり日数の県内圏域・市町村比較〔後期高齢者医療費〕〔入院・入院外・歯科別の県全体に対する差〕^(※1)



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

※1 図 1-41 は、入院、入院外、歯科ごとの一件当たり日数の神奈川県値との差を見たものであるのに対し、表 1-39 の一件当たり日数は、入院、入院外、歯科の合計日数を合計件数で除算して平均を求めたものであるため、圏域・市町村順位が異なります。

図1-4-2 一日当たり医療費の県内圏域・市町村比較〔後期高齢者医療費〕〔入院・入院外・歯科別の県全体に対する差〕^(※2)



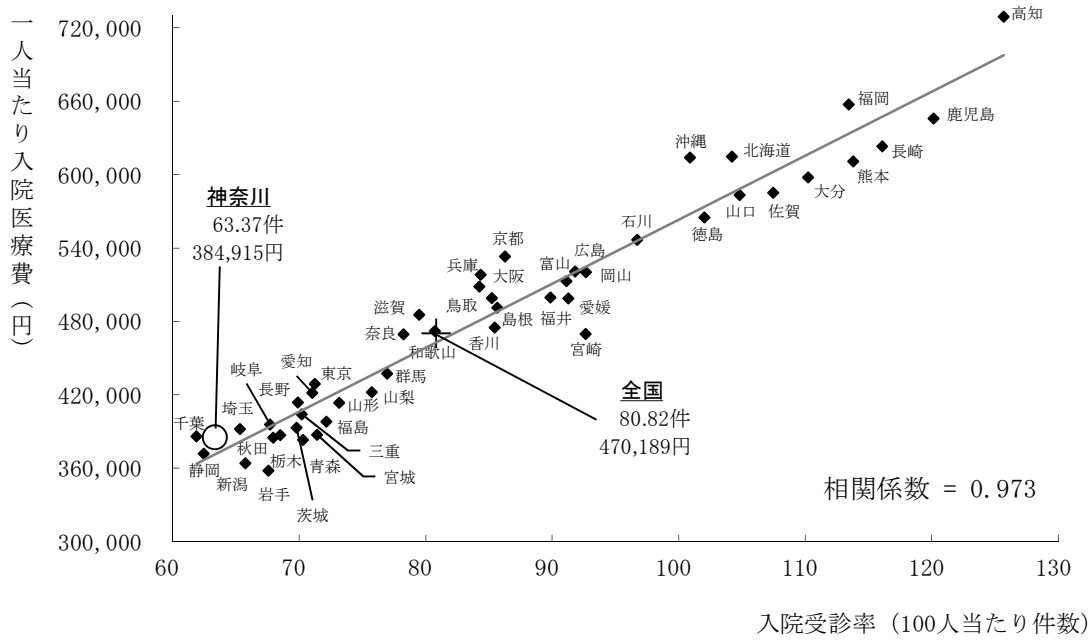
出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

※2 図1-4-2は、入院、入院外、歯科ごとの一日当たり医療費の神奈川県値との差を見たものであるのに対し、表1-3-9の一日当たり医療費は、入院、入院外、歯科の合計医療費を合計日数で除算して平均を求めたものであるため、圏域・市町村順位が異なります。

d 受診率と一人当たり医療費の関係

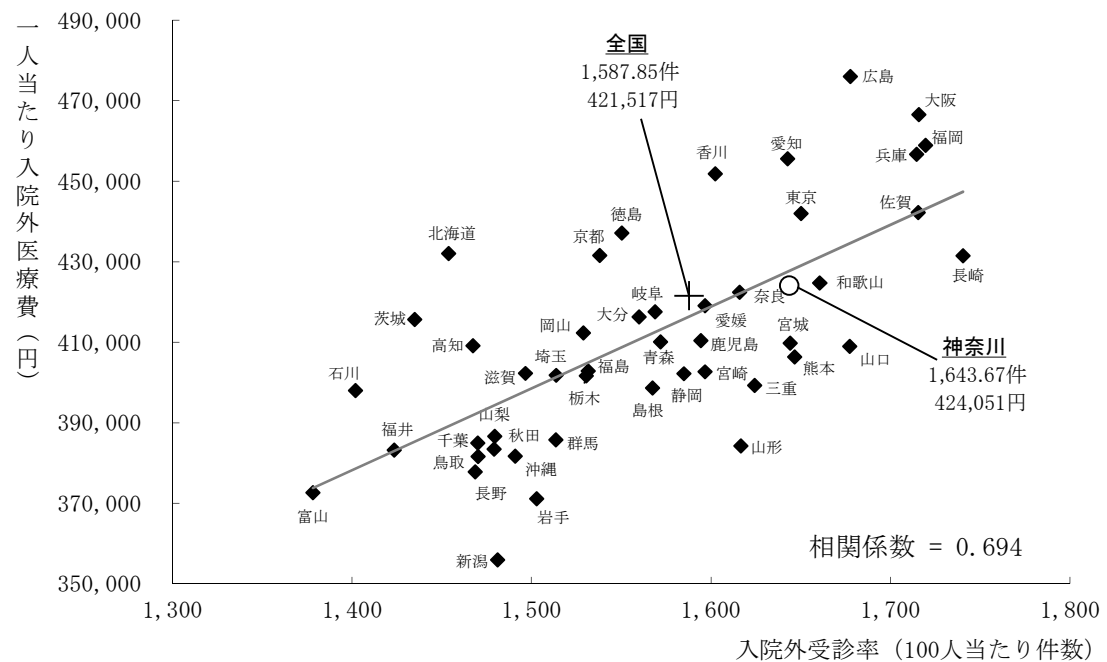
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、受診率と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、受診率が高いほど一人当たり医療費が高くなる傾向があり、特に入院では強い相関が見られます。(図1-43～図1-44)
- 神奈川県を受診率は、入院が63.37件、入院外が1,643.67件で、入院は全国値を下回り、入院外は全国値を上回っています。(図1-43～図1-44)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、受診率と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、都道府県比較と同様に受診率が高いほど一人当たり医療費が高くなる傾向がありますが、その相関は、都道府県比較と比べて、入院ではやや弱くなり、入院外ではやや強くなっています。(図1-45～図1-46)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、受診率と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院では神奈川県の値より、受診率、一人当たり医療費がともに高い市町村が多くなり、入院外では神奈川県の値より、受診率、一人当たり医療費がともに低い市町村が多くなっています。(図1-45～図1-46)

図 1-4 3 入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



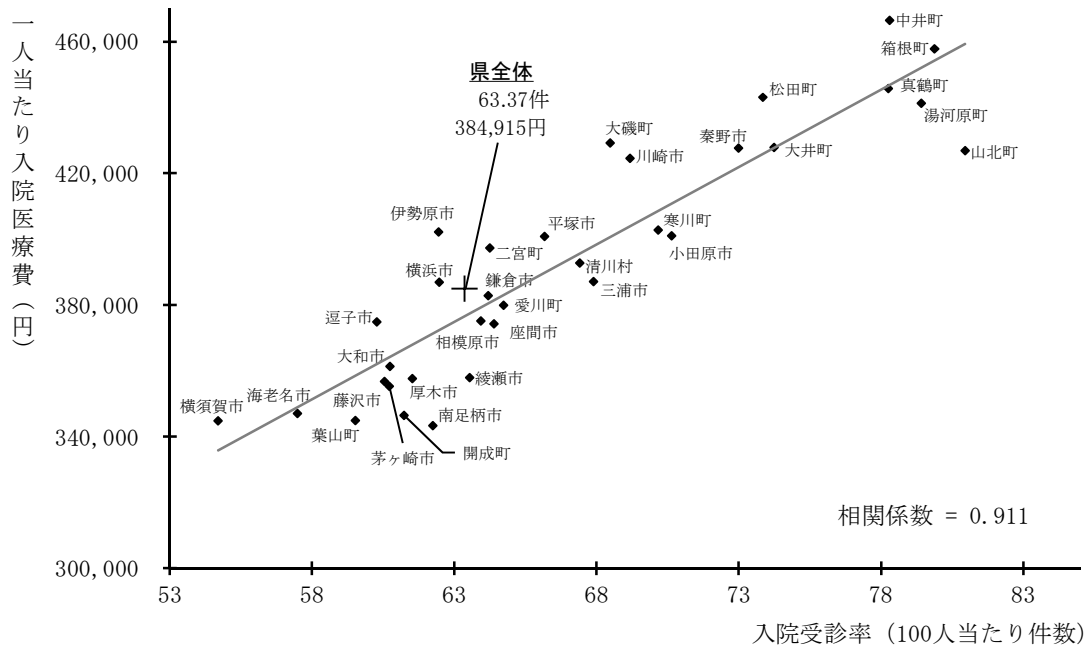
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-4 4 入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



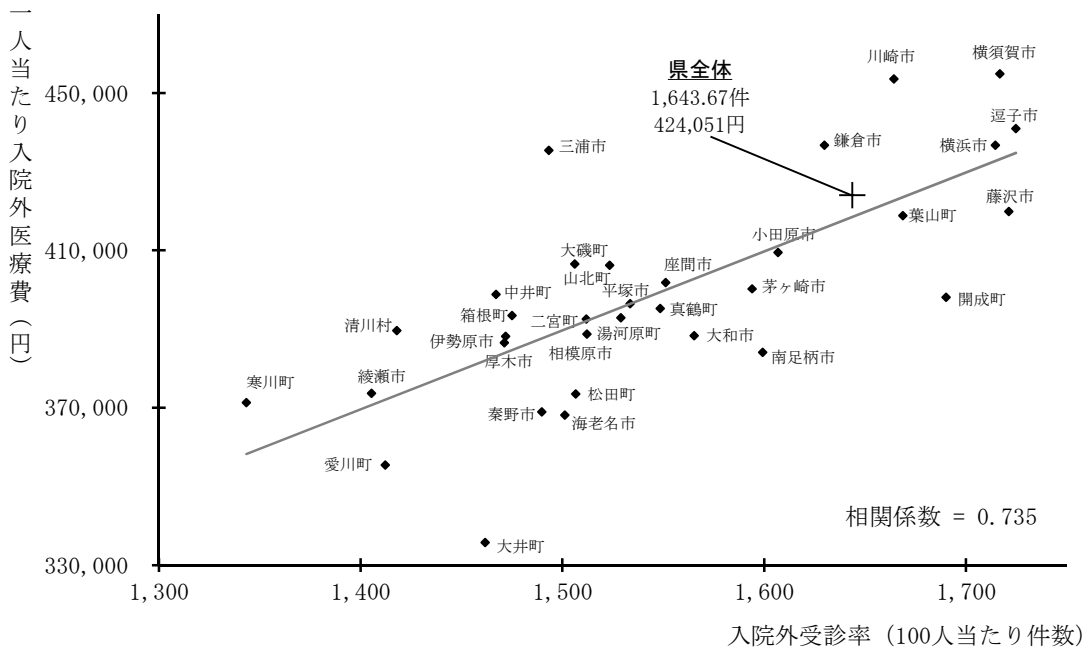
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-4 5 入院受診率と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書 (平成30年度)

図 1-4 6 入院外受診率と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]

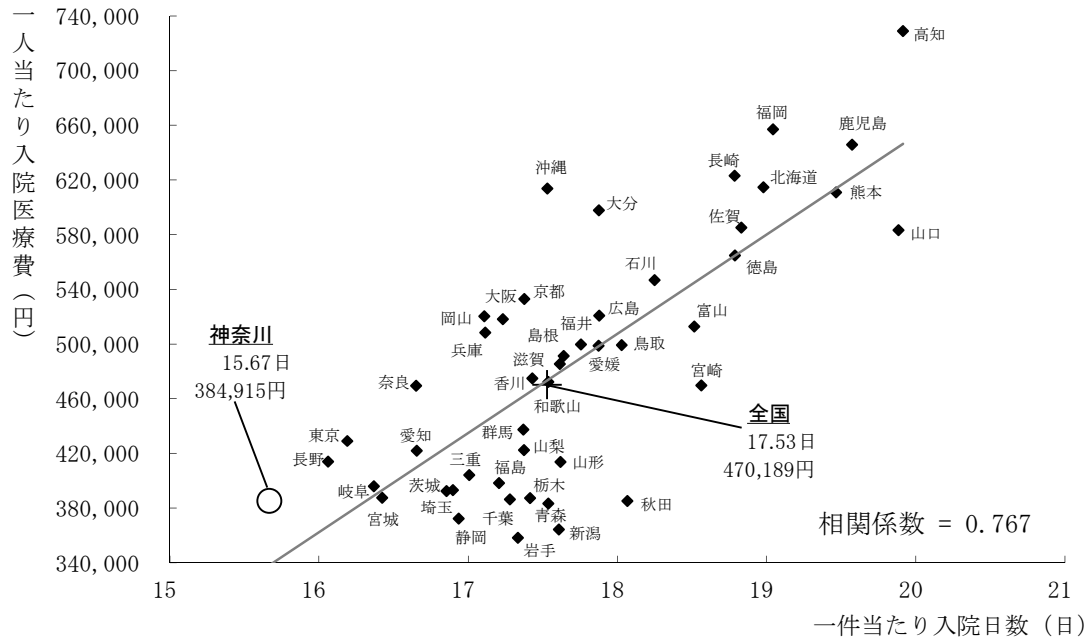


出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書 (平成30年度)

e 一件当たり日数と一人当たり医療費の関係

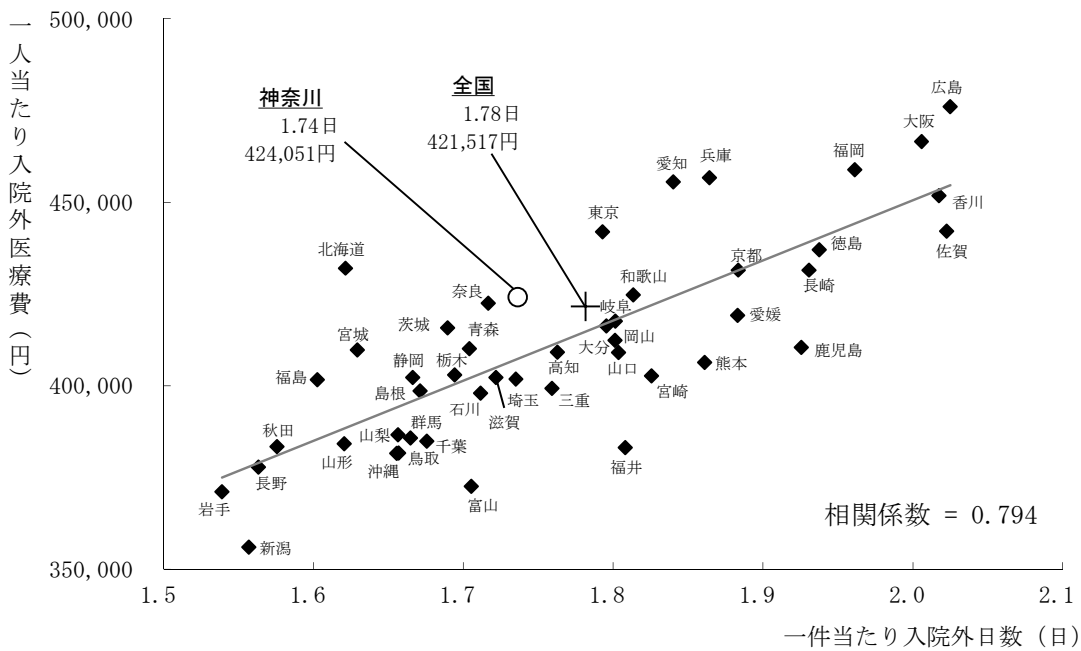
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一件当たり日数と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、入院と入院外では一件当たり日数が多いほど一人当たり医療費が高くなる傾向があります。(図1-47～図1-48)
- 神奈川県的一件当たり日数は、入院が15.67日、入院外が1.74日で、どちらも全国値を下回っており、特に入院は都道府県比較で最も低くなっています。(図1-47～図1-48)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一件当たり日数と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院と入院外では一件当たり日数が多いほど一人当たり医療費が高くなる傾向がありますが、都道府県ほど強い相関は見られません。(図1-49～図1-50)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一件当たり日数と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院では神奈川県の値よりも一件当たり日数が多い市町村が多く、一方、入院外では神奈川県の値よりも一件当たり日数が少なく、一人当たり医療費が低い市町村が多くなっています。(図1-49～図1-50)

図 1-47 一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



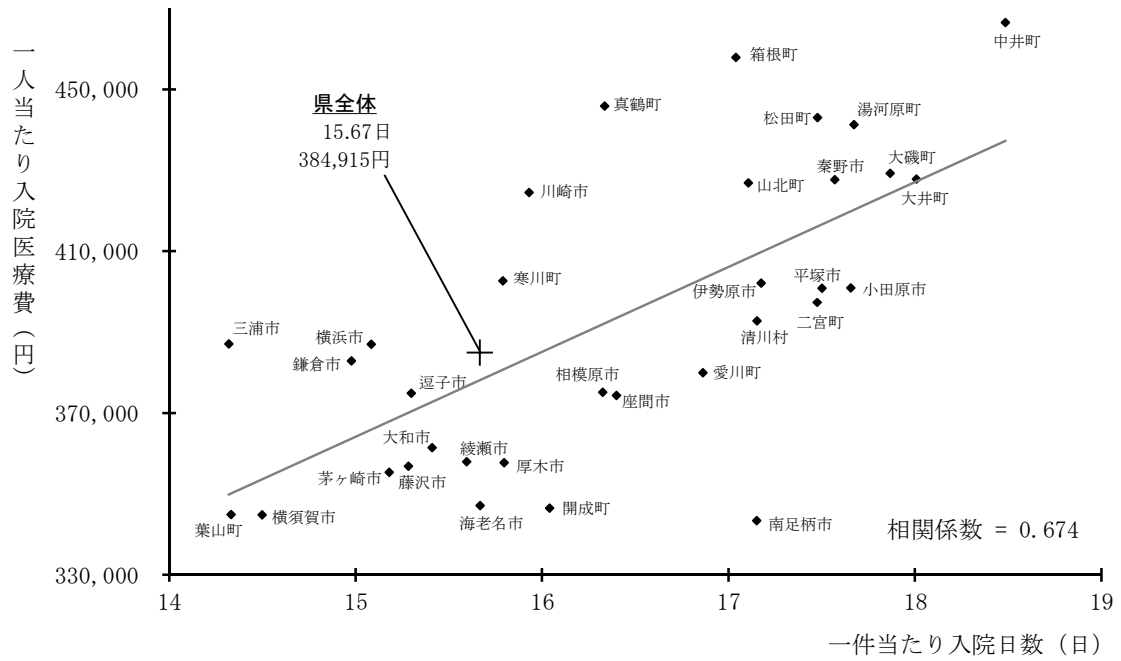
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-48 一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



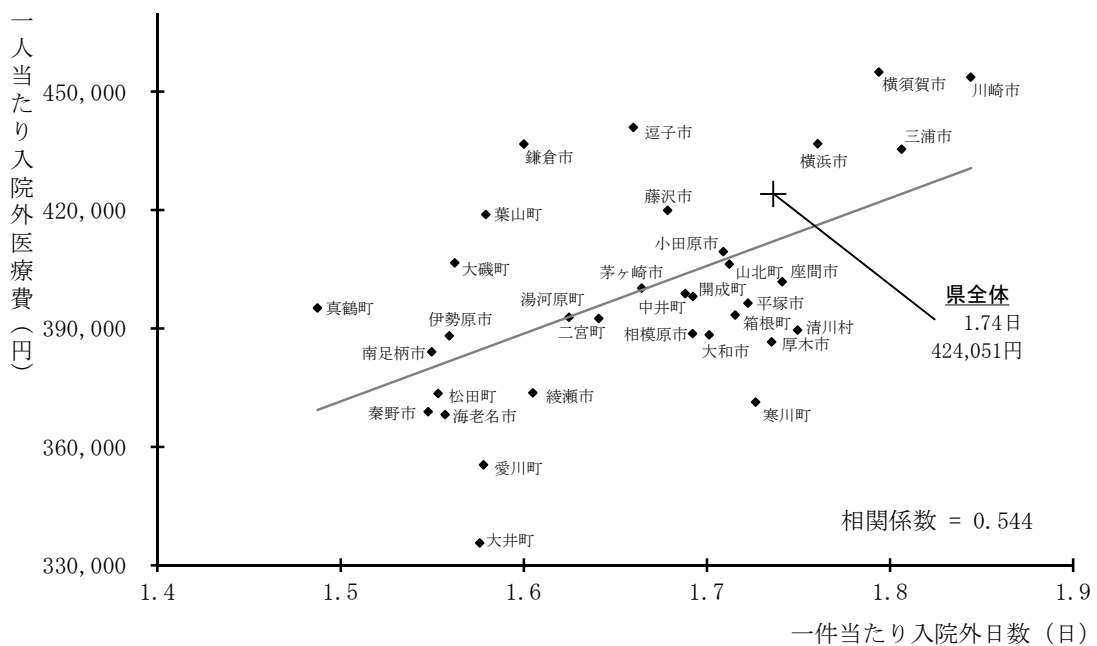
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図1-49 一件当たり入院日数と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

図1-50 一件当たり入院外日数と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]

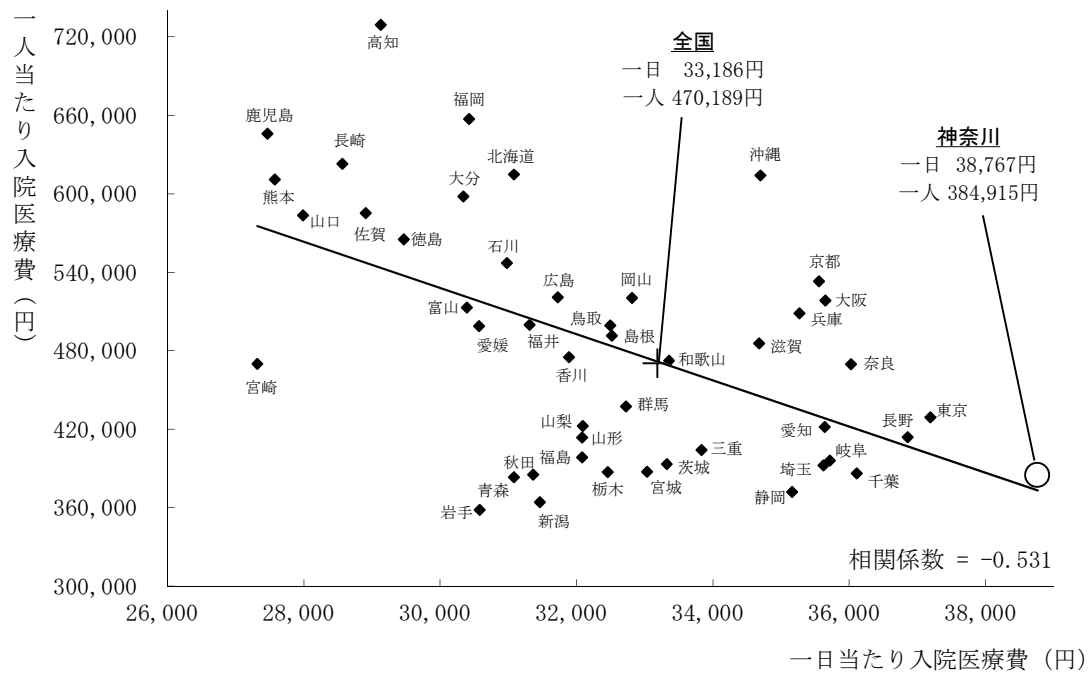


出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

f 一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係

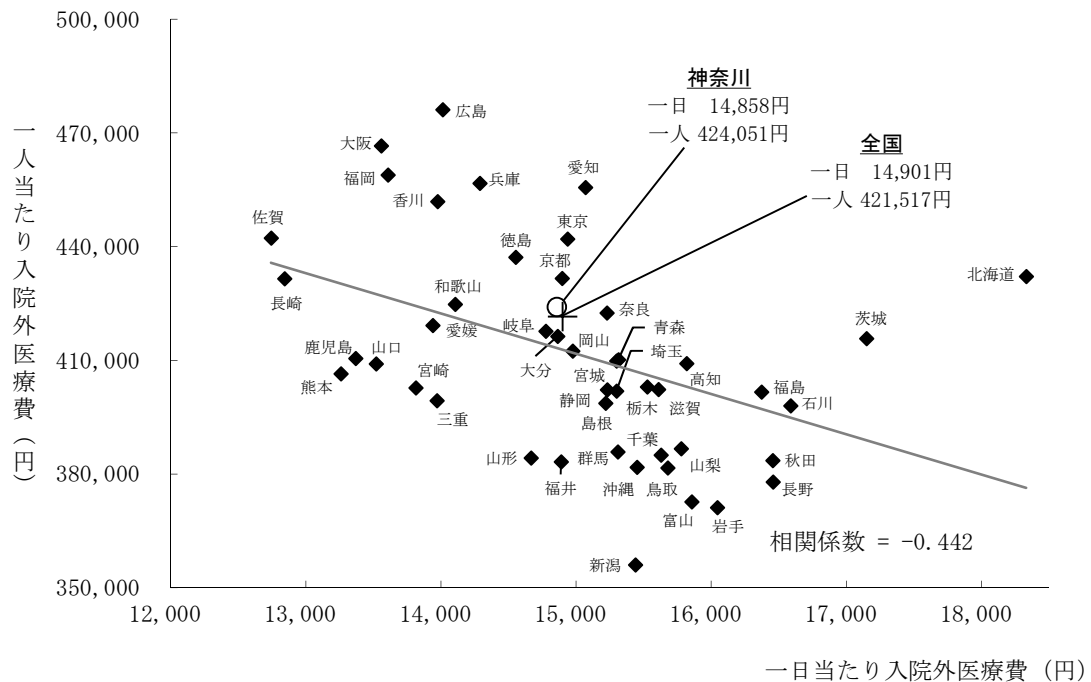
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、入院、入院外では一日当たり医療費が高いほど一人当たり医療費が低い傾向があります。(図1-51～図1-52)
- 神奈川県の日当たり医療費は、入院が3万8,767円、入院外が1万4,858円で、入院は最も高く、入院外は全国値とほぼ同程度となっています。(図1-51～図1-52)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院では一日当たり医療費が高いほど一人当たり医療費が低い傾向があります。(図1-53～図1-54)
- 平成30年度の後期高齢者医療費について、一日当たり医療費と一人当たり医療費の関係を県内市町村で比較すると、入院外では神奈川県の値よりも一日当たり医療費が高く、一人当たり医療費が低い市町村が多くなっています。(図1-53～図1-54)

図 1-5 1 一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



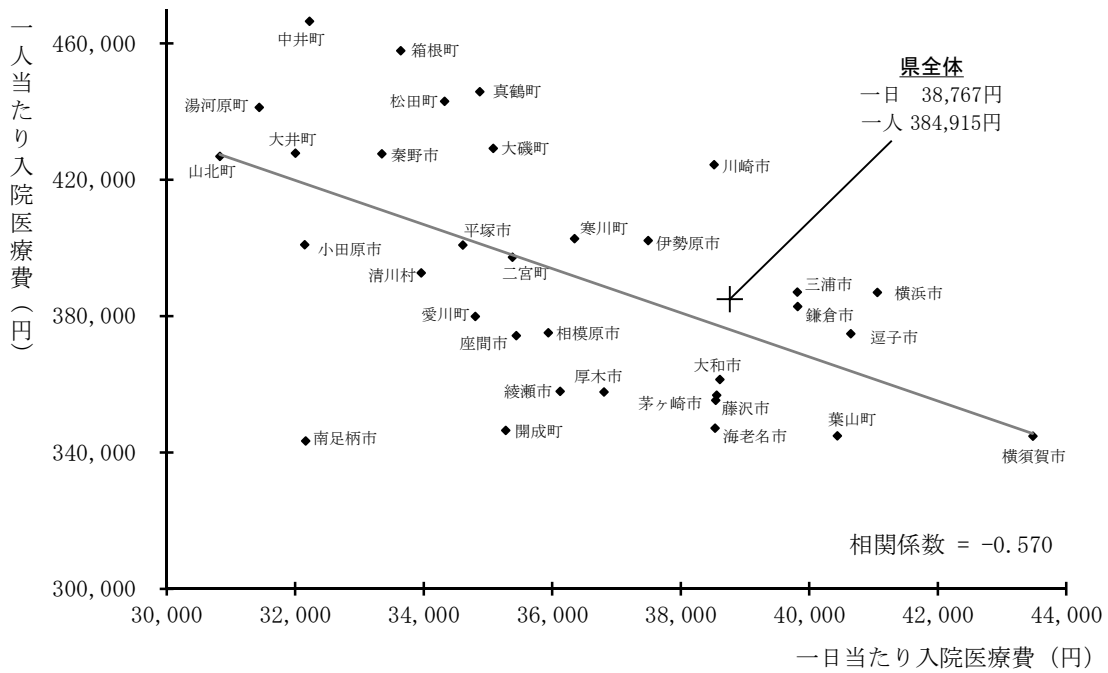
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図 1-5 2 一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



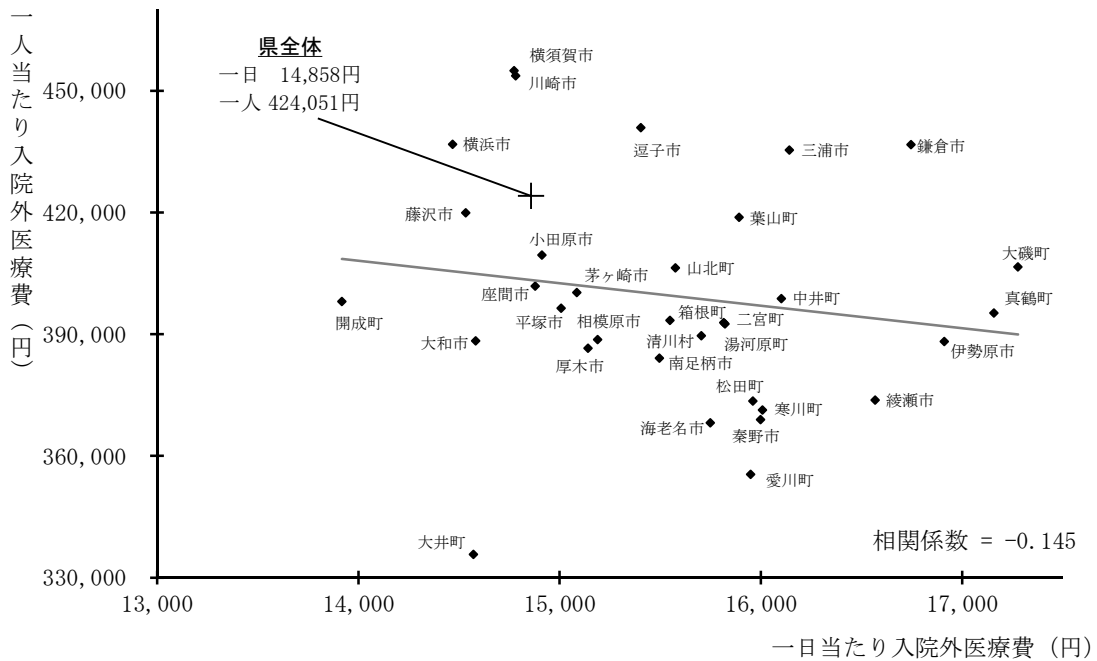
出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成 30 年度）

図1-53 一日当たり入院医療費と一人当たり入院医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]



出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

図1-54 一日当たり入院外医療費と一人当たり入院外医療費の関係[後期高齢者医療費][市町村別]

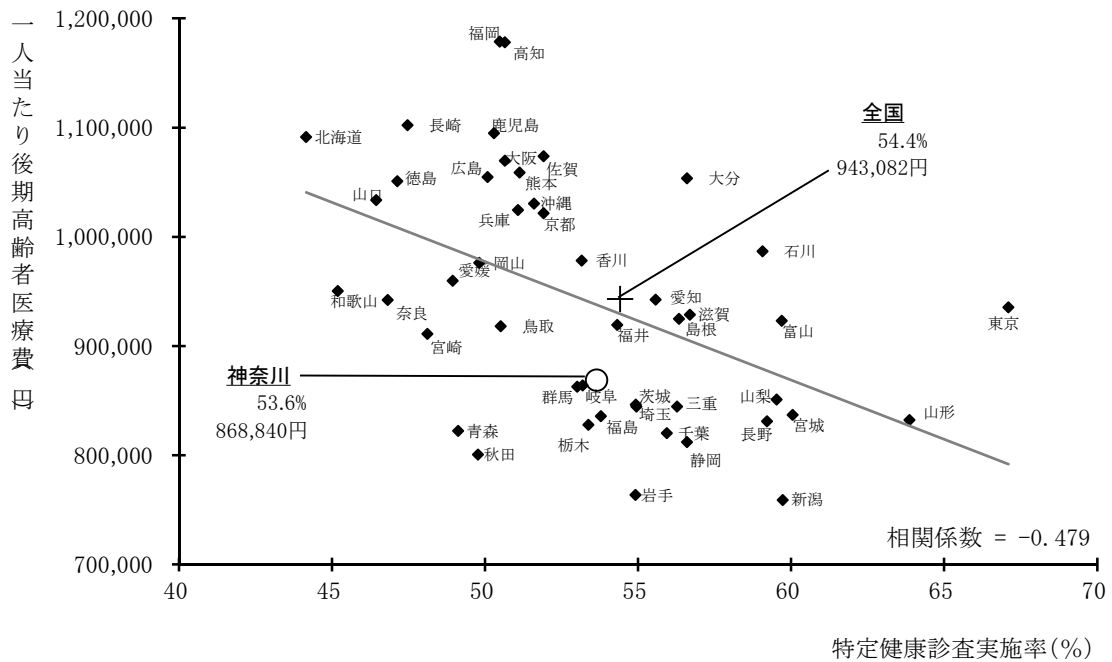


出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療事業報告書（平成30年度）

(ウ) 一人当たり医療費と各種指標との関係

- 平成30年度の後期高齢者医療費について、特定健康診査実施率と一人当たり後期高齢者医療費との関係を都道府県別で比較すると、特定健康診査実施率が高いほど一人当たり後期高齢者医療費が低い傾向が見られます。(図1-55)
- 神奈川県の特健康診査実施率は全国値をわずかに下回り、一人当たり後期高齢者医療費は全国値を下回っています。(図1-55)

図1-55 特定健康診査実施率と一人当たり医療費の関係[後期高齢者医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成30年度）
 厚生労働省 特定健康診査・特定保健指導の実施状況（平成30年度）

エ 県民所得と医療費の関係

- 平成22から27年度における神奈川県のご概算医療費の県民所得に占める割合は増加を続けていましたが、平成27から28年度にかけては減少し、平成29年度は再び上昇しましたが、平成29から30年度にかけては再び減少し8.89%となっています。一方、後期高齢者医療費（老人医療費）の県民所得に占める割合は、平成22年度以降、増加しており、平成30年度は3.15%となっています。これらの割合は、国民所得に占める全国のご概算医療費の割合10.53%、全国の後期高齢者医療費（老人医療費）の割合4.06%を下回っています。（表1-56）
- 神奈川県のご概算医療費の対前年度比伸び率は、平成23年度以降、県民所得の伸びを上回っていましたが、平成27から28年度にかけては県民所得の伸びを下回り、平成29年度は再び上回りましたが、平成30年度は再び下回っています。一方、後期高齢者医療費（老人医療費）の対前年度比伸び率は、平成21年度以降、県民所得の伸びを上回っています。（表1-56）

表1-56 県民所得と県ご概算医療費・県後期高齢者医療費（老人医療費）の推移

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
神奈川県	県ご概算医療費（億円）	21,749	22,582	23,202	23,810	24,385	25,433	25,457	26,231	26,652	
	県老人医療費（億円）	6,395	6,827	7,173	7,536	7,816	8,294	8,558	9,068	9,458	
	県民所得（億円）	272,059	272,917	271,135	277,417	275,786	283,770	290,187	293,708	299,875	
	対前年度比	県ご概算医療費	4.7%	3.8%	2.7%	2.6%	2.4%	4.3%	0.1%	3.0%	1.6%
		老人医療費	7.7%	6.7%	5.1%	5.1%	3.7%	6.1%	3.2%	6.0%	4.3%
		県民所得	6.1%	0.3%	-0.7%	2.3%	-0.6%	2.9%	2.3%	1.2%	2.1%
	県民所得に占める割合	県ご概算医療費	7.99%	8.27%	8.56%	8.58%	8.84%	8.96%	8.77%	8.93%	8.89%
老人医療費		2.35%	2.50%	2.65%	2.72%	2.83%	2.92%	2.95%	3.09%	3.15%	
全国	国ご概算医療費（億円）	366,178	377,666	384,074	392,556	399,556	414,627	412,865	422,316	425,713	
	国老人医療費（億円）	127,213	132,991	137,044	141,912	144,927	151,323	153,806	160,229	164,246	
	国民所得（億円）	3,618,953	3,584,147	3,597,799	3,742,271	3,794,509	3,901,683	3,922,435	4,008,779	4,042,622	
	対前年度比	国ご概算医療費	3.9%	3.1%	1.7%	2.2%	1.8%	3.8%	-0.4%	2.3%	0.8%
		老人医療費	5.9%	4.5%	3.0%	3.6%	2.1%	4.4%	1.6%	4.2%	2.5%
		国民所得	2.4%	-1.0%	0.4%	4.0%	1.4%	2.8%	0.5%	2.2%	0.8%
	国民所得に占める割合	国ご概算医療費	10.12%	10.54%	10.68%	10.49%	10.53%	10.63%	10.53%	10.53%	10.53%
老人医療費		3.52%	3.71%	3.81%	3.79%	3.82%	3.88%	3.92%	4.00%	4.06%	

出典：厚生労働省 概算医療費（平成22年4月～平成31年3月）
 厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成22～30年度）
 神奈川県 神奈川県県民経済計算（平成30年度）
 内閣府 国民経済計算（平成30年度）

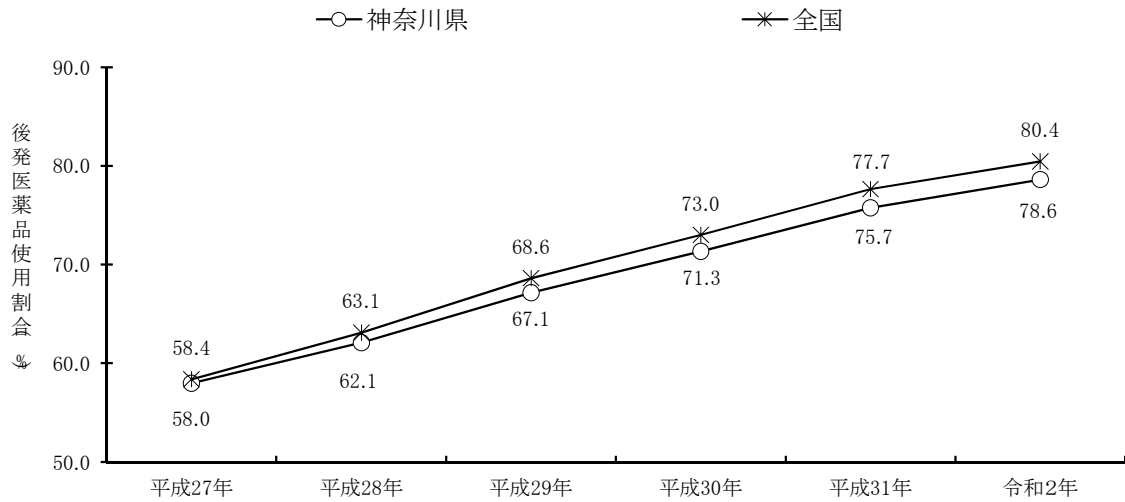
オ 神奈川県における後発医薬品の状況

- 神奈川県の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合^{※1, ※2}は、平成27年3月から令和2年3月にかけて、増加傾向にあり、令和2年3月は78.6%です。（図1-57）
- 神奈川県の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合は、全国に比べやや低い水準です。制度別にみると、公費制度では全国に比べてわずかに割合が高く、被用者保険、国民健康保険、後期高齢者医療では、全国に比べ低い割合です。（図1-58）
- 神奈川県の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合は、都道府県比較で低い方から10番目です。（図1-59）

※1 新指標の使用割合＝後発医薬品の数量／（後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量）

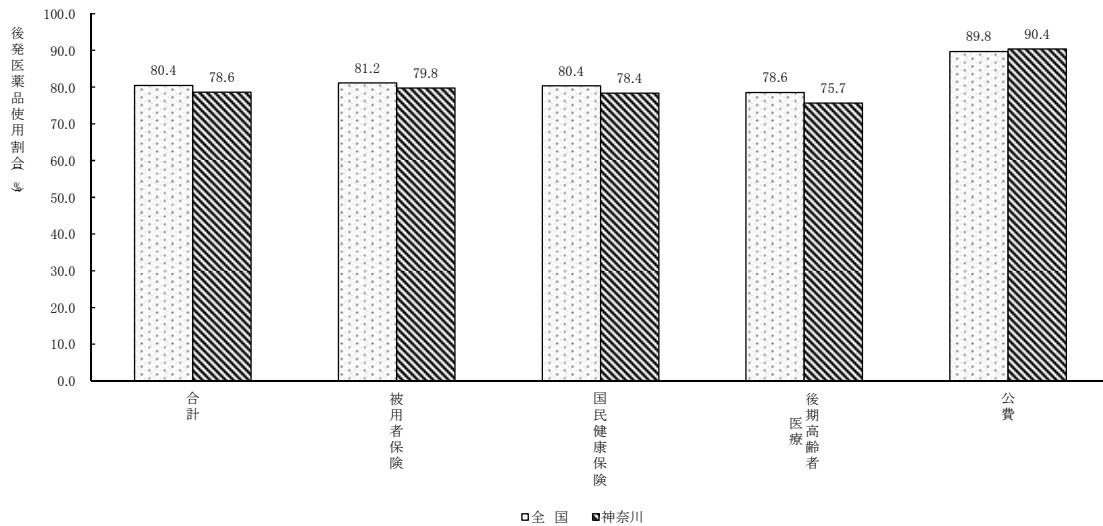
※2 各年度ともに3月時点の数値を用いています。

図1-57 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の年別使用割合推移



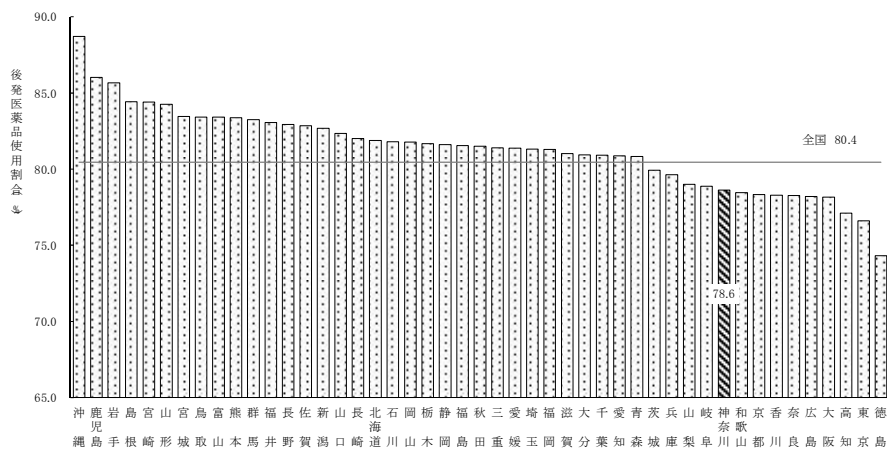
出典：厚生労働省「調剤医療費の動向（電算処理分）」（平成27年～令和2年の各年の3月）

図1-58 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の制度別使用割合



出典：厚生労働省「調剤医療費の動向（電算処理分）」（令和2年3月）

図1-59 都道府県別の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合

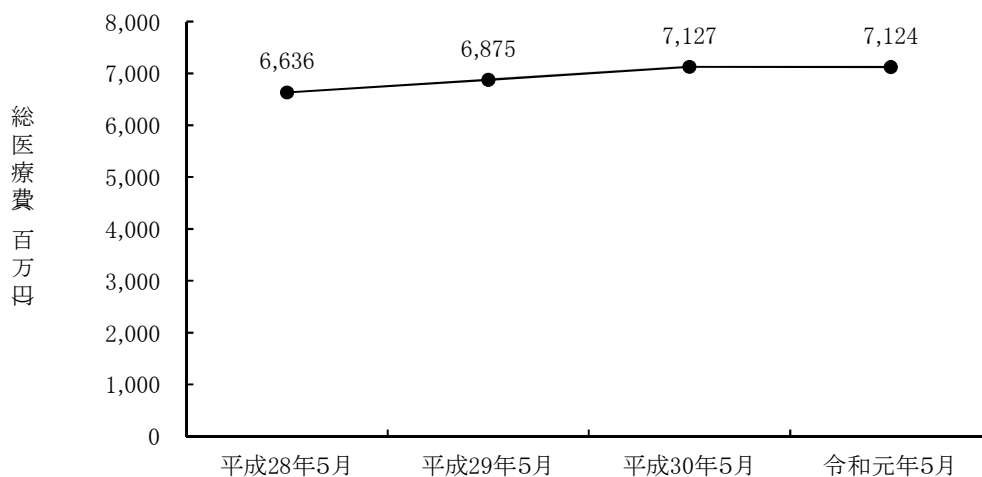


出典：厚生労働省「調剤医療費の動向（電算処理分）」（令和2年3月）

カ 神奈川県におけるがん検診の状況

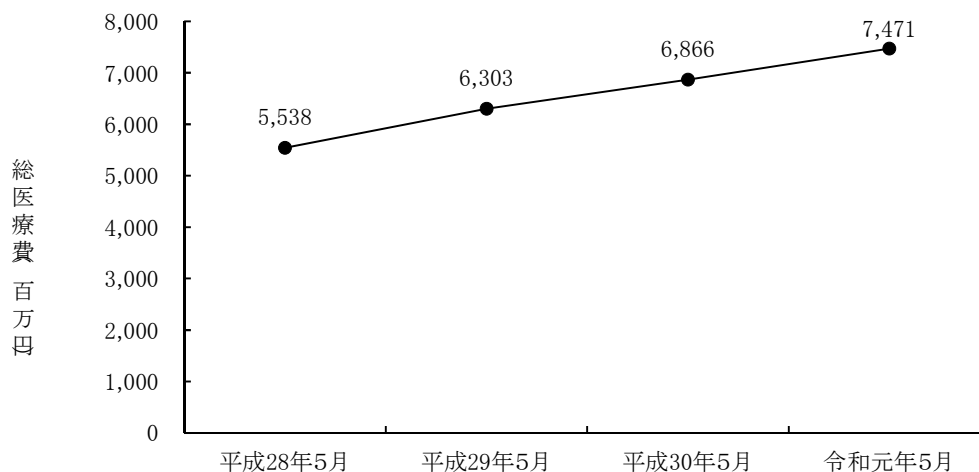
- 神奈川県の国民健康保険における悪性新生物医療費の推移をみると、平成28年5月から平成30年5月にかけて、増加した後、令和元年5月は71億円と前年からほぼ横ばいです。(図1-60)
- 神奈川県の後期高齢者医療制度における悪性新生物の医療費の推移をみると、平成28年5月から令和元年5月にかけて増加傾向にあり、令和元年5月は74億円です。(図1-61)
- 神奈川県のがん検診受診率の推移をみると、令和元年にかけて大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんのいずれも上昇し、かつ平成28年以降は40%を超えています。胃がん検診については平成28年から令和元年にかけてほぼ横ばいとなっています。(図1-62)

図1-60 神奈川県国民健康保険における悪性新生物の医療費の推移



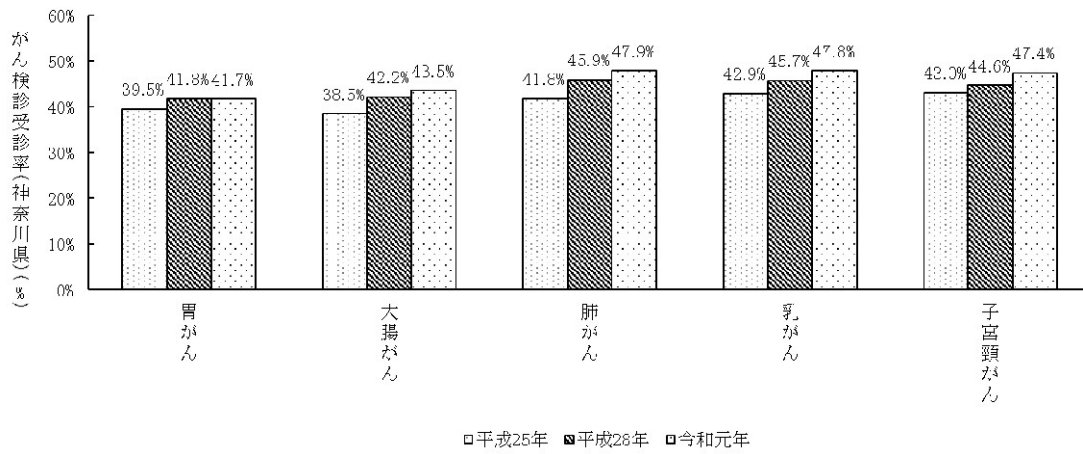
出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

図1-61 神奈川県後期高齢者医療制度における悪性新生物の医療費の推移



出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

図1-62 神奈川県のがん検診受診率推移^(※1)



※1 胃がん、大腸がん、および肺がん検診は40～69歳、乳がん検診は40～69歳女性、子宮頸がん検診は20～69歳女性の受診率を使用しています。

出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成25、28、令和元年）

(2) 生活習慣病を中心にみた医療費

ア 神奈川県国民健康保険における疾病別医療費^(※1)

- 令和元年5月診療分の神奈川県の国民健康保険における中分類の疾病別（年齢階層別）医療費及び一人当たり医療費の上位10疾病^(※2)をみると、全年齢合計では、腎不全が医療費約38億円、一人当たり医療費1,890円で最も高くなっています。腎不全は全疾病の7.8%を占め、次いでその他の悪性新生物の5.8%、その他の心疾患の5.4%、糖尿病の5.3%となっています。年齢階層別では、39歳以下と40歳代で統合失調症、50歳代以上では腎不全が最も高くなっています。また、40歳代においても腎不全は医療費及び一人当たり医療費で上位にあります。40歳代以上の上位10疾病では生活習慣病^(※3)が多く含まれ、年代の上昇とともに多くなります。（表2-1、表2-2）
- 受診率の上位10疾病をみると、全年齢合計では高血圧性疾患が6.21件/100人で最も高く、以下、脂質異常症、糖尿病、その他の眼及び付属器の疾患の順となっています。年齢階層別では、40歳代から高血圧性疾患が上位10疾病に含まれ、50歳代以上で最も高い疾病となっています。（表2-3）
- 一件当たり医療費をみると、全年齢合計では、くも膜下出血が55万112円で最も高く、次いで、白血病の51万4,083円、その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害の39万9,948円となっています。年齢階層別では、39歳以下と40歳代では白血病が最も高く、50歳代以上ではくも膜下出血が最も高くなっています。（表2-4）

※1 神奈川県の疾病別医療費を分析するにあたり、令和元年5月診療分の国民健康保険（市町村・組合）のレセプト（一般の被保険者、退職者医療制度の被保険者）を集計した国保データベース（KDB）システムの「疾病別医療費分析（中分類）帳票」のデータを用いています。国保データベース（KDB）システムの「疾病別医療費分析（中分類）帳票」は、医科レセプト及びそれらに紐付けられた調剤レセプト、歯科入院レセプトを対象とし、主傷病名を「最大医療資源」（医療のレセプトデータから最も医療資源（診療行為、医薬品、特定器材）を要したもの）の考え方に基つき分類しているため、レセプト表記上の主傷病名とは必ずしも一致しません。また、電子レセプトデータのみを対象とするため、紙レセプトデータについては反映されていません。

※2 本書では、歯科にかかる3分類（「う蝕」、「歯肉炎及び歯周疾患」、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」）及び電子レセプトデータから疾病コードが読み取れないものや紙レセプト（「その他（上記以外のもの）」）については、全疾病合計から除き、「（参考）その他」として表示しています。なお、国保データベース（KDB）システムを使用した疾病別医療費は、医科レセプトに紐付けられた調剤レセプトの医療費を含むことや主傷病名の捉え方が異なること、紙レセプトは含まないことなどの点で、これまで使用してきた国保総合システムの疾病別医療費データとは、対象データ及び分類方法が異なるため、平成27年度と平成26年度以前を比較する場合は、ご注意ください。

※3 本書では生活習慣と関連の深い疾病として、高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳梗塞、脳内出血、糖尿病、腎不全を中心に分析します。これらの疾病は以下「生活習慣病」という表現をします。腎不全は生活習慣が原因でない場合もありますが、糖尿病によって引き起こされる場合が多く、全体に占める医療費の割合が高いため、ここでは生活習慣病として扱います。悪性新生物も生活習慣病に分類されることがあり、全体に占める医療費の割合も高くなっていますが、別途「神奈川県がん対策推進計画」に基づいて対策を進めるのでここでは分析の対象に含めません。他の疾病で生活習慣が原因の疾患は、全体に占める医療費の割合が低いこと等により、ここでは生活習慣病としての分析の対象に含めません。

表 2-1 神奈川県国民健康保険における医療費上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

～39歳		医療費(円)	構成比
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	279,337,170	6.3%
2位	喘息	228,461,250	5.2%
3位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	210,164,650	4.8%
4位	その他の消化器系の疾患	190,907,190	4.3%
5位	皮膚炎及び湿疹	171,274,950	3.9%
6位	その他の神経系の疾患	148,076,600	3.4%
7位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	146,935,350	3.3%
8位	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	133,224,070	3.0%
9位	その他の心疾患	131,342,010	3.0%
10位	その他の急性上気道感染症	126,394,080	2.9%
全疾病合計		4,412,893,110	100.0%
(参考)その他		134,996,420	

40～49歳		医療費(円)	構成比
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	434,809,040	11.2%
2位	腎不全	275,679,000	7.1%
3位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	229,277,520	5.9%
4位	その他の神経系の疾患	194,134,340	5.0%
5位	その他の消化器系の疾患	154,290,490	4.0%
6位	糖尿病	148,503,940	3.8%
7位	その他の心疾患	125,803,600	3.2%
8位	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	106,752,370	2.8%
9位	てんかん	101,706,250	2.6%
10位	その他の悪性新生物<腫瘍>	93,967,990	2.4%
全疾病合計		3,876,965,870	100.0%
(参考)その他		43,981,100	

50～59歳		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	598,895,880	10.4%
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	488,711,840	8.5%
3位	糖尿病	296,472,700	5.1%
4位	その他の神経系の疾患	272,930,430	4.7%
5位	その他の悪性新生物<腫瘍>	249,220,040	4.3%
6位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	231,148,140	4.0%
7位	その他の消化器系の疾患	211,275,480	3.7%
8位	その他の心疾患	204,450,440	3.5%
9位	高血圧性疾患	161,752,230	2.8%
10位	乳房の悪性新生物<腫瘍>	130,949,350	2.3%
全疾病合計		5,777,709,520	100.0%
(参考)その他		52,825,720	

60～69歳		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	1,535,908,910	9.0%
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,164,246,020	6.8%
3位	糖尿病	1,070,746,440	6.3%
4位	その他の心疾患	942,264,270	5.5%
5位	高血圧性疾患	689,317,070	4.0%
6位	脂質異常症	606,812,360	3.5%
7位	その他の消化器系の疾患	586,743,090	3.4%
8位	その他の眼及び付属器の疾患	502,014,640	2.9%
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	494,057,190	2.9%
10位	その他の神経系の疾患	474,268,090	2.8%
全疾病合計		17,108,928,320	100.0%
(参考)その他		160,187,290	

70～74歳		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	1,361,200,990	7.5%
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,322,202,390	7.3%
3位	その他の心疾患	1,261,578,800	7.0%
4位	糖尿病	1,069,195,060	5.9%
5位	高血圧性疾患	742,024,840	4.1%
6位	その他の消化器系の疾患	647,197,830	3.6%
7位	脂質異常症	639,017,980	3.5%
8位	その他の眼及び付属器の疾患	617,021,820	3.4%
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	579,417,800	3.2%
10位	虚血性心疾患	484,297,740	2.7%
全疾病合計		18,137,502,080	100.0%
(参考)その他		157,294,890	

全年齢合計		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	3,834,663,620	7.8%
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	2,868,435,010	5.8%
3位	その他の心疾患	2,665,439,120	5.4%
4位	糖尿病	2,637,780,590	5.3%
5位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,827,673,040	3.7%
6位	その他の消化器系の疾患	1,790,414,080	3.6%
7位	高血圧性疾患	1,664,565,310	3.4%
8位	その他の神経系の疾患	1,513,752,910	3.1%
9位	脂質異常症	1,437,318,090	2.9%
10位	その他の眼及び付属器の疾患	1,332,413,020	2.7%
全疾病合計		49,313,998,900	100.0%
(参考)その他		549,285,420	

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表 2-2 神奈川県国民健康保険における一人当たり医療費上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

～39歳		一人当たり医療費(円)
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	505
2位	喘息	413
3位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	380
4位	その他の消化器系の疾患	345
5位	皮膚炎及び湿疹	310
6位	その他の神経系の疾患	268
7位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	266
8位	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	241
9位	その他の心疾患	238
10位	その他の急性上気道感染症	229
全疾病合計		7,984
(参考)その他		244

40～49歳		一人当たり医療費(円)
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,703
2位	腎不全	1,080
3位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	898
4位	その他の神経系の疾患	761
5位	その他の消化器系の疾患	604
6位	糖尿病	582
7位	その他の心疾患	493
8位	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	418
9位	てんかん	398
10位	その他の悪性新生物<腫瘍>	368
全疾病合計		15,189
(参考)その他		172

50～59歳		一人当たり医療費(円)
1位	腎不全	2,414
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,970
3位	糖尿病	1,195
4位	その他の神経系の疾患	1,100
5位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,005
6位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	932
7位	その他の消化器系の疾患	852
8位	その他の心疾患	824
9位	高血圧性疾患	652
10位	乳房の悪性新生物<腫瘍>	528
全疾病合計		23,292
(参考)その他		213

60～69歳		一人当たり医療費(円)
1位	腎不全	2,870
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	2,175
3位	糖尿病	2,001
4位	その他の心疾患	1,761
5位	高血圧性疾患	1,288
6位	脂質異常症	1,134
7位	その他の消化器系の疾患	1,096
8位	その他の眼及び付属器の疾患	938
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	923
10位	その他の神経系の疾患	886
全疾病合計		31,969
(参考)その他		299

70～74歳		一人当たり医療費(円)
1位	腎不全	3,106
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,017
3位	その他の心疾患	2,879
4位	糖尿病	2,440
5位	高血圧性疾患	1,693
6位	その他の消化器系の疾患	1,477
7位	脂質異常症	1,458
8位	その他の眼及び付属器の疾患	1,408
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,322
10位	虚血性心疾患	1,105
全疾病合計		41,387
(参考)その他		359

全年齢合計		一人当たり医療費(円)
1位	腎不全	1,890
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,413
3位	その他の心疾患	1,313
4位	糖尿病	1,300
5位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	901
6位	その他の消化器系の疾患	882
7位	高血圧性疾患	820
8位	その他の神経系の疾患	746
9位	脂質異常症	708
10位	その他の眼及び付属器の疾患	657
全疾病合計		24,299
(参考)その他		271

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表 2-3 神奈川県国民健康保険における受診率上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

～39歳		受診率(件/100人)
1位	皮膚炎及び湿疹	2.89
2位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2.35
3位	喘息	2.33
4位	その他の急性上気道感染症	2.32
5位	アレルギー性鼻炎	1.87
6位	屈折及び調節の障害	1.84
7位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	1.49
8位	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1.17
9位	その他損傷及びその他外因の影響	1.13
10位	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1.06
全疾病合計		35.25
(参考)その他		2.55

40～49歳		受診率(件/100人)
1位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	3.05
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2.62
3位	その他の神経系の疾患	2.38
4位	皮膚炎及び湿疹	2.13
5位	高血圧性疾患	1.77
6位	糖尿病	1.70
7位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1.46
8位	喘息	1.42
9位	アレルギー性鼻炎	1.40
10位	その他の消化器系の疾患	1.33
全疾病合計		43.00
(参考)その他		1.75

50～59歳		受診率(件/100人)
1位	高血圧性疾患	4.81
2位	糖尿病	3.59
3位	脂質異常症	3.15
4位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.76
5位	その他の神経系の疾患	2.75
6位	その他の眼及び付属器の疾患	2.39
7位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2.29
8位	皮膚炎及び湿疹	1.86
9位	その他の消化器系の疾患	1.80
10位	喘息	1.43
全疾病合計		55.86
(参考)その他		1.90

60～69歳		受診率(件/100人)
1位	高血圧性疾患	9.88
2位	脂質異常症	7.43
3位	糖尿病	6.58
4位	その他の眼及び付属器の疾患	5.44
5位	関節症	2.61
6位	その他の消化器系の疾患	2.51
7位	その他の神経系の疾患	2.50
8位	骨の密度及び構造の障害	2.22
9位	その他の心疾患	2.14
10位	脊椎障害(脊椎症を含む)	2.06
全疾病合計		81.46
(参考)その他		2.23

70～74歳		受診率(件/100人)
1位	高血圧性疾患	12.77
2位	脂質異常症	9.38
3位	糖尿病	8.20
4位	その他の眼及び付属器の疾患	7.93
5位	骨の密度及び構造の障害	4.17
6位	その他の心疾患	3.75
7位	関節症	3.58
8位	その他の消化器系の疾患	3.35
9位	脊椎障害(脊椎症を含む)	3.27
10位	その他の神経系の疾患	2.66
全疾病合計		105.05
(参考)その他		2.59

全年齢合計		受診率(件/100人)
1位	高血圧性疾患	6.21
2位	脂質異常症	4.56
3位	糖尿病	4.23
4位	その他の眼及び付属器の疾患	3.80
5位	皮膚炎及び湿疹	2.20
6位	その他の神経系の疾患	2.13
7位	その他の消化器系の疾患	1.98
8位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1.82
9位	喘息	1.79
10位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	1.78
全疾病合計		66.00
(参考)その他		2.29

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表2-4 神奈川県国民健康保険における一件当たり医療費上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

～39歳		一件当たり医療費(円)
1位	白血病	854,413
2位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	453,561
3位	胃の悪性新生物<腫瘍>	444,461
4位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	345,280
5位	脳内出血	338,166
6位	腎不全	336,785
7位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	334,207
8位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	317,389
9位	結腸の悪性新生物<腫瘍>	311,159
10位	悪性リンパ腫	288,567
全疾病合計		22,650
(参考)その他		9,571

40～49歳		一件当たり医療費(円)
1位	白血病	738,413
2位	くも膜下出血	643,759
3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	612,783
4位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	440,105
5位	腎不全	375,073
6位	その他の周産期に発生した病態	352,050
7位	脳内出血	310,396
8位	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	304,885
9位	その他のウイルス性疾患	303,539
10位	悪性リンパ腫	277,157
全疾病合計		35,321
(参考)その他		9,846

50～59歳		一件当たり医療費(円)
1位	くも膜下出血	566,928
2位	白血病	445,248
3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	423,402
4位	腎不全	390,924
5位	その他のウイルス性疾患	364,722
6位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	361,629
7位	脳内出血	359,666
8位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	352,346
9位	血管性及び詳細不明の認知症	351,822
10位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	294,067
全疾病合計		41,697
(参考)その他		11,237

60～69歳		一件当たり医療費(円)
1位	くも膜下出血	566,743
2位	白血病	512,701
3位	心臓の先天奇形	451,675
4位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	394,199
5位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	369,555
6位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	364,349
7位	腎不全	360,881
8位	脳内出血	356,892
9位	血管性及び詳細不明の認知症	356,560
10位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	347,491
全疾病合計		39,247
(参考)その他		13,446

70～74歳		一件当たり医療費(円)
1位	くも膜下出血	533,921
2位	心臓の先天奇形	451,690
3位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	428,502
4位	脳内出血	410,121
5位	白血病	409,400
6位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	397,023
7位	腎不全	338,523
8位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	325,150
9位	その他の精神及び行動の障害	315,287
10位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	310,920
全疾病合計		39,397
(参考)その他		13,868

全年齢合計		一件当たり医療費(円)
1位	くも膜下出血	550,112
2位	白血病	514,083
3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	399,948
4位	脳内出血	369,021
5位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	367,810
6位	腎不全	357,344
7位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	344,802
8位	血管性及び詳細不明の認知症	328,864
9位	その他の周産期に発生した病態	252,285
10位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	247,609
全疾病合計		36,816
(参考)その他		11,805

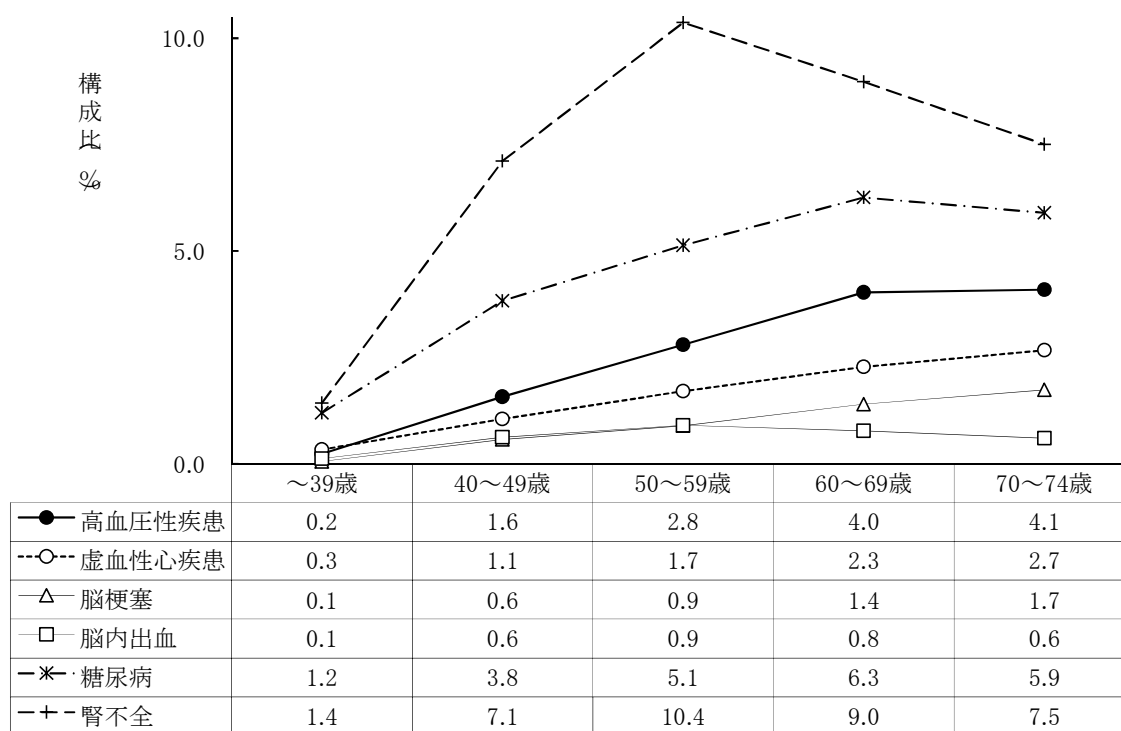
出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

イ 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費

(ア) 年齢階層別にみた状況

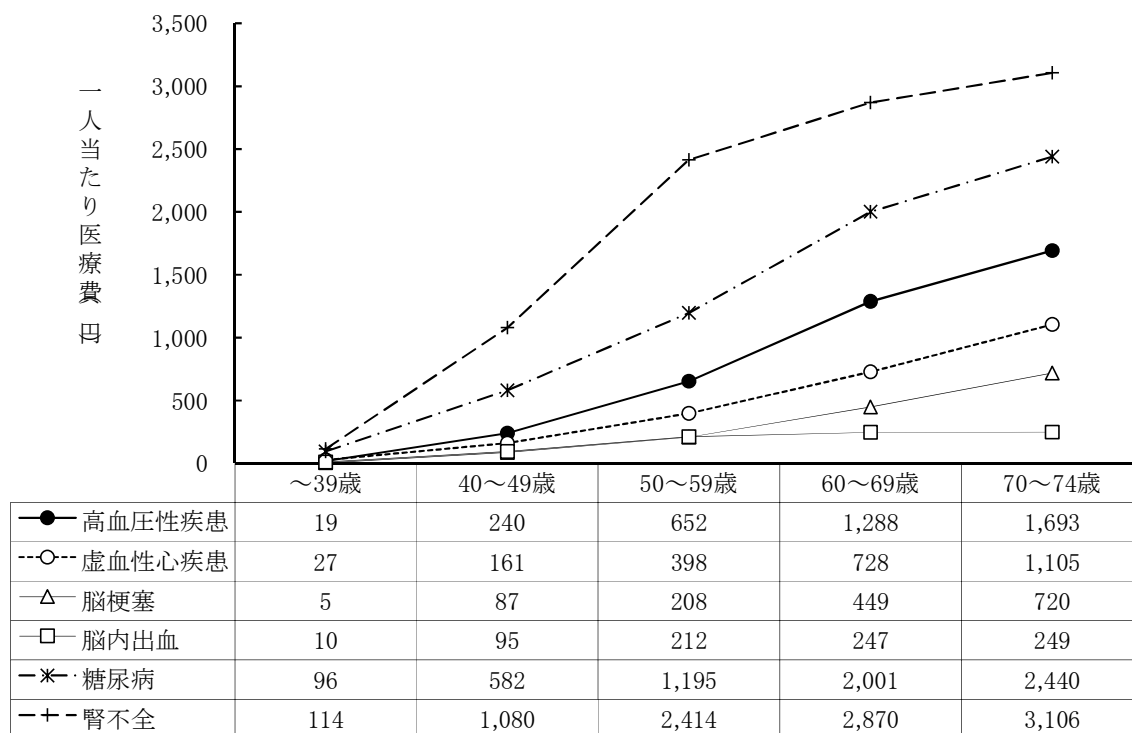
- 令和元年5月診療分の神奈川県国民健康保険における、主な生活習慣病に対する医療費の構成比をみると、高血圧性疾患、糖尿病では40歳代から60歳代にかけて、年齢階層が上がるとともに、割合が高くなっています。腎不全の割合は40歳代から50歳代にかけて大幅に高まっています。また、虚血性心疾患と脳梗塞は年齢階層が上がるほどその割合は高まっています。(図2-5)
- 一人当たり医療費をみると、高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳梗塞、糖尿病、腎不全は年齢階層の上昇とともに割合が高まる傾向がみられます。全年代で腎不全が最も高く、70~74歳では腎不全の一人当たり医療費は3,106円、次いで、糖尿病が2,440円、高血圧性疾患が1,693円となっています。70~74歳の一人当たり医療費は39歳以下と比較して、腎不全でおおよそ27倍、糖尿病ではおおよそ25倍、高血圧性疾患ではおおよそ89倍となっています。(図2-6)
- 受診率をみると、高血圧性疾患が50歳代から高くなり、70~74歳では12.77件/100人となっています。70~74歳の高血圧性疾患の受診率は39歳以下と比較して、91倍と大幅に高まります。(図2-7)
- 一件当たり医療費をみると、60歳代以下では腎不全が最も高くなっており、70~74歳代では脳内出血が最も高くなっています。また、虚血性心疾患、脳梗塞は50歳代以上では年代の上昇とともに減少傾向にあります。(図2-8)

図2-5 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費構成比 [年齢階層別]



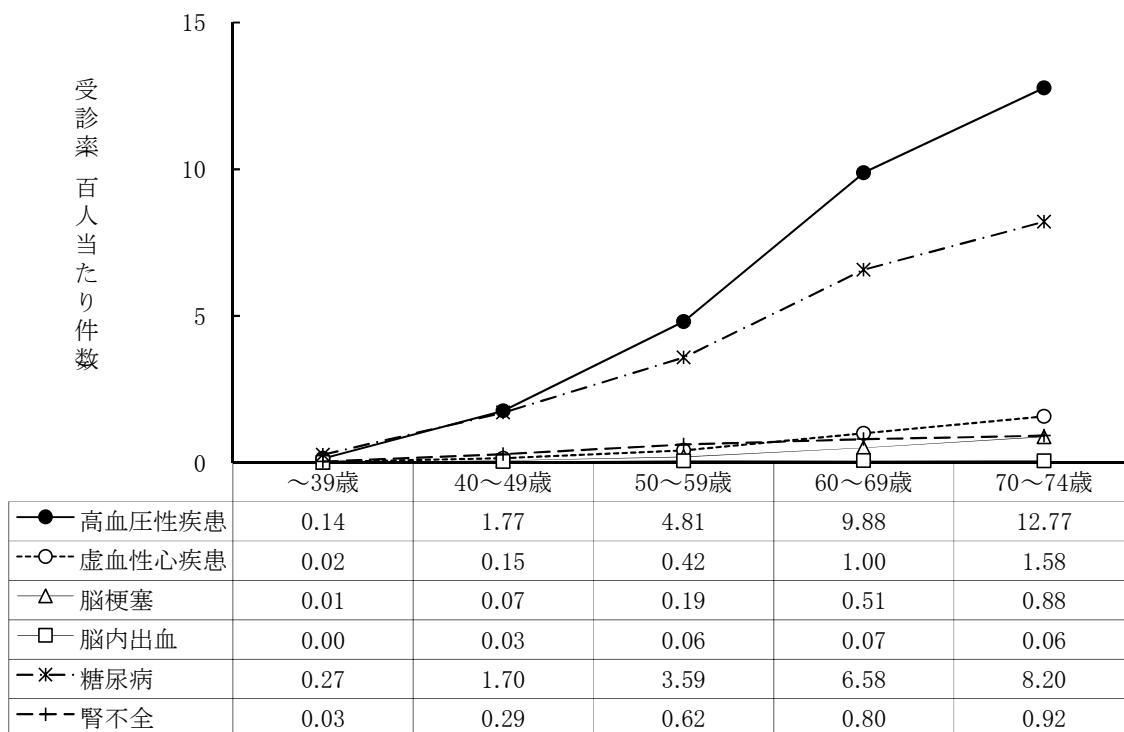
出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

図 2-6 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一人当たり医療費 [年齢階層別]



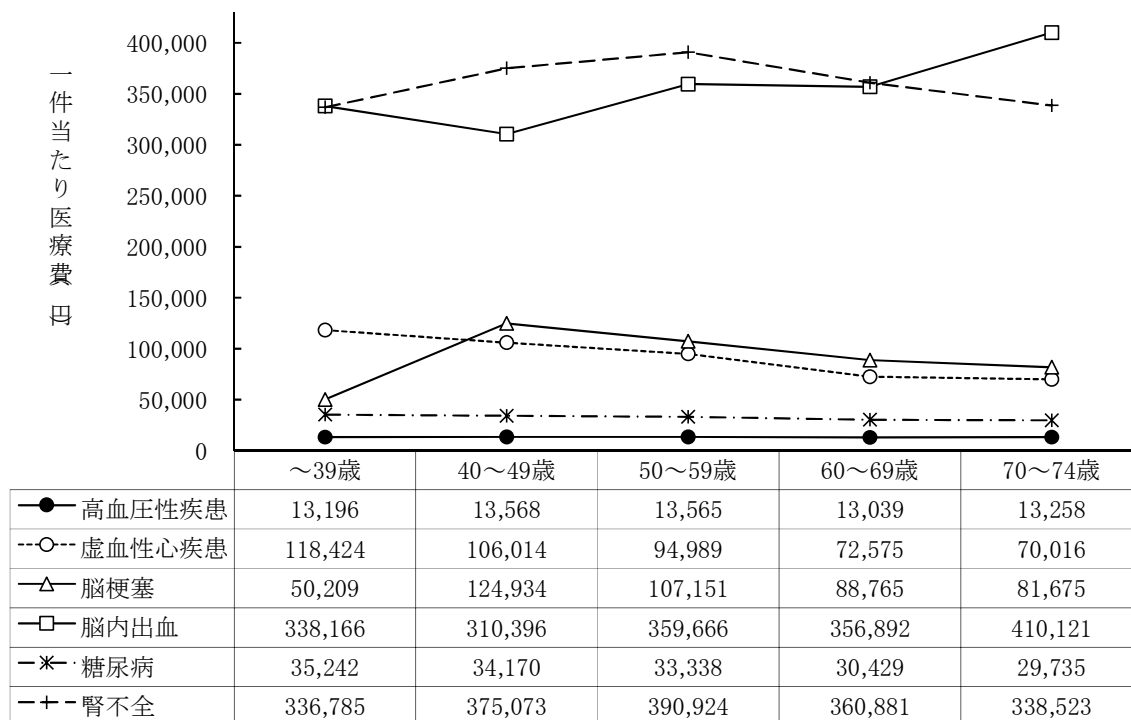
出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

図 2-7 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率 [年齢階層別]



出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

図2-8 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一件当たり医療費 [年齢階層別]



出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

(イ) 年齢階層別の医療費の推移

表2-9 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費の推移〔年齢階層別〕※

上:医療費(円) 下:対前年度比	～39歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	16,756,760 -26.3%	17,799,640 6.2%	18,060,370 1.5%	19,175,260 6.2%	12,925,110 -32.6%	10,332,470 -20.1%
虚血性心疾患	7,830,440 -6.0%	11,020,310 40.7%	10,598,480 -3.8%	11,624,910 9.7%	4,911,570 -57.7%	14,684,600 199.0%
脳梗塞	8,814,630 28.9%	4,047,020 -54.1%	11,949,170 195.3%	4,764,730 -60.1%	4,478,380 -6.0%	2,510,460 -43.9%
脳内出血	21,900,450 143.2%	3,858,210 -82.4%	5,575,390 44.5%	7,848,900 40.8%	4,222,680 -46.2%	5,410,650 28.1%
糖尿病	50,865,400 -6.1%	59,718,970 17.4%	53,109,570 -11.1%	53,030,570 -0.1%	56,778,420 7.1%	52,862,450 -6.9%
腎不全	64,508,390 -14.8%	85,311,140 32.2%	66,979,120 -21.5%	69,431,650 3.7%	65,870,920 -5.1%	62,978,840 -4.4%
全疾病	5,623,243,600 -6.8%	5,211,582,740 -7.3%	4,975,189,290 -4.5%	4,845,870,450 -2.6%	4,501,743,630 -7.1%	4,412,893,110 -2.0%

上:医療費(円) 下:対前年度比	40～49歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	72,169,040 -0.5%	100,684,450 39.5%	91,467,790 -9.2%	83,872,000 -8.3%	68,121,460 -18.8%	61,138,700 -10.3%
虚血性心疾患	52,154,230 16.7%	73,805,060 41.5%	53,446,040 -27.6%	55,469,260 3.8%	36,010,480 -35.1%	41,027,310 13.9%
脳梗塞	27,213,040 -35.8%	31,317,550 15.1%	29,381,330 -6.2%	33,203,000 13.0%	18,663,790 -43.8%	22,238,230 19.2%
脳内出血	45,455,300 10.8%	15,071,510 -66.8%	28,006,090 85.8%	25,494,960 -9.0%	35,113,740 37.7%	24,210,860 -31.1%
糖尿病	115,741,350 -0.6%	160,644,170 38.8%	161,103,610 0.3%	159,705,260 -0.9%	152,174,460 -4.7%	148,503,940 -2.4%
腎不全	226,147,800 0.6%	288,871,560 27.7%	295,162,100 2.2%	298,067,210 1.0%	291,522,890 -2.2%	275,679,000 -5.4%
全疾病	3,992,220,230 2.0%	4,221,383,470 5.7%	4,219,554,920 0.0%	4,253,771,370 0.8%	4,065,151,380 -4.4%	3,876,965,870 -4.6%

上:医療費(円) 下:対前年度比	50～59歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	189,167,630 -5.6%	249,937,880 32.1%	220,383,320 -11.8%	212,068,970 -3.8%	177,327,750 -16.4%	161,752,230 -8.8%
虚血性心疾患	112,622,730 -13.3%	117,577,550 4.4%	105,861,000 -10.0%	119,220,880 12.6%	105,871,850 -11.2%	98,693,850 -6.8%
脳梗塞	82,710,470 -1.6%	63,117,110 -23.7%	61,500,570 -2.6%	50,281,030 -18.2%	61,477,790 22.3%	51,646,790 -16.0%
脳内出血	86,239,800 -10.6%	56,707,620 -34.2%	42,450,230 -25.1%	45,213,910 6.5%	53,433,640 18.2%	52,511,180 -1.7%
糖尿病	203,251,660 3.4%	299,438,550 47.3%	299,318,200 0.0%	286,309,180 -4.3%	293,299,390 2.4%	296,472,700 1.1%
腎不全	398,837,650 -1.5%	540,747,930 35.6%	563,313,890 4.2%	580,762,250 3.1%	585,006,260 0.7%	598,895,880 2.4%
全疾病	5,044,645,700 -2.3%	5,392,654,330 6.9%	5,534,356,050 2.6%	5,553,442,560 0.3%	5,746,006,850 3.5%	5,777,709,520 0.6%

上:医療費(円) 下:対前年度比	60～69歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	1,015,511,940 -8.4%	1,266,356,320 24.7%	1,176,641,970 -7.1%	1,072,579,230 -8.8%	810,577,640 -24.4%	689,317,070 -15.0%
虚血性心疾患	575,811,300 -18.6%	672,688,080 16.8%	659,867,430 -1.9%	600,012,990 -9.1%	490,219,140 -18.3%	389,797,980 -20.5%
脳 梗 塞	442,136,630 -7.4%	352,856,340 -20.2%	308,984,310 -12.4%	313,196,630 1.4%	291,010,350 -7.1%	240,198,640 -17.5%
脳 内 出 血	272,053,840 -7.8%	120,846,560 -55.6%	136,856,830 13.2%	164,684,380 20.3%	129,864,580 -21.1%	132,406,900 2.0%
糖 尿 病	825,655,570 -2.1%	1,281,681,650 55.2%	1,274,361,780 -0.6%	1,229,100,740 -3.6%	1,149,137,890 -6.5%	1,070,746,440 -6.8%
腎 不 全	1,355,004,860 -1.8%	1,801,633,370 33.0%	1,805,168,530 0.2%	1,802,053,190 -0.2%	1,605,321,440 -10.9%	1,535,908,910 -4.3%
全 疾 病	18,461,797,060 -6.4%	19,975,515,400 8.2%	20,295,475,930 1.6%	20,103,706,310 -0.9%	18,295,639,540 -9.0%	17,108,928,320 -6.5%

上:医療費(円) 下:対前年度比	70～74歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	933,522,090 3.5%	1,084,890,200 16.2%	966,080,030 -11.0%	916,594,330 -5.1%	816,006,640 -11.0%	742,024,840 -9.1%
虚血性心疾患	591,870,080 -1.9%	682,266,830 15.3%	609,328,570 -10.7%	567,566,170 -6.9%	593,262,260 4.5%	484,297,740 -18.4%
脳 梗 塞	506,606,650 5.9%	379,409,330 -25.1%	356,874,040 -5.9%	360,697,370 1.1%	357,927,400 -0.8%	315,591,250 -11.8%
脳 内 出 血	203,243,530 5.7%	112,226,780 -44.8%	76,458,950 -31.9%	103,279,530 35.1%	113,850,570 10.2%	109,092,260 -4.2%
糖 尿 病	618,342,440 5.9%	1,014,709,840 64.1%	959,871,600 -5.4%	995,899,160 3.8%	1,068,682,610 7.3%	1,069,195,060 0.0%
腎 不 全	769,872,350 9.0%	1,144,929,510 48.7%	1,141,219,410 -0.3%	1,204,604,660 5.6%	1,289,014,670 7.0%	1,361,200,990 5.6%
全 疾 病	15,771,248,400 5.4%	17,597,996,540 11.6%	17,166,971,450 -2.4%	17,484,529,120 1.8%	18,212,446,160 4.2%	18,137,502,080 -0.4%

上:医療費(円) 下:対前年度比	全年齢合計					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	2,227,127,460 -3.4%	2,719,668,490 22.1%	2,472,633,480 -9.1%	2,304,289,790 -6.8%	1,884,958,600 -18.2%	1,664,565,310 -11.7%
虚血性心疾患	1,340,288,780 -10.3%	1,557,357,830 16.2%	1,439,101,520 -7.6%	1,353,894,210 -5.9%	1,230,275,300 -9.1%	1,028,501,480 -16.4%
脳 梗 塞	1,067,481,420 -2.0%	830,747,350 -22.2%	768,689,420 -7.5%	762,142,760 -0.9%	733,557,710 -3.8%	632,185,370 -13.8%
脳 内 出 血	628,892,920 -0.8%	308,710,680 -50.9%	289,347,490 -6.3%	346,521,680 19.8%	336,485,210 -2.9%	323,631,850 -3.8%
糖 尿 病	1,813,856,420 1.1%	2,816,193,180 55.3%	2,747,764,760 -2.4%	2,724,044,910 -0.9%	2,720,072,770 -0.1%	2,637,780,590 -3.0%
腎 不 全	2,814,371,050 0.8%	3,861,493,510 37.2%	3,871,843,050 0.3%	3,954,918,960 2.1%	3,836,736,180 -3.0%	3,834,663,620 -0.1%
全 疾 病	48,893,154,990 -1.8%	52,399,132,480 7.2%	52,191,547,640 -0.4%	52,241,319,810 0.1%	50,820,987,560 -2.7%	49,313,998,900 -3.0%

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保総合システム（平成26～27年各5月）
国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

※ 国保データベースシステムと国保総合システムの疾病別医療費データとは、対象データ及び分類方法が異なるため、表2-9～表2-12において、平成27年度以降と平成26年度以前を比較する場合は、ご留意ください。

表2-10 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一人当たり医療費の推移〔年齢階層別〕※

上：一人当たり医療費(円) 下：対前年度比	～39歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	22 -22.8%	24 12.5%	27 9.0%	31 15.7%	22 -27.1%	19 -16.6%
虚血性心疾患	10 -1.5%	15 49.0%	16 3.3%	19 19.5%	9 -54.3%	27 42.7%
脳梗塞	11 35.1%	6 -51.4%	18 217.1%	8 -56.6%	8 1.7%	5 -41.5%
脳内出血	28 155.0%	5 -81.3%	8 55.2%	13 53.4%	7 -41.8%	10 33.7%
糖尿病	66 -1.5%	82 24.3%	78 -4.5%	85 8.8%	98 15.9%	96 -2.8%
腎不全	83 -10.7%	117 40.0%	99 -15.7%	111 12.9%	114 2.7%	114 -0.2%
全疾病	7,271 -2.3%	7,136 -1.9%	7,317 2.5%	7,763 6.1%	7,805 0.5%	7,984 2.3%

上：一人当たり医療費(円) 下：対前年度比	40～49歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	231 4.6%	314 36.2%	298 -5.1%	292 -2.0%	254 -13.0%	240 -5.8%
虚血性心疾患	167 22.7%	230 38.1%	174 -24.4%	193 11.0%	134 -30.4%	161 19.6%
脳梗塞	87 -32.5%	98 12.3%	96 -2.0%	116 20.8%	70 -39.8%	87 25.1%
脳内出血	145 16.5%	47 -67.6%	91 94.1%	89 -2.7%	131 47.6%	95 -27.6%
糖尿病	370 4.5%	501 35.5%	525 4.8%	556 6.0%	568 2.1%	582 2.4%
腎不全	723 5.8%	901 24.7%	962 6.7%	1,038 8.0%	1,088 4.8%	1,080 -0.7%
全疾病	12,758 7.3%	13,167 3.2%	13,747 4.4%	14,816 7.8%	15,174 2.4%	15,189 0.1%

上：一人当たり医療費(円) 下：対前年度比	50～59歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	710 -1.2%	926 30.4%	835 -9.8%	843 1.0%	718 -14.9%	652 -9.2%
虚血性心疾患	423 -9.3%	436 3.0%	401 -7.9%	474 18.2%	429 -9.6%	398 -7.2%
脳梗塞	311 2.9%	234 -24.7%	233 -0.4%	200 -14.2%	249 24.5%	208 -16.4%
脳内出血	324 -6.5%	210 -35.1%	161 -23.4%	180 11.8%	216 20.3%	212 -2.2%
糖尿病	763 8.2%	1,109 45.4%	1,134 2.2%	1,139 0.4%	1,188 4.3%	1,195 0.6%
腎不全	1,498 3.0%	2,003 33.8%	2,134 6.5%	2,310 8.2%	2,369 2.6%	2,414 1.9%
全疾病	18,942 2.2%	19,978 5.5%	20,967 5.0%	22,088 5.3%	23,267 5.3%	23,292 0.1%

上:一人当たり医療費(円) 下:対前年度比	60～69歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	1,454 -3.2%	1,807 24.2%	1,693 -6.3%	1,659 -2.0%	1,388 -16.3%	1,288 -7.2%
虚血性心疾患	825 -13.9%	960 16.4%	949 -1.1%	928 -2.3%	839 -9.5%	728 -13.2%
脳梗塞	633 -2.1%	504 -20.5%	445 -11.7%	484 9.0%	498 2.9%	449 -9.9%
脳内出血	390 -2.5%	172 -55.7%	197 14.2%	255 29.4%	222 -12.7%	247 11.3%
糖尿病	1,183 3.6%	1,829 54.7%	1,833 0.2%	1,901 3.7%	1,968 3.5%	2,001 1.7%
腎不全	1,941 3.9%	2,571 32.5%	2,597 1.0%	2,787 7.3%	2,749 -1.4%	2,870 4.4%
全疾病	26,442 -1.0%	28,505 7.8%	29,198 2.4%	31,090 6.5%	31,325 0.8%	31,969 2.1%

上:一人当たり医療費(円) 下:対前年度比	70～74歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	2,114 -0.9%	2,447 15.8%	2,298 -6.1%	2,209 -3.9%	1,891 -14.4%	1,693 -10.5%
虚血性心疾患	1,340 -6.0%	1,539 14.8%	1,449 -5.8%	1,368 -5.6%	1,375 0.5%	1,105 -19.6%
脳梗塞	1,147 1.5%	856 -25.4%	849 -0.8%	869 2.4%	829 -4.6%	720 -13.2%
脳内出血	460 1.3%	253 -45.0%	182 -28.2%	249 36.9%	264 6.0%	249 -5.7%
糖尿病	1,400 1.5%	2,289 63.5%	2,283 -0.3%	2,400 5.1%	2,477 3.2%	2,440 -1.5%
腎不全	1,743 4.5%	2,583 48.2%	2,714 5.1%	2,903 7.0%	2,987 2.9%	3,106 4.0%
全疾病	35,711 0.9%	39,696 11.2%	40,829 2.9%	42,139 3.2%	42,207 0.2%	41,387 -1.9%

上:一人当たり医療費(円) 下:対前年度比	全年齢合計					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	894 -0.1%	1,103 23.5%	1,045 -5.3%	1,036 -0.9%	895 -13.7%	820 -8.3%
虚血性心疾患	538 -7.1%	632 17.5%	608 -3.7%	609 0.1%	584 -4.1%	507 -13.2%
脳梗塞	428 1.5%	337 -21.3%	325 -3.6%	343 5.5%	348 1.6%	312 -10.5%
脳内出血	252 2.7%	125 -50.4%	122 -2.4%	156 27.4%	160 2.5%	159 -0.1%
糖尿病	728 4.6%	1,142 57.0%	1,161 1.6%	1,225 5.5%	1,291 5.4%	1,300 0.7%
腎不全	1,129 4.4%	1,567 38.7%	1,636 4.4%	1,778 8.7%	1,821 2.4%	1,890 3.8%
全疾病	19,616 1.6%	21,257 8.4%	22,055 3.8%	23,487 6.5%	24,118 2.7%	24,299 0.8%

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保総合システム（平成26～27年各5月）

国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

※ 国保データベースシステムと国保総合システムの疾病別医療費データとは、対象データ及び分類方法が異なるため、表2-9～表2-12において、平成27年度以降と平成26年度以前を比較する場合は、ご留意ください。

表2-11 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率の推移 [年齢階層別] ※

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	～39歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	0.18 -4.1%	0.15 -15.3%	0.15 1.1%	0.16 0.3%	0.15 -4.1%	0.14 -4.9%
虚血性心疾患	0.03 -6.5%	0.02 -30.4%	0.02 22.9%	0.02 -26.3%	0.02 17.8%	0.02 23.9%
脳梗塞	0.02 10.9%	0.01 -65.4%	0.01 29.8%	0.01 -9.9%	0.01 33.0%	0.01 -11.6%
脳内出血	0.01 -10.4%	0.00 -76.4%	0.00 -14.1%	0.00 52.5%	0.00 -18.8%	0.00 -20.5%
糖尿病	0.25 -2.1%	0.24 -2.2%	0.24 -2.6%	0.24 3.0%	0.27 9.4%	0.27 2.2%
腎不全	0.03 -2.9%	0.03 6.7%	0.03 -7.6%	0.03 8.9%	0.04 4.7%	0.03 -6.6%
全疾病	48.29 -2.6%	33.36 -30.9%	34.28 2.8%	35.54 3.7%	36.09 1.6%	35.25 -2.3%

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	40～49歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	2.23 0.9%	1.89 -15.2%	1.93 2.3%	1.89 -2.2%	1.86 -1.5%	1.77 -5.3%
虚血性心疾患	0.20 4.3%	0.17 -15.6%	0.17 4.3%	0.15 -11.9%	0.15 0.8%	0.15 -0.7%
脳梗塞	0.13 -9.0%	0.08 -39.2%	0.07 -10.0%	0.08 9.9%	0.07 -9.6%	0.07 2.1%
脳内出血	0.08 6.0%	0.02 -77.1%	0.02 18.6%	0.03 22.9%	0.04 36.4%	0.03 -16.5%
糖尿病	1.40 7.7%	1.45 3.0%	1.52 5.4%	1.56 2.3%	1.67 7.5%	1.70 1.7%
腎不全	0.23 6.0%	0.25 7.1%	0.27 8.7%	0.27 1.6%	0.30 9.6%	0.29 -3.7%
全疾病	55.85 3.9%	38.06 -31.8%	39.71 4.3%	41.43 4.3%	43.00 3.8%	43.00 0.0%

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	50～59歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	7.08 -1.4%	5.75 -18.8%	5.60 -2.7%	5.46 -2.5%	5.25 -3.8%	4.81 -8.5%
虚血性心疾患	0.53 -1.8%	0.44 -16.5%	0.43 -1.3%	0.43 -0.5%	0.44 1.7%	0.42 -4.7%
脳梗塞	0.37 -3.1%	0.24 -36.1%	0.20 -16.7%	0.19 -2.0%	0.21 7.9%	0.19 -7.2%
脳内出血	0.20 2.0%	0.05 -73.5%	0.05 -5.4%	0.06 12.8%	0.06 8.1%	0.06 -5.6%
糖尿病	2.98 3.4%	3.25 9.1%	3.42 5.2%	3.35 -2.1%	3.63 8.5%	3.59 -1.2%
腎不全	0.47 3.2%	0.54 14.7%	0.56 5.3%	0.58 2.4%	0.61 5.0%	0.62 2.0%
全疾病	72.72 2.3%	52.05 -28.4%	53.72 3.2%	54.96 2.3%	56.46 2.7%	55.86 -1.1%

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	60～69歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	15.30 -0.7%	11.62 -24.1%	11.53 -0.8%	11.25 -2.4%	10.52 -6.5%	9.88 -6.1%
虚血性心疾患	1.27 -4.9%	1.13 -10.8%	1.10 -3.2%	1.06 -3.0%	1.09 2.0%	1.00 -7.6%
脳梗塞	0.97 -5.4%	0.61 -37.0%	0.53 -13.2%	0.56 5.3%	0.55 -1.6%	0.51 -8.1%
脳内出血	0.25 -2.6%	0.05 -79.3%	0.06 16.9%	0.06 5.4%	0.07 5.5%	0.07 4.6%
糖尿病	5.23 1.7%	5.80 10.9%	6.05 4.3%	6.21 2.6%	6.63 6.8%	6.58 -0.8%
腎不全	0.61 2.4%	0.71 16.5%	0.72 1.6%	0.75 4.1%	0.79 4.7%	0.80 0.8%
全疾病	104.76 0.2%	77.17 -26.3%	79.61 3.2%	81.15 1.9%	82.09 1.2%	81.46 -0.8%

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	70～74歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	20.43 0.2%	14.88 -27.2%	14.76 -0.8%	14.37 -2.6%	13.72 -4.5%	12.77 -6.9%
虚血性心疾患	2.13 -3.0%	2.02 -5.3%	1.90 -6.0%	1.80 -5.2%	1.77 -1.6%	1.58 -10.8%
脳梗塞	1.77 -4.5%	1.16 -34.5%	1.07 -7.8%	1.03 -3.2%	0.98 -5.0%	0.88 -10.2%
脳内出血	0.26 -0.4%	0.06 -75.0%	0.06 -9.5%	0.06 7.6%	0.06 3.6%	0.06 -5.8%
糖尿病	6.42 1.4%	7.20 12.0%	7.54 4.7%	7.77 3.0%	8.33 7.2%	8.20 -1.5%
腎不全	0.60 4.4%	0.81 36.0%	0.84 2.8%	0.87 3.4%	0.90 4.1%	0.92 1.8%
全疾病	140.38 0.5%	107.88 -23.1%	109.70 1.7%	109.41 -0.3%	108.83 -0.5%	105.05 -3.5%

上:受診率(件/100人) 下:対前年度比	全年齢合計					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	9.00 1.4%	6.90 -23.3%	6.93 0.4%	6.86 -1.0%	6.62 -3.5%	6.21 -6.2%
虚血性心疾患	0.82 -1.3%	0.76 -7.6%	0.74 -3.1%	0.72 -2.5%	0.74 3.0%	0.68 -7.9%
脳梗塞	0.65 -2.3%	0.42 -35.1%	0.38 -9.7%	0.39 2.7%	0.39 0.1%	0.36 -7.9%
脳内出血	0.15 -0.1%	0.04 -76.5%	0.04 5.2%	0.04 10.6%	0.04 8.3%	0.04 -2.9%
糖尿病	3.18 3.5%	3.56 12.1%	3.76 5.7%	3.90 3.7%	4.25 9.0%	4.23 -0.5%
腎不全	0.37 4.0%	0.45 22.8%	0.47 4.0%	0.49 4.8%	0.52 6.4%	0.53 1.3%
全疾病	83.99 1.2%	61.88 -26.3%	63.87 3.2%	65.54 2.6%	67.00 2.2%	66.00 -1.5%

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保総合システム（平成26～27年各5月）
国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

※ 国保データベースシステムと国保総合システムの疾病別医療費データとは、対象データ及び分類方法が異なるため、表2-9～表2-12において、平成27年度以降と平成26年度以前を比較する場合は、ご注意ください。

表2-12 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一件当たり医療費の推移〔年齢階層別〕※

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	～39歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	11,995 -19.4%	15,921 32.7%	17,168 7.8%	19,789 15.3%	15,047 -24.0%	13,196 -12.3%
虚血性心疾患	35,272 5.4%	75,482 114.0%	63,464 -15.9%	102,875 62.1%	39,931 -61.2%	118,424 15.1%
脳梗塞	59,963 21.8%	84,313 40.6%	206,020 144.4%	99,265 -51.8%	75,905 -23.5%	50,209 -33.9%
脳内出血	195,540 184.5%	154,328 -21.1%	278,770 80.6%	280,318 0.6%	201,080 -28.3%	338,166 68.2%
糖尿病	26,575 0.6%	33,778 27.1%	33,131 -1.9%	35,004 5.7%	37,086 5.9%	35,242 -5.0%
腎不全	259,070 -8.0%	339,885 31.2%	310,089 -8.8%	321,443 3.7%	315,172 -2.0%	336,785 6.9%
全疾病	15,056 0.3%	21,391 42.1%	21,347 -0.2%	21,845 2.3%	21,623 -1.0%	22,650 4.7%

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	40～49歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	10,338 3.7%	16,604 60.6%	15,404 -7.2%	15,438 0.2%	13,641 -11.6%	13,568 -0.5%
虚血性心疾患	85,219 17.6%	139,518 63.7%	101,224 -27.4%	127,516 26.0%	88,045 -31.0%	106,014 20.4%
脳梗塞	69,244 -25.9%	127,827 84.6%	139,248 8.9%	153,009 9.9%	101,988 -33.3%	124,934 22.5%
脳内出血	180,378 9.9%	255,449 41.6%	418,001 63.6%	331,103 -20.8%	358,303 8.2%	310,396 -13.4%
糖尿病	26,347 -2.9%	34,666 31.6%	34,446 -0.6%	35,696 3.6%	33,922 -5.0%	34,170 0.7%
腎不全	313,224 -0.3%	364,737 16.4%	358,206 -1.8%	380,673 6.3%	363,949 -4.4%	375,073 3.1%
全疾病	22,845 3.3%	34,594 51.4%	34,619 0.1%	35,759 3.3%	35,290 -1.3%	35,321 0.1%

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	50～59歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	10,027 0.2%	16,090 60.5%	14,910 -7.3%	15,446 3.6%	13,674 -11.5%	13,565 -0.8%
虚血性心疾患	80,216 -7.7%	98,971 23.4%	92,294 -6.7%	109,679 18.8%	97,488 -11.1%	94,989 -2.6%
脳梗塞	83,462 6.2%	98,313 17.8%	117,592 19.6%	103,035 -12.4%	118,913 15.4%	107,151 -9.9%
脳内出血	158,529 -8.3%	388,408 145.0%	314,446 -19.0%	311,820 -0.8%	346,972 11.3%	359,666 3.7%
糖尿病	25,631 4.6%	34,140 33.2%	33,176 -2.8%	34,036 2.6%	32,727 -3.8%	33,338 1.9%
腎不全	320,867 -0.2%	374,220 16.6%	378,571 1.2%	400,250 5.7%	391,047 -2.3%	390,924 0.0%
全疾病	26,048 -0.1%	38,378 47.3%	39,030 1.7%	40,190 3.0%	41,213 2.5%	41,697 1.2%

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	60～69歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	9,508 -2.5%	15,557 63.6%	14,687 -5.6%	14,740 0.4%	13,187 -10.5%	13,039 -1.1%
虚血性心疾患	64,887 -9.4%	84,647 30.5%	86,517 2.2%	87,161 0.7%	77,285 -11.3%	72,575 -6.1%
脳梗塞	65,135 3.6%	82,251 26.3%	83,622 1.7%	86,566 3.5%	90,545 4.6%	88,765 -2.0%
脳内出血	158,540 0.2%	338,506 113.5%	330,572 -2.3%	405,627 22.7%	335,567 -17.3%	356,892 6.4%
糖尿病	22,593 1.8%	31,514 39.5%	30,300 -3.9%	30,613 1.0%	29,675 -3.1%	30,429 2.5%
腎不全	316,960 1.5%	360,543 13.8%	358,595 -0.5%	369,804 3.1%	348,377 -5.8%	360,881 3.6%
全疾病	25,240 -1.2%	36,937 46.3%	36,677 -0.7%	38,310 4.5%	38,159 -0.4%	39,247 2.9%

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	70～74歳					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	10,345 -1.0%	16,445 59.0%	15,570 -5.3%	15,374 -1.3%	13,786 -10.3%	13,258 -3.8%
虚血性心疾患	62,871 -3.2%	76,256 21.3%	76,424 0.2%	76,081 -0.4%	77,693 2.1%	70,016 -9.9%
脳梗塞	64,916 6.3%	73,945 13.9%	79,553 7.6%	84,137 5.8%	84,477 0.4%	81,675 -3.3%
脳内出血	180,340 1.7%	396,561 119.9%	314,646 -20.7%	400,308 27.2%	409,534 2.3%	410,121 0.1%
糖尿病	21,795 0.0%	31,807 45.9%	30,291 -4.8%	30,909 2.0%	29,743 -3.8%	29,735 0.0%
腎不全	290,957 0.1%	316,979 8.9%	324,118 2.3%	335,171 3.4%	331,451 -1.1%	338,523 2.1%
全疾病	25,439 0.5%	36,796 44.6%	37,220 1.2%	38,514 3.5%	38,784 0.7%	39,397 1.6%

上：一件当たり医療費(円) 下：対前年度比	全年齢合計					
	平成26年5月	平成27年5月	平成28年5月	平成29年5月	平成30年5月	令和元年5月
高血圧性疾患	9,930 -1.5%	15,990 61.0%	15,083 -5.7%	15,108 0.2%	13,514 -10.6%	13,206 -2.3%
虚血性心疾患	65,297 -5.9%	83,028 27.2%	82,508 -0.6%	84,730 2.7%	78,879 -6.9%	74,324 -5.8%
脳梗塞	66,209 3.9%	80,219 21.2%	85,667 6.8%	88,028 2.8%	89,349 1.5%	86,839 -2.8%
脳内出血	167,660 2.8%	354,840 111.6%	329,178 -7.2%	379,127 15.2%	358,726 -5.4%	369,021 2.9%
糖尿病	22,916 1.1%	32,095 40.1%	30,857 -3.9%	31,393 1.7%	30,347 -3.3%	30,713 1.2%
腎不全	308,087 0.4%	347,976 12.9%	349,350 0.4%	362,272 3.7%	348,699 -3.7%	357,344 2.5%
全疾病	23,356 0.4%	34,355 47.1%	34,533 0.5%	35,838 3.8%	35,996 0.4%	36,816 2.3%

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保総合システム（平成26～27年各5月）

国保データベースシステム（平成28～令和元年各5月）

※ 国保データベースシステムと国保総合システムの疾病別医療費データとは、対象データ及び分類方法が異なるため、表2-9～表2-12において、平成27年度以降と平成26年度以前を比較する場合は、ご注意ください。

(ウ) 県内圏域別の状況

- 令和元年5月診療分の神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費を県内圏域^(※1)と比較すると、県西では高血圧性疾患で、横須賀三浦では虚血性心疾患と脳梗塞で、県央では脳内出血で、湘南西部では糖尿病で、相模原では腎不全で、全疾病（中分類）の医療費に占める各生活習慣病の医療費の割合が最も高くなっています。一方、県央では高血圧性疾患で、湘南東部では虚血性心疾患で、県西では脳梗塞で、横須賀三浦では脳内出血で、横浜では糖尿病と腎不全で、全疾病の医療費に占める各生活習慣病の医療費の割合が最も低くなっています。（表2-13）
- 一人当たり医療費をみると、県西では高血圧性疾患、脳内出血、糖尿病、腎不全で、横須賀三浦では虚血性心疾患と脳梗塞で最も高くなっています。一方、川崎では高血圧性疾患と糖尿病で、湘南東部では虚血性心疾患と腎不全で、相模原では脳梗塞で、横須賀三浦では脳内出血で最も低くなっています。（表2-14）
- 受診率をみると、県西では高血圧性疾患、虚血性心疾患、糖尿病、腎不全で、横須賀三浦では脳梗塞で、横浜では脳内出血で最も高くなっています。一方、川崎では高血圧性疾患、脳梗塞、糖尿病で、県央では虚血性心疾患で、相模原では脳内出血で、横浜では腎不全で最も低くなっています。（表2-15）
- 一件当たり医療費をみると、横須賀三浦では高血圧性疾患、虚血性心疾患、腎不全で、川崎では脳梗塞と糖尿病で、相模原では脳内出血が最も高くなっています。一方、湘南東部では高血圧性疾患と虚血性心疾患で、県西では脳梗塞と糖尿病で、横浜では脳内出血で、相模原では腎不全で最も低くなっています。（表2-16）

※1 神奈川県内には市町村の国民健康保険の他に、国民健康保険組合が6つあります。圏域・市町村別の分析では、国民健康保険組合の数値が含まれていないため、表2-13において、各圏域・各市町村の数値を合計しても県全体の数値にはなりません。

表 2-13 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費の県内圏域比較

	高血圧性疾患			虚血性心疾患			脳梗塞			脳内出血			
	医療費(円)	占有率	順位	医療費(円)	占有率	順位	医療費(円)	占有率	順位	医療費(円)	占有率	順位	
県全体	1,664,565,310	3.38%	-	1,028,501,480	2.09%	-	632,185,370	1.28%	-	323,631,850	0.66%	-	
圏域	横 浜	609,798,380	3.36%	5	403,595,240	2.22%	3	242,676,500	1.34%	3	121,470,870	0.67%	5
	川 崎	212,478,390	3.23%	7	141,268,550	2.15%	4	91,880,030	1.40%	2	44,042,350	0.67%	4
	横須賀三浦	159,528,110	3.56%	2	115,219,390	2.57%	1	66,865,110	1.49%	1	26,489,600	0.59%	8
	湘南東部	128,959,910	3.49%	4	60,618,690	1.64%	8	42,401,980	1.15%	6	24,472,960	0.66%	6
	湘南西部	122,025,540	3.53%	3	64,552,290	1.87%	5	43,699,160	1.26%	5	24,161,400	0.70%	3
	県 央	154,018,430	3.17%	8	80,239,790	1.65%	7	62,639,980	1.29%	4	35,440,210	0.73%	1
	相 模 原	129,476,200	3.27%	6	73,274,180	1.85%	6	41,913,580	1.06%	7	28,830,580	0.73%	2
県 西	87,724,920	3.90%	1	53,273,920	2.37%	2	22,838,750	1.01%	8	14,802,030	0.66%	7	

	糖尿病			腎不全			全疾病		
	医療費(円)	占有率	順位	医療費(円)	占有率	順位	医療費(円)	占有率	
県全体	2,637,780,590	5.35%	-	3,834,663,620	7.78%	-	49,313,998,900	100.00%	
圏域	横 浜	947,870,970	5.22%	8	1,360,038,980	7.48%	8	18,171,207,880	100.00%
	川 崎	350,088,120	5.32%	6	525,967,730	8.00%	4	6,577,148,080	100.00%
	横須賀三浦	247,974,830	5.54%	2	352,142,120	7.87%	5	4,475,271,760	100.00%
	湘南東部	202,051,700	5.48%	4	281,168,510	7.62%	7	3,689,885,680	100.00%
	湘南西部	193,724,810	5.61%	1	267,635,780	7.75%	6	3,455,081,350	100.00%
	県 央	264,797,490	5.45%	5	423,301,140	8.72%	2	4,854,453,340	100.00%
	相 模 原	210,624,850	5.31%	7	364,835,750	9.21%	1	3,963,101,420	100.00%
県 西	124,638,190	5.54%	3	181,580,130	8.06%	3	2,251,630,700	100.00%	

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表 2-14 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一人当たり医療費の県内圏域比較

(単位:円)

	高血圧性疾患		虚血性心疾患		脳梗塞		脳内出血		糖尿病		腎不全		全疾病		
	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	
県全体	820	-	507	-	312	-	159	-	1,300	-	1,890	-	24,299	-	
圏域	横 浜	840	5	556	3	334	3	167	5	1,305	6	1,873	7	25,023	4
	川 崎	776	8	516	4	336	2	161	7	1,279	8	1,921	6	24,025	8
	横須賀三浦	943	2	681	1	395	1	157	8	1,466	2	2,082	4	26,463	2
	湘南東部	850	4	400	8	280	7	161	6	1,332	5	1,854	8	24,331	6
	湘南西部	905	3	479	5	324	4	179	3	1,437	3	1,985	5	25,625	3
	県 央	789	7	411	7	321	5	181	2	1,356	4	2,167	3	24,856	5
	相 模 原	790	6	447	6	256	8	176	4	1,285	7	2,226	2	24,184	7
県 西	1,105	1	671	2	288	6	187	1	1,571	1	2,288	1	28,372	1	

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表 2-15 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の受診率の県内圏域比較

(単位:件/100人)

	高血圧性疾患		虚血性心疾患		脳梗塞		脳内出血		糖尿病		腎不全		全疾病		
	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位	
県全体	6.21	-	0.68	-	0.36	-	0.04	-	4.23	-	0.53	-	66.00	-	
圏域	横浜	6.44	5	0.76	2	0.38	3	0.05	1	4.24	6	0.52	8	69.31	3
	川崎	5.74	8	0.64	5	0.33	8	0.04	7	3.95	8	0.54	6	64.10	6
	横須賀三浦	6.84	3	0.75	3	0.43	1	0.04	5	4.91	2	0.55	4	71.07	2
	湘南東部	6.58	4	0.63	7	0.38	4	0.05	2	4.41	4	0.53	7	67.98	4
	湘南西部	6.96	2	0.71	4	0.34	7	0.04	6	4.84	3	0.55	5	66.40	5
	県央	6.04	6	0.59	8	0.35	6	0.04	4	4.39	5	0.61	3	63.25	7
	相模原	5.96	7	0.63	6	0.36	5	0.04	8	4.14	7	0.63	2	63.02	8
	県西	8.14	1	0.91	1	0.43	2	0.05	3	5.47	1	0.65	1	71.29	1

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表 2-16 神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の一件当たり医療費の県内圏域比較

(単位:円)

	高血圧性疾患		虚血性心疾患		脳梗塞		脳内出血		糖尿病		腎不全		全疾病		
	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	
県全体	13,206	-	74,324	-	86,839	-	369,021	-	30,713	-	357,344	-	36,816	-	
圏域	横浜	13,039	6	73,208	4	87,043	5	342,171	8	30,771	4	357,623	4	36,103	7
	川崎	13,529	3	80,175	2	102,316	1	386,336	5	32,341	1	357,801	3	37,479	5
	横須賀三浦	13,796	1	91,299	1	91,221	3	362,871	6	29,841	6	377,026	1	37,237	6
	湘南東部	12,919	8	63,276	8	73,615	6	349,614	7	30,234	5	352,784	7	35,789	8
	湘南西部	13,008	7	67,594	7	95,831	2	416,576	2	29,708	7	361,670	2	38,593	3
	県央	13,057	5	69,053	6	90,520	4	407,359	4	30,855	3	356,314	5	39,297	2
	相模原	13,250	4	70,592	5	71,893	7	430,307	1	31,079	2	351,818	8	38,374	4
	県西	13,582	2	73,380	3	66,585	8	411,168	3	28,692	8	353,269	6	39,797	1

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

ウ 神奈川県の後期高齢者医療制度における医療費

(7) 神奈川県の後期高齢者医療制度における疾病別医療費

- 令和元年5月診療分^(※1)の神奈川県の後期高齢者医療制度における中分類の疾病別（年齢階層別^(※2)）医療費をみると、全年齢合計では、その他の心疾患が医療費約69億円で最も高く、全疾病の9.5%を占め、次いで、腎不全の6.3%、その他の悪性新生物の4.9%の順となっています。年齢階層別では、60歳代後半～70歳代前半では腎不全、70歳代後半以上ではその他の心疾患が最も高くなっています。（表2-17）
- 一件当たり医療費をみると、全年齢合計では、くも膜下出血が50万6,598円で最も高く、次いで、脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群の47万9,067円、脳内出血の47万3,004円となっています。

年齢階層別では、60歳代後半でその他の先天奇形、変形及び染色体異常、70歳代前半で心臓の先天奇形、70代後半および80歳代後半から90歳代前半で脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、80歳代前半および90歳代後半でくも膜下出血、100歳以上で胃の悪性新生物が最も高くなっています。脳内出血は75歳以上の全ての年代で3位以内に、頭蓋内損傷及び内臓の損傷は70歳以上の全ての年代で5位以内に、その他の血液及び造血器の疾患及び免疫機構の障害も90歳代前半までの年代では上位10位以内に入っています。また、肺炎、脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、くも膜下出血は、75～79歳以上のほとんどの年齢階層で上位10位以内に入っています。（表2-18）

※1 神奈川県を分析するにあたり、令和元年5月診療分の神奈川県後期高齢者医療広域連合のレセプトを集計した国保データベース（KDB）システムの「疾病別医療費分析（中分類）帳票」のデータを用いています。国保データベース（KDB）システムの「疾病別医療費分析（中分類）帳票」は、内科レセプト及びそれらに紐付けられた調剤レセプト、歯科入院レセプトを対象とし、主傷病名を「最大医療資源」（医療のレセプトデータから最も医療資源（診療行為、医薬品、特定器材）を要したもの）の考え方に基き分類しているため、レセプト表記上の主傷病名とは必ずしも一致しません。また、電子レセプトデータのみを対象とするため、紙レセプトデータについては反映されていません。本書では、歯科にかかる3分類（「う蝕」、「歯肉炎及び歯周疾患」、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」）及び電子レセプトデータから疾病コードが読み取れないものや紙レセプト（「その他（上記以外のもの）」）については、全疾病合計から除き、「（参考）その他」として表示しています。

※2 74歳以下（当該年代のうち障害のある人）と75歳以上（当該年代の全員）という違いがあるため、同一の視点で比較できません。

表 2-17 神奈川県の後期高齢者医療制度における医療費上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

65～69歳		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	79,590,140	29.1%
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	17,065,160	6.2%
3位	その他の神経系の疾患	16,929,530	6.2%
4位	その他の心疾患	11,125,700	4.1%
5位	その他の悪性新生物<腫瘍>	8,662,520	3.2%
6位	骨折	8,226,080	3.0%
7位	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	7,772,090	2.8%
8位	糖尿病	7,706,150	2.8%
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,405,280	2.7%
10位	てんかん	7,192,490	2.6%
全疾病合計		273,324,230	100.0%
(参考)その他		2,020,740	

70～74歳		医療費(円)	構成比
1位	腎不全	135,212,700	31.1%
2位	その他の心疾患	41,714,620	9.6%
3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	21,227,130	4.9%
4位	その他の神経系の疾患	17,604,670	4.0%
5位	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,383,610	3.1%
6位	その他の呼吸器系の疾患	13,218,280	3.0%
7位	糖尿病	12,584,900	2.9%
8位	炎症性多発性関節障害	8,764,520	2.0%
9位	脊椎障害(脊椎症を含む)	8,460,440	1.9%
10位	パーキンソン病	8,436,440	1.9%
全疾病合計		435,251,230	100.0%
(参考)その他		4,346,960	

75～79歳		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	2,051,221,560	8.1%
2位	腎不全	1,666,608,330	6.6%
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,609,707,950	6.3%
4位	糖尿病	1,298,221,490	5.1%
5位	高血圧性疾患	965,964,070	3.8%
6位	その他の消化器系の疾患	902,588,330	3.5%
7位	その他の眼及び付属器の疾患	897,710,390	3.5%
8位	虚血性心疾患	791,647,570	3.1%
9位	脂質異常症	780,581,470	3.1%
10位	骨の密度及び構造の障害	738,462,210	2.9%
全疾病合計		25,437,433,150	100.0%
(参考)その他		229,391,570	

80～84歳		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	2,001,888,520	9.2%
2位	腎不全	1,395,367,490	6.4%
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,124,642,800	5.2%
4位	糖尿病	960,874,990	4.4%
5位	骨折	872,696,170	4.0%
6位	その他の消化器系の疾患	791,632,330	3.6%
7位	高血圧性疾患	781,711,580	3.6%
8位	骨の密度及び構造の障害	719,567,030	3.3%
9位	その他の眼及び付属器の疾患	673,397,890	3.1%
10位	脊椎障害(脊椎症を含む)	650,132,260	3.0%
全疾病合計		21,697,692,470	100.0%
(参考)その他		225,027,390	

85～89歳		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	1,559,769,440	10.4%
2位	腎不全	883,791,950	5.9%
3位	骨折	878,489,800	5.8%
4位	その他の消化器系の疾患	617,464,560	4.1%
5位	アルツハイマー病	600,720,570	4.0%
6位	その他の呼吸器系の疾患	599,895,490	4.0%
7位	その他の悪性新生物<腫瘍>	582,415,490	3.9%
8位	脳梗塞	548,752,620	3.6%
9位	高血圧性疾患	534,308,540	3.5%
10位	骨の密度及び構造の障害	529,374,410	3.5%
全疾病合計		15,051,040,580	100.0%
(参考)その他		188,396,380	

90～94歳		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	916,458,150	12.8%
2位	骨折	556,611,400	7.8%
3位	その他の呼吸器系の疾患	430,697,230	6.0%
4位	アルツハイマー病	355,372,760	5.0%
5位	腎不全	322,444,910	4.5%
6位	脳梗塞	317,050,810	4.4%
7位	その他の消化器系の疾患	312,181,910	4.3%
8位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	275,325,950	3.8%
9位	高血圧性疾患	247,196,750	3.4%
10位	骨の密度及び構造の障害	241,285,850	3.4%
全疾病合計		7,178,627,060	100.0%
(参考)その他		133,881,260	

95～99歳		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	255,436,780	12.9%
2位	骨折	153,902,500	7.8%
3位	その他の呼吸器系の疾患	144,636,980	7.3%
4位	脳梗塞	112,243,300	5.7%
5位	その他の消化器系の疾患	105,364,320	5.3%
6位	肺炎	100,101,670	5.1%
7位	アルツハイマー病	96,788,690	4.9%
8位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	96,540,000	4.9%
9位	高血圧性疾患	67,337,710	3.4%
10位	腎不全	58,168,210	2.9%
全疾病合計		1,980,456,920	100.0%
(参考)その他		46,882,610	

100歳～		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	47,992,890	15.1%
2位	その他の呼吸器系の疾患	21,617,800	6.8%
3位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	21,154,010	6.7%
4位	骨折	20,014,960	6.3%
5位	その他の消化器系の疾患	18,956,750	6.0%
6位	脳梗塞	18,156,310	5.7%
7位	高血圧性疾患	13,159,940	4.1%
8位	肺炎	13,003,410	4.1%
9位	アルツハイマー病	10,012,280	3.1%
10位	骨の密度及び構造の障害	7,760,240	2.4%
全疾病合計		317,934,680	100.0%
(参考)その他		8,999,340	

全年齢(後期高齢者)合計		医療費(円)	構成比
1位	その他の心疾患	6,885,607,660	9.5%
2位	腎不全	4,543,107,190	6.3%
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,535,015,080	4.9%
4位	骨折	3,123,711,510	4.3%
5位	糖尿病	3,018,999,990	4.2%
6位	その他の消化器系の疾患	2,759,689,210	3.8%
7位	高血圧性疾患	2,616,090,460	3.6%
8位	その他の呼吸器系の疾患	2,304,662,770	3.2%
9位	骨の密度及び構造の障害	2,296,862,620	3.2%
10位	脳梗塞	2,196,037,140	3.0%
全疾病合計		72,371,760,320	100.0%
(参考)その他		838,946,250	

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

表2-18 神奈川県の後期高齢者医療制度における一件当たり医療費上位10疾病 [年齢階層別] [中分類]

65～69歳		医療費(円)
1位	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	1,829,220
2位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	822,809
3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	725,837
4位	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	555,149
5位	くも膜下出血	491,970
6位	その他のウイルス性疾患	450,230
7位	骨折	432,952
8位	腎不全	416,702
9位	脳内出血	394,539
10位	胆石症及び胆のう炎	386,207
全疾病合計		98,036
(参考)その他		34,250

70～74歳		医療費(円)
1位	心臓の先天奇形	1,691,910
2位	白血病	1,641,700
3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	866,200
4位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	682,200
5位	くも膜下出血	452,272
6位	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	447,553
7位	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	436,535
8位	腎不全	407,267
9位	肺炎	363,238
10位	悪性リンパ腫	363,185
全疾病合計		99,418
(参考)その他		44,357

75～79歳		医療費(円)
1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	465,822
2位	脳内出血	459,207
3位	白血病	415,778
4位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	392,857
5位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	368,673
6位	くも膜下出血	359,320
7位	その他の精神及び行動の障害	344,384
8位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	309,215
9位	腎不全	303,461
10位	肺炎	276,664
全疾病合計		41,285
(参考)その他		16,683

80～84歳		医療費(円)
1位	くも膜下出血	649,854
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	478,551
3位	脳内出血	467,859
4位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	461,128
5位	知的障害(精神遅滞)	394,075
6位	白血病	379,155
7位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	378,278
8位	肺炎	330,624
9位	その他の精神及び行動の障害	300,992
10位	その他のウイルス性疾患	294,124
全疾病合計		46,042
(参考)その他		23,192

85～89歳		医療費(円)
1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	529,468
2位	脳内出血	494,190
3位	くも膜下出血	476,107
4位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	470,436
5位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	470,376
6位	その他のウイルス性疾患	441,913
7位	肺炎	383,778
8位	その他の呼吸器系の疾患	304,052
9位	その他の精神及び行動の障害	281,072
10位	胆石症及び胆のう炎	251,784
全疾病合計		52,590
(参考)その他		31,426

90～94歳		医療費(円)
1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	575,220
2位	脳内出血	537,183
3位	くも膜下出血	523,898
4位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	434,383
5位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	413,096
6位	肺炎	372,335
7位	その他の呼吸器系の疾患	365,928
8位	知的障害(精神遅滞)	355,050
9位	白血病	306,720
10位	骨折	285,295
全疾病合計		62,156
(参考)その他		51,973

95～99歳		医療費(円)
1位	くも膜下出血	1,056,619
2位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	423,286
3位	脳内出血	413,206
4位	肺炎	400,407
5位	その他の呼吸器系の疾患	360,691
6位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	321,800
7位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	293,908
8位	骨折	290,931
9位	胆石症及び胆のう炎	284,108
10位	血管性及び詳細不明の認知症	260,886
全疾病合計		71,091
(参考)その他		58,824

100歳～		医療費(円)
1位	胃の悪性新生物<腫瘍>	666,190
2位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	604,974
3位	脳内出血	581,915
4位	悪性リンパ腫	366,300
5位	肺炎	361,206
6位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	352,567
7位	その他の呼吸器系の疾患	327,542
8位	結腸の悪性新生物<腫瘍>	316,994
9位	脳梗塞	279,328
10位	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	254,215
全疾病合計		75,789
(参考)その他		67,664

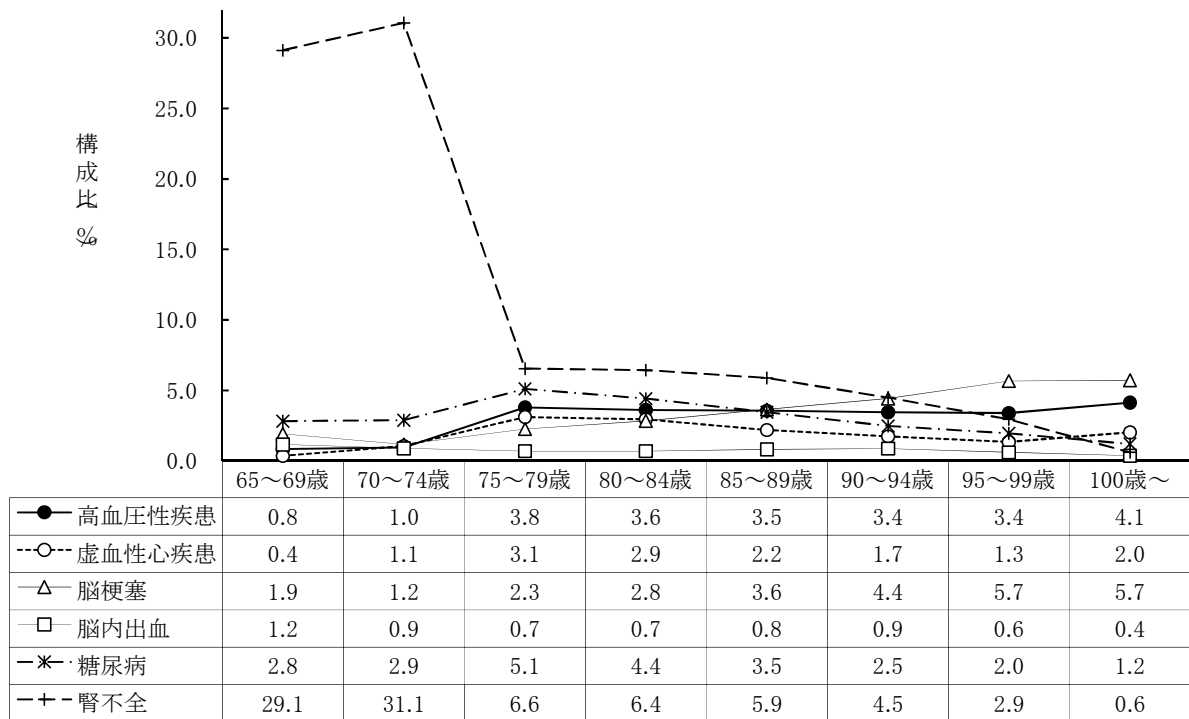
全年齢(後期高齢者)合計		医療費(円)
1位	くも膜下出血	506,598
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	479,067
3位	脳内出血	473,004
4位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	442,223
5位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	394,308
6位	白血病	362,176
7位	肺炎	345,755
8位	その他の精神及び行動の障害	285,821
9位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	278,891
10位	知的障害(精神遅滞)	277,716
全疾病合計		47,354
(参考)その他		25,337

出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

(イ) 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の医療費

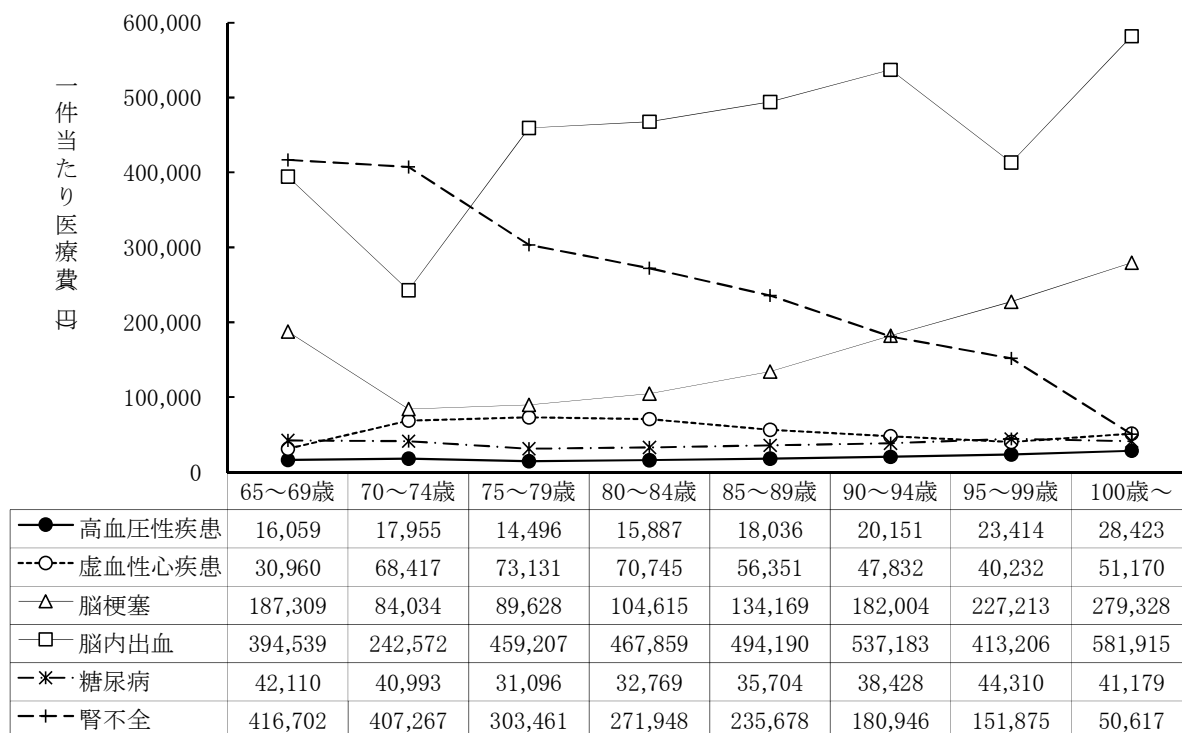
- 令和元年5月診療分の神奈川県の後期高齢者医療制度における医療費の構成比をみると、脳梗塞は年齢階層が上がるほど高くなる傾向がみられます。(図2-19)
- 一件当たり医療費をみると、74歳までは腎不全が高く、75歳以上は脳内出血が最も高くなっていきます。腎不全は、75歳以上では年齢階層が上がるほど低くなる傾向がみられます。また、脳梗塞は70歳以上で年齢階層が上がるほど高くなる傾向がみられます。(図2-20)

図2-19 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の医療費構成比 [年齢階層別]



出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

図 2-20 神奈川県の後期高齢者医療制度における主な生活習慣病の一件当たり医療費 [年齢階層別]



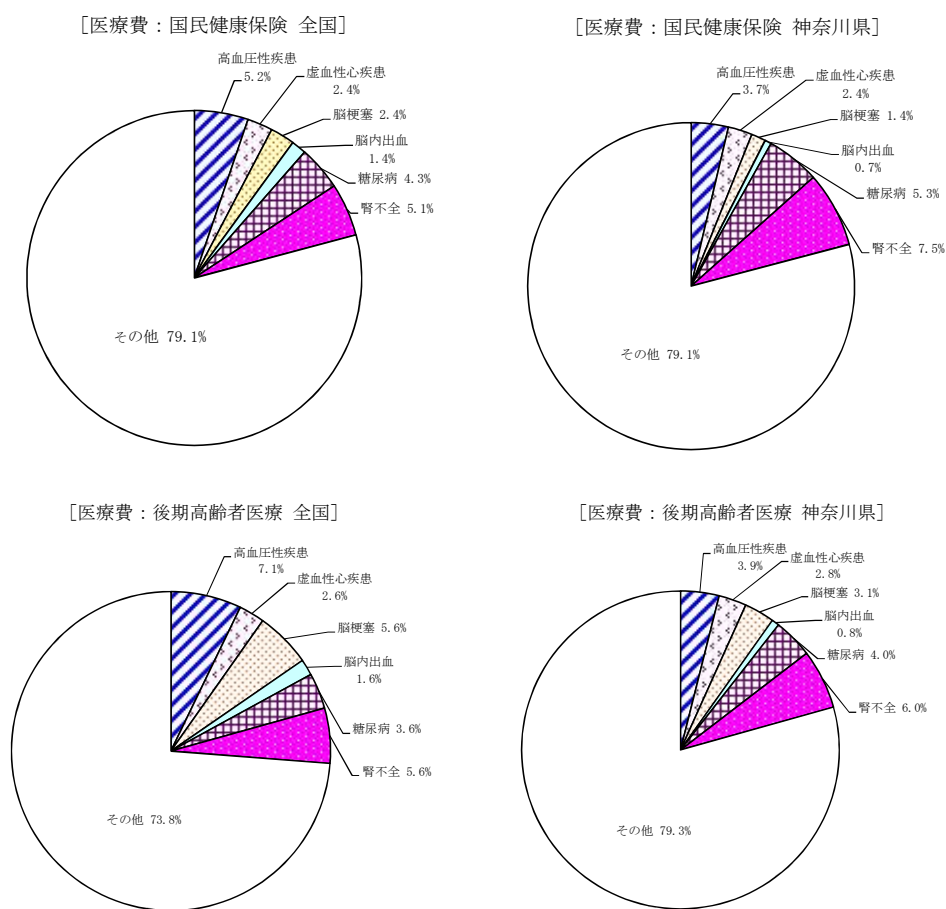
出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベースシステム（令和元年5月）

エ 全国との比較

(7) 医療費の構成

- 平成30年5月診療分の、神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費構成比をみると、6生活習慣病で20.9%（全国で20.9%）を占めています。6生活習慣病のうち、最も割合が高いのは腎不全7.5%（5.1%）で、次に糖尿病5.3%（4.3%）となっており、腎不全、糖尿病の2生活習慣病は、全国よりも割合が高くなっています。（図2-21）
- 平成30年5月診療分の、神奈川県後期高齢者医療における主な生活習慣病の医療費構成比をみると、6生活習慣病で20.7%（全国で26.2%）を占めており、6生活習慣病のうち、最も割合が高いのは腎不全6.0%（5.6%）で、次に糖尿病4.0%（3.6%）となっています。腎不全、糖尿病、虚血性心疾患の3生活習慣病は、全国よりも割合が高くなっています。（図2-21）

図2-21 全国と神奈川県の国民健康保険及び後期高齢者医療における医療費の構成



出典：神奈川県国民健康保険団体連合会 国保データベース（平成30年5月）（※1）

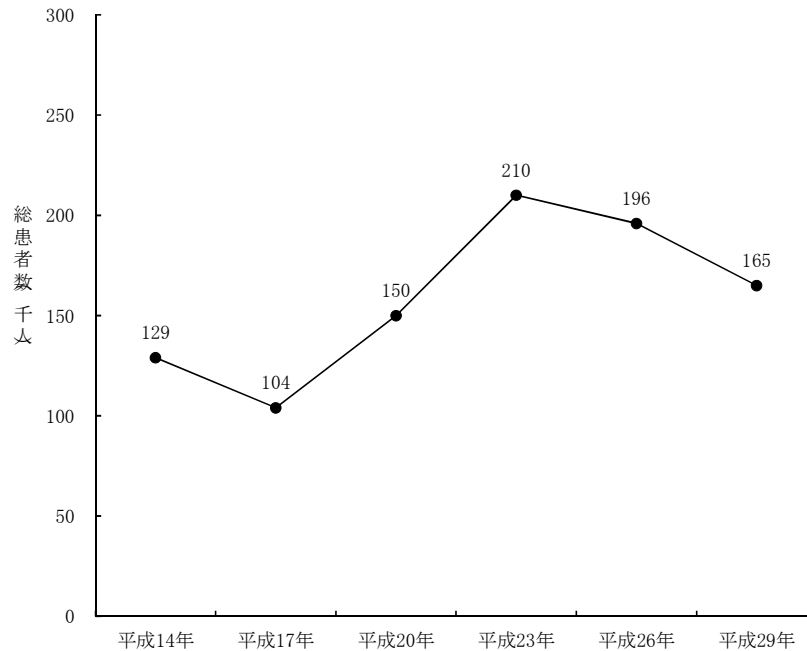
厚生労働省 医療給付実態調査報告（平成30年度）（※1）

※1 神奈川県分の出典である「国保データベース」は、平成29年5月診療分のレセプトを対象としています。これに対して、国民健康保険及び後期高齢者医療の全国分の出典である「医療給付実態調査報告」（厚生労働省）は、平成29年度分（平成29年4月～平成30年3月診療が対象）として各保険者から提出されたレセプトのうち疾病コードの記載があるものを対象に集計したものです。神奈川県と全国の比較においては、5月単月データと年度データから算出した月平均値という違い、集計対象範囲の違い等がある点にご留意ください。

オ 神奈川県における糖尿病の状況

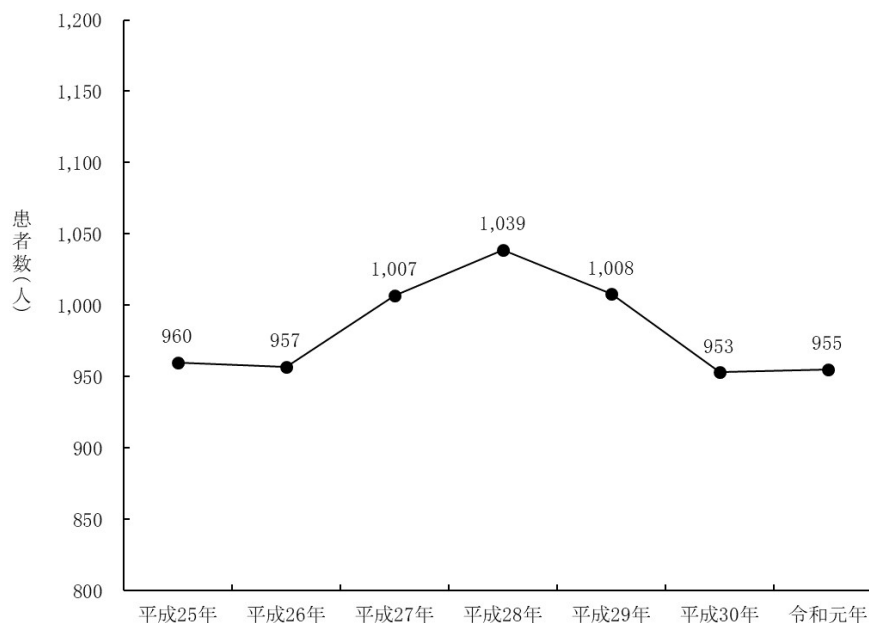
- 神奈川県内の糖尿病患者数は、平成17年から増加傾向にあり、平成23年は20万人を超えましたが、平成26年は19.6万人、平成29年は16.5万人と減少傾向にあります。(図2-22)
- 神奈川県内の糖尿病性腎症の年間新規透析導入患者数は、平成26年から増加傾向にあり、平成27年には1,007人と1千人を超え、平成28年も1,039人とさらに増加しましたが、平成29年は1,008人に減少、さらに平成30年で953人に減少し、平成25年以降で最も低い水準です。(図2-23)

図2-22 神奈川県内の糖尿病患者数の推移



出典：厚生労働省 患者調査（平成29年）

図2-23 神奈川県内の糖尿病性腎症の年間新規透析導入患者数



出典：一般社団法人 日本透析医学会「図説 わが国の慢性透析療法の現況」（平成25～30年）

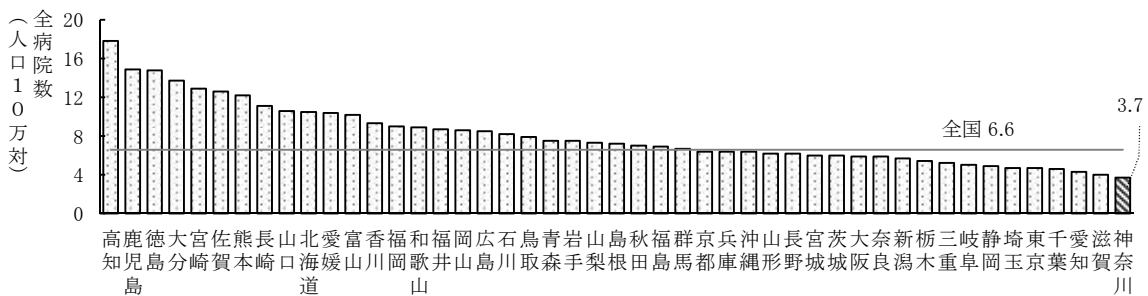
(3) 医療の提供体制を巡る状況

ア 医療施設数の状況

(7) 医療施設数の状況

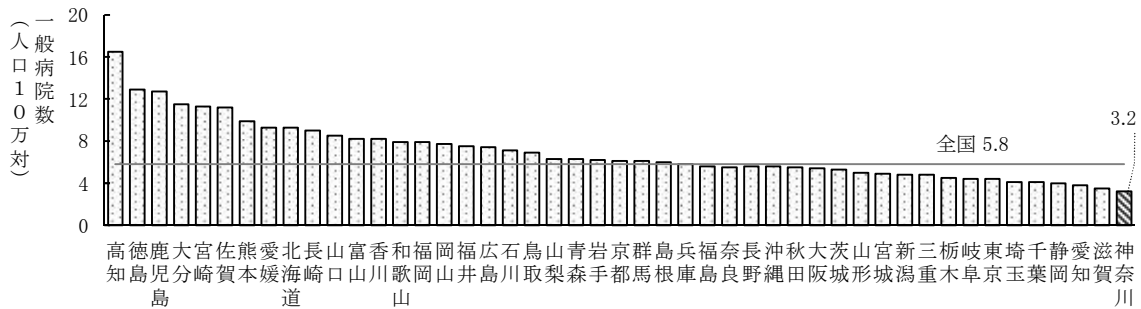
- 平成30年の人口10万人当たりの医療施設数を都道府県で比較すると、全病院は神奈川県が3.7施設に対し全国が6.6施設、一般病院は神奈川県が3.2施設に対し全国が5.8施設で、どちらも神奈川県が最も少なくなっています。(図3-1、図3-2)
- また、精神科病院は、滋賀、愛知、千葉と並び、少ない方から5番目(神奈川県0.5施設、全国0.8施設)、一般診療所は、少ない方から12番目(神奈川県73.4施設、全国80.8施設)です。(図3-3、図3-4)
- 一方、歯科診療所は多い方から10番目(神奈川県53.8施設、全国54.3施設)です。(図3-5)
- 平成20から30年の神奈川県の人口10万人当たりの医療施設数の推移をみると、全病院、一般病院は減少から横ばい、精神科病院は横ばいとなっています。一方、一般診療所、歯科診療所は増加基調にあるものの平成28年以降はほぼ横ばいとなっています。(表3-6)
- 平成30年の人口10万人当たりの医療施設数を県内二次保健医療圏で比較すると、全病院、一般病院は県西(全病院6.74施設、一般病院6.16施設)が最も多く、川崎北部(全病院2.33施設、一般病院1.74施設)が最も少なくなっています。(図3-7、図3-8)
- 精神科病院は横浜西部(1.08施設)が最も多く、川崎南部(0.15施設)が最も少なくなっています。(図3-9)
- 一般診療所は、横浜南部(84.9施設)が最も多く、相模原(58.1施設)が最も少なくなっています。(図3-10)
- 歯科診療所は、横浜南部(61.2施設)が最も多く、川崎北部(43.7施設)が最も少なくなっています。(図3-11)

図3-1 全病院数(人口10万人当たり) [都道府県別]



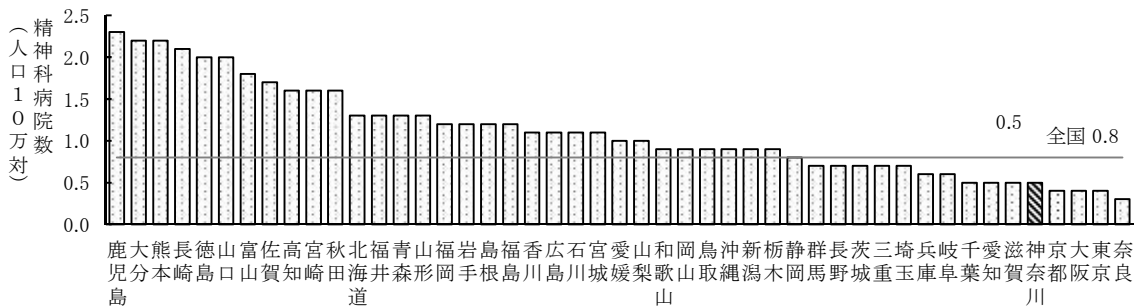
出典：厚生労働省 医療施設調査(平成30年)

図3-2 一般病院数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



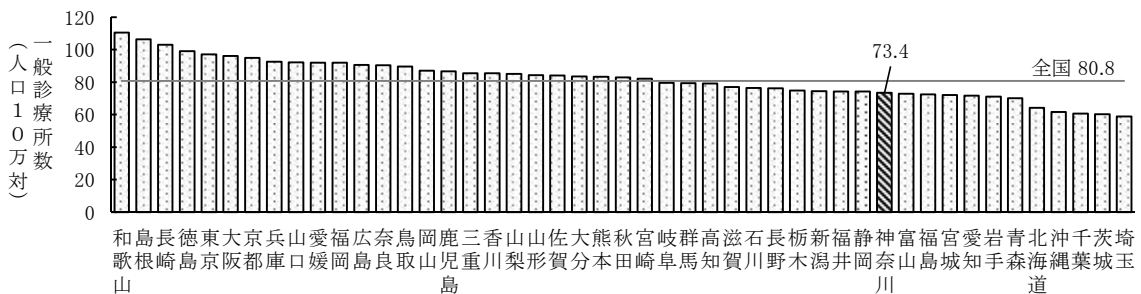
出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

図3-3 精神科病院数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



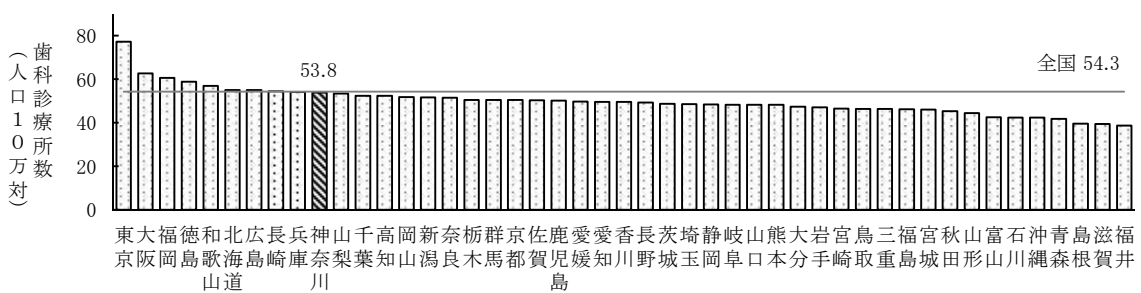
出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

図3-4 一般診療所数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

図3-5 歯科診療所数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

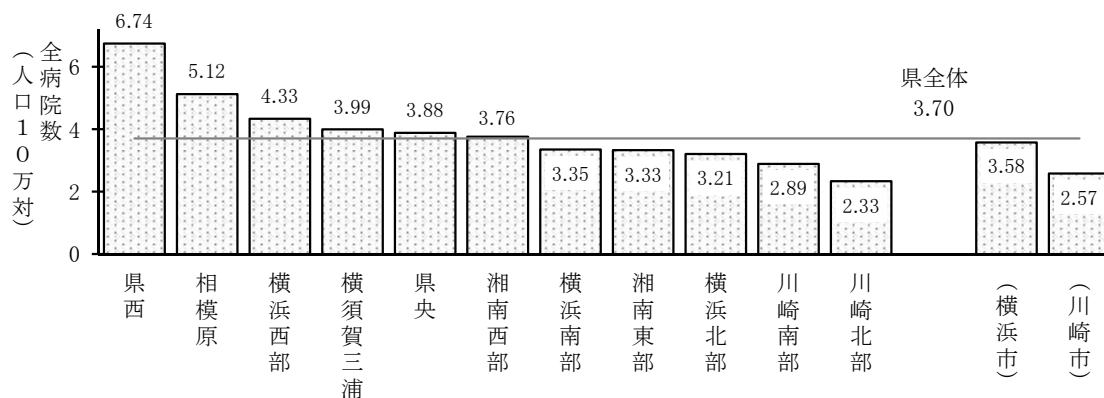
表3-6 医療施設数（人口10万人当たり）の推移

(単位:施設)

		平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
全病院	全 国	6.9	6.9	6.8	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.6
	神奈川県	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7
一般病院	全 国	6.0	6.0	5.9	5.9	5.9	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
	神奈川県	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
精神科 病院	全 国	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	神奈川県	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
一般 診療所	全 国	77.6	78.1	78.0	77.9	78.5	79.0	79.1	79.5	80.0	80.1	80.8
	神奈川県	70.4	71.3	70.8	70.9	71.7	72.1	72.1	72.8	73.4	72.7	73.4
歯科 診療所	全 国	53.1	53.4	53.4	53.3	53.7	54.0	54.0	54.1	54.3	54.1	54.3
	神奈川県	53.8	54.1	53.8	53.7	54.1	54.1	54.1	54.3	54.6	53.7	53.8

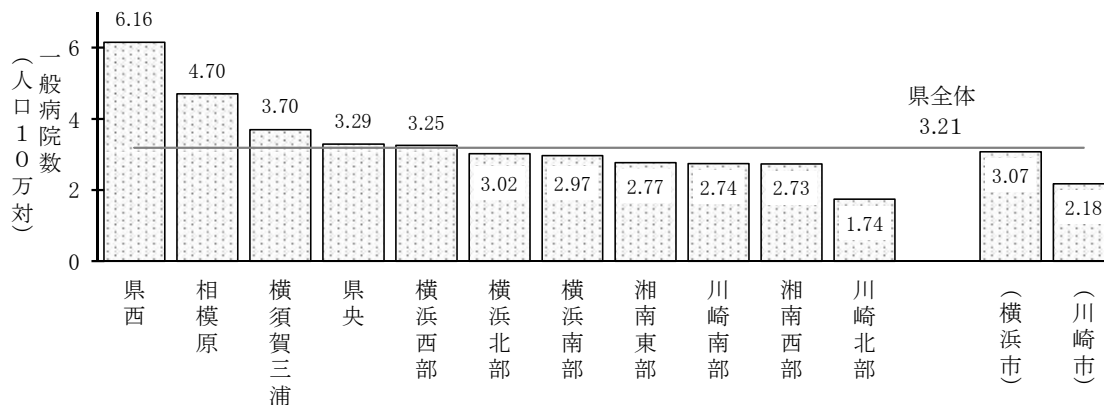
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-7 全病院数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



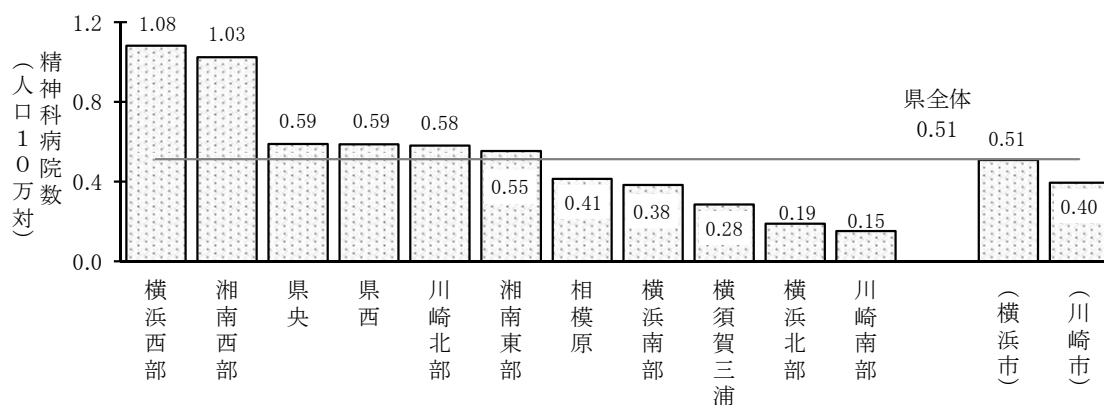
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-8 一般病院数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



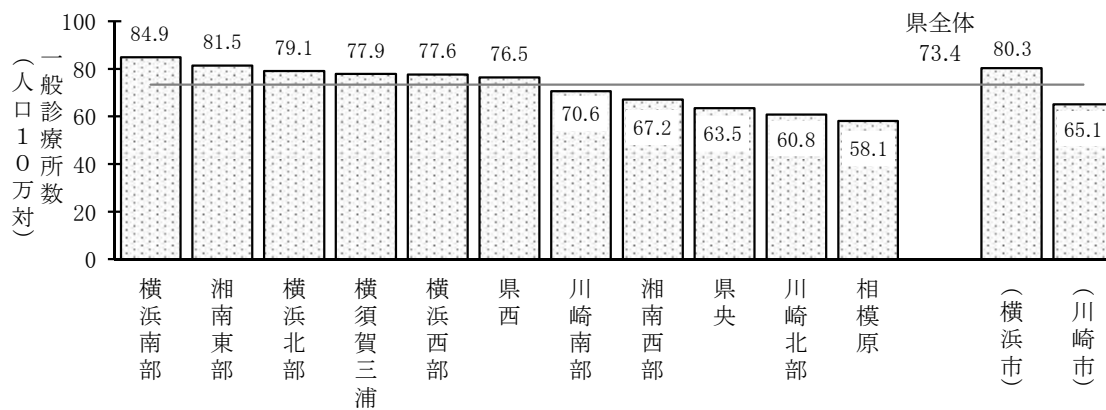
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-9 精神科病院数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



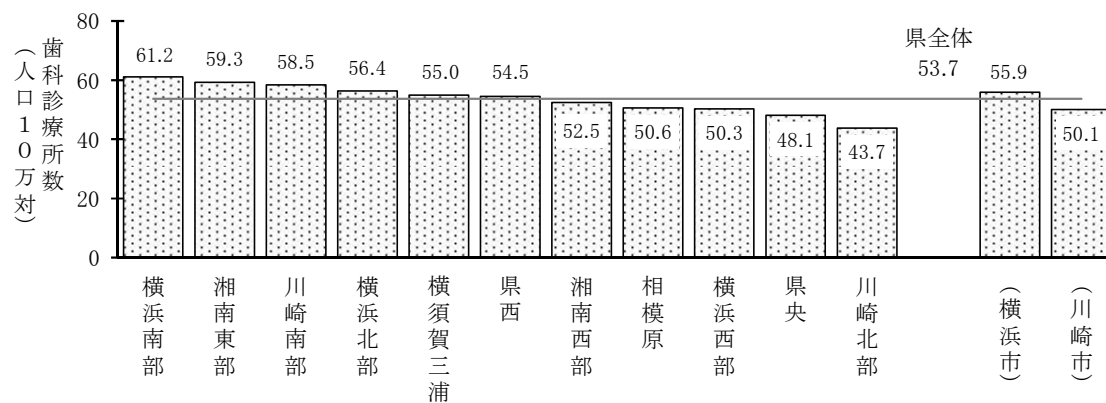
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-10 一般診療所数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-11 歯科診療所数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）

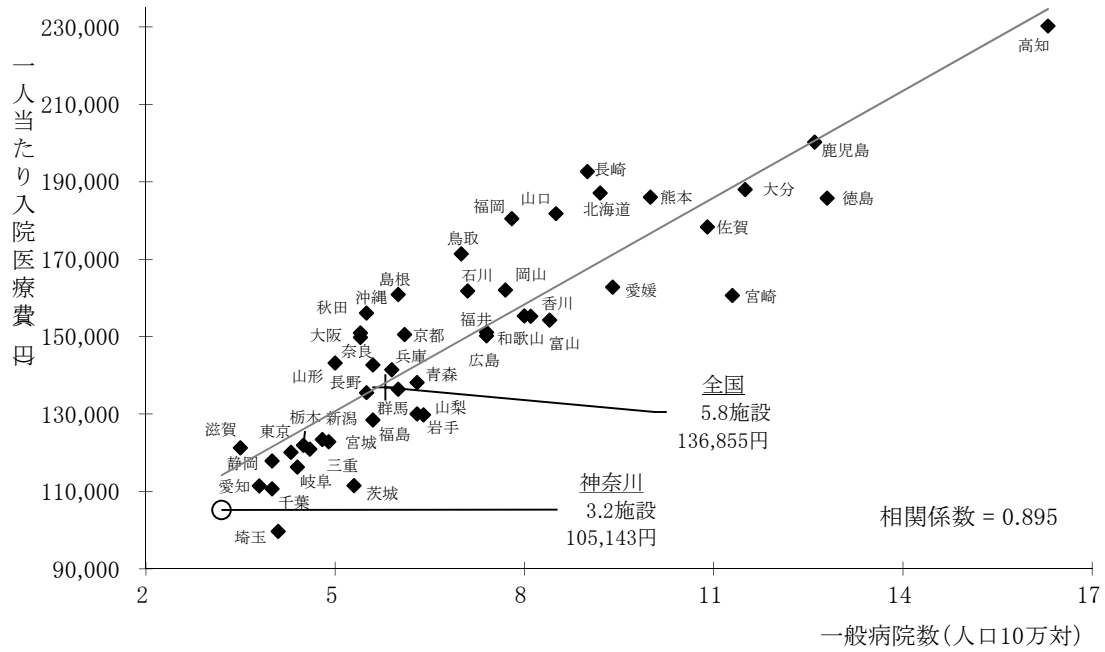


出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

(イ) 医療施設数と一人当たり概算医療費の関係

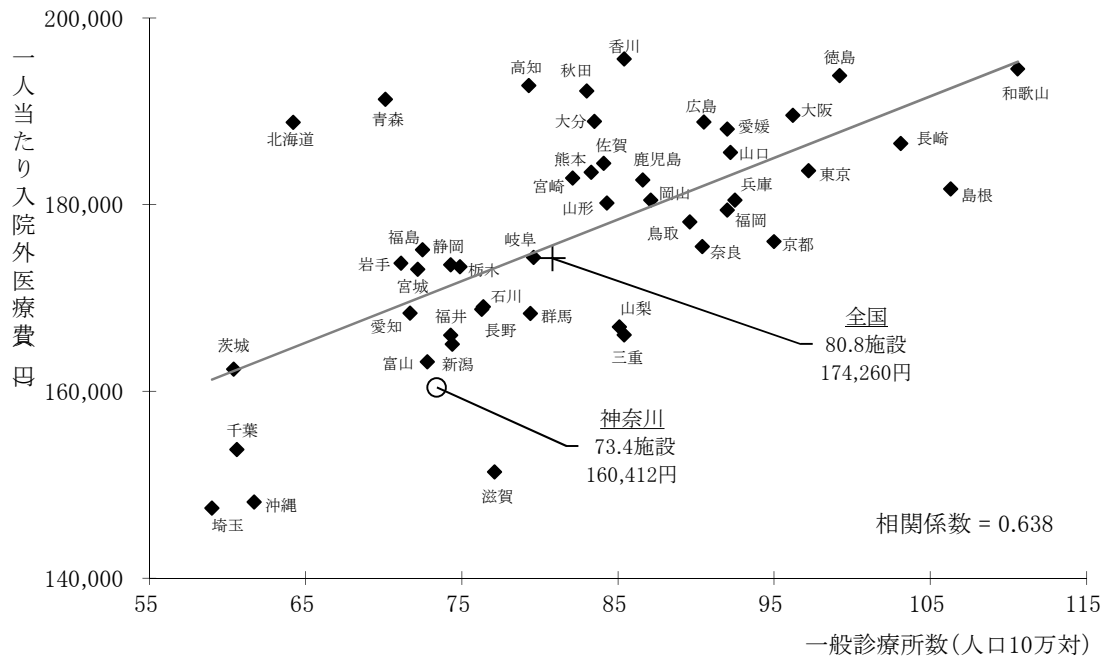
- 人口10万人当たりの一般病院数と一人当たり概算医療費（入院）、一般診療所数と一人当たり概算医療費（入院外）の関係を都道府県で比較すると、いずれも医療施設数が多くなるほど一人当たり概算医療費（入院、入院外）が高くなる傾向があり、特に、一人当たり入院医療費では強い相関が見られます。（図3-12、図3-13）
- 神奈川県は人口10万人当たりの一般病院数、一般診療所数は全国値を下回っており、一人当たり概算医療費（入院、入院外）も全国値を下回っています。（図3-12、図3-13）

図3-12 一般病院数(人口10万人当たり)と一人当たり入院医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



出典：厚生労働省 医療施設調査(平成30年)
厚生労働省 概算医療費(平成30年4月～平成31年3月)

図3-13 一般診療所数(人口10万人当たり)と一人当たり入院外医療費の関係[概算医療費][都道府県別]



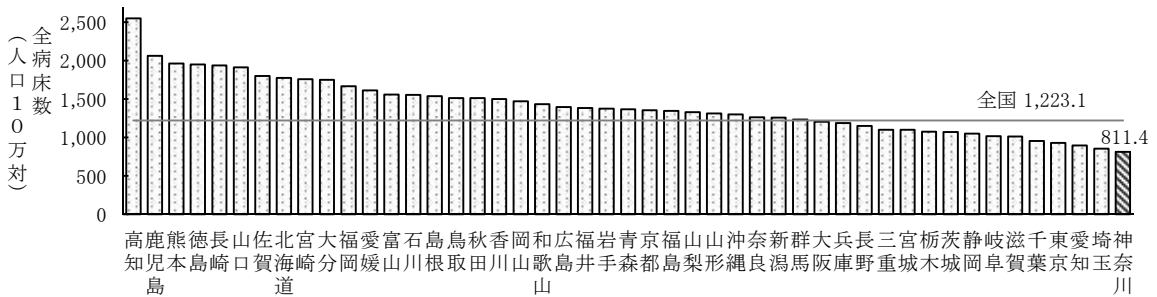
出典：厚生労働省 医療施設調査(平成30年)
厚生労働省 概算医療費(平成30年4月～平成31年3月)

イ 病床数の状況

(ア) 病床数の状況

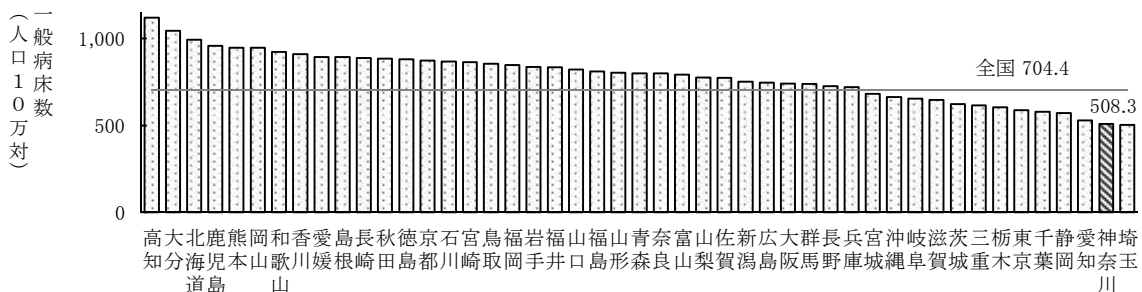
- 平成30年の人口10万人当たりの病床数を都道府県で比較すると、全病床は神奈川県が811.4床に対し全国が1,223.1床、精神病床は神奈川県が150.6床に対し全国が260.7床で、いずれも神奈川県が最も少なくなっています。(図3-14、図3-17)
- また、一般病床は、神奈川県が508.3床に対し全国が704.4床、療養病床は神奈川県が149.9床に対し全国が252.7床で、いずれも神奈川県は少ない方から2番目となっています。(図3-15、図3-16)
- 平成20から30年の県の人口10万人当たりの病床数の推移をみると、全病床は減少傾向にあります。一般病床は減少傾向、療養病床はほぼ横ばい、精神病床数も平成23年以降はほぼ横ばいです。(表3-18)
- 平成30年の人口10万人当たりの病床数を県内二次保健医療圏で比較すると、全病床は、県西(1,210.6床)が最も多く、横浜北部(573.1床)が最も少なくなっています。(図3-19)
- 一般病床は、川崎南部(653.9床)が最も多く、横浜北部(371.6床)が最も少なくなっています。(図3-20)
- 療養病床は、相模原(371.1床)が最も多く、横浜南部(62.3床)が最も少なくなっています。(図3-21)
- 精神病床は、横浜西部(284.5床)が最も多く、川崎南部(36.2床)が最も少なくなっています。(図3-22)

図3-14 全病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]



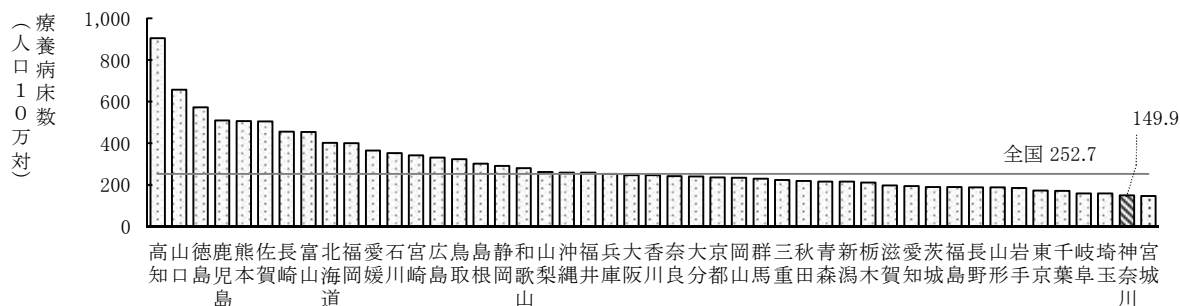
出典：厚生労働省 医療施設調査(平成30年)

図3-15 一般病床数(人口10万人当たり)[都道府県別]



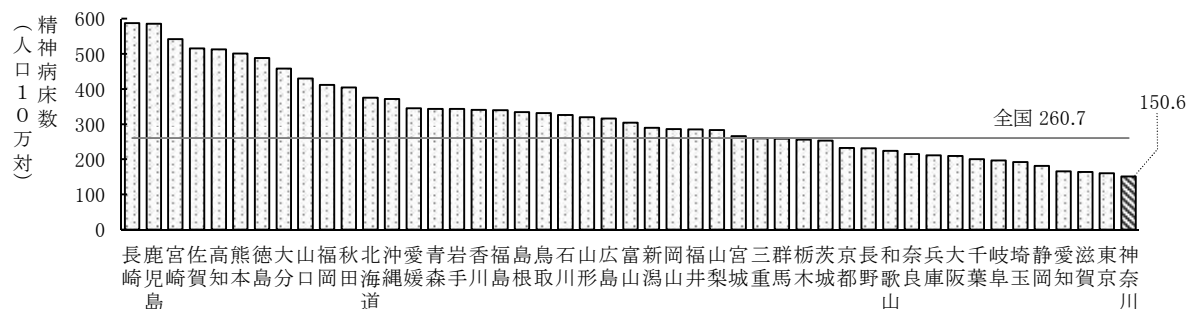
出典：厚生労働省 医療施設調査(平成30年)

図3-16 療養病床数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

図3-17 精神病床数（人口10万人当たり）〔都道府県別〕



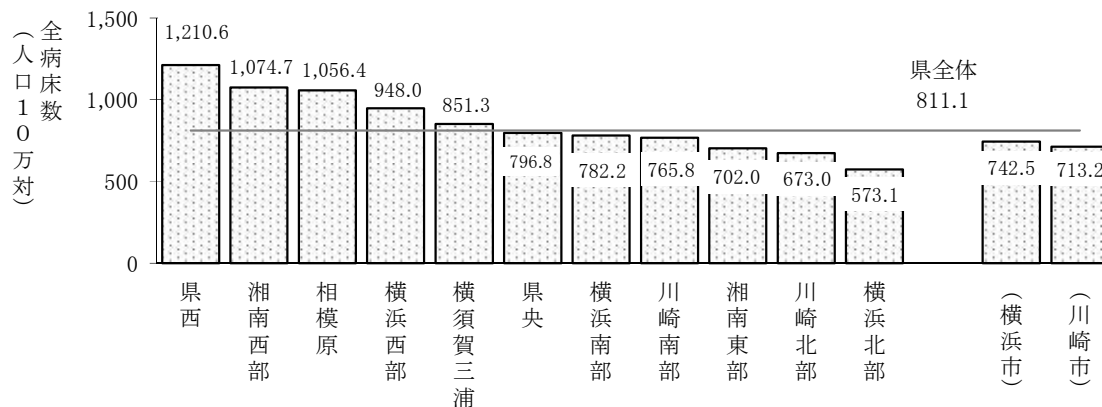
出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）

表3-18 病床数（人口10万人当たり）の推移

		(単位:床)										
		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全病床	全国	1,260.4	1,256.0	1,244.3	1,238.7	1,237.7	1,236.3	1,234.0	1,232.1	1,229.8	1,227.2	1,223.1
	神奈川県	832.2	826.7	813.1	815.1	821.0	815.8	814.9	810.5	808.9	806.2	811.4
一般病床	全国	712.2	710.8	705.6	703.7	704.4	704.9	703.6	703.4	702.3	703.1	704.4
	神奈川県	527.5	522.8	514.7	513.3	517.5	513.2	508.7	507.1	509.2	506.7	508.3
療養病床	全国	265.8	263.7	260.0	258.3	257.9	257.8	258.2	258.4	258.5	256.7	252.7
	神奈川県	142.6	144.8	143.3	145.6	147.3	147.3	148.0	147.1	145.1	145.4	149.9
精神病床	全国	273.6	273.0	270.7	269.2	268.4	266.9	266.1	264.6	263.3	261.8	260.7
	神奈川県	157.6	156.1	152.4	153.6	153.5	152.7	155.6	153.6	152.1	151.5	150.6

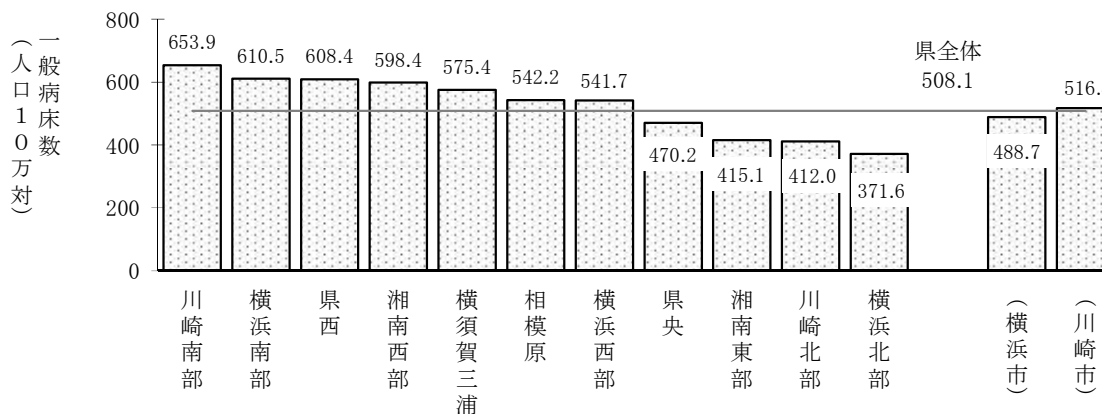
出典：厚生労働省 医療施設調査（各年）
総務省 人口推計（各年）

図3-19 全病床数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



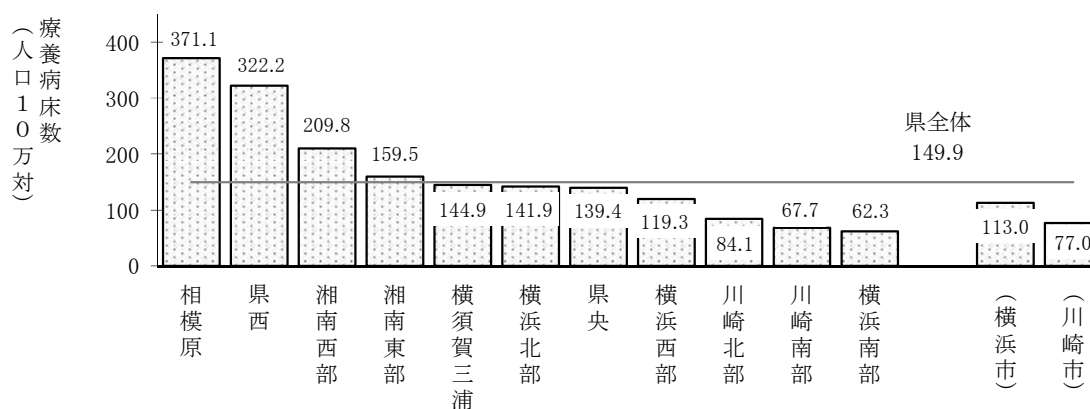
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-20 一般病床数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



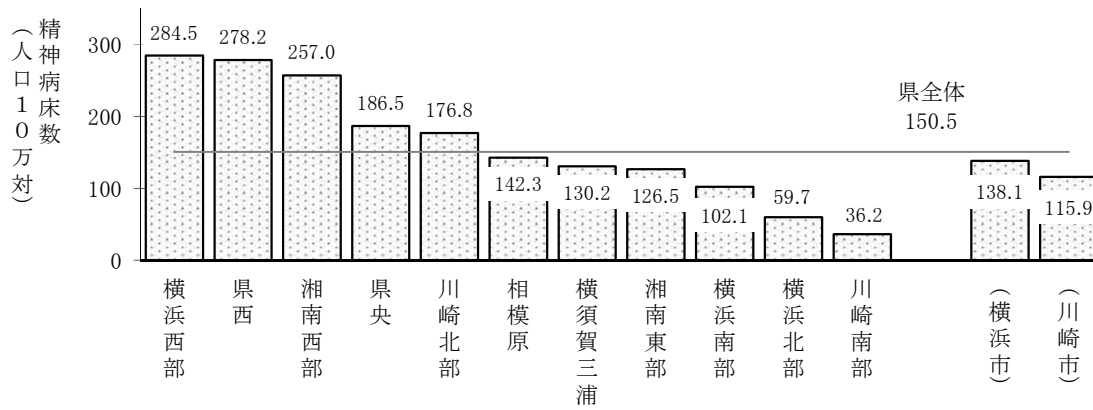
出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-21 療養病床数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）



出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

図3-2-2 精神病床数（人口10万人当たり）〔県内圏域別〕（※1）

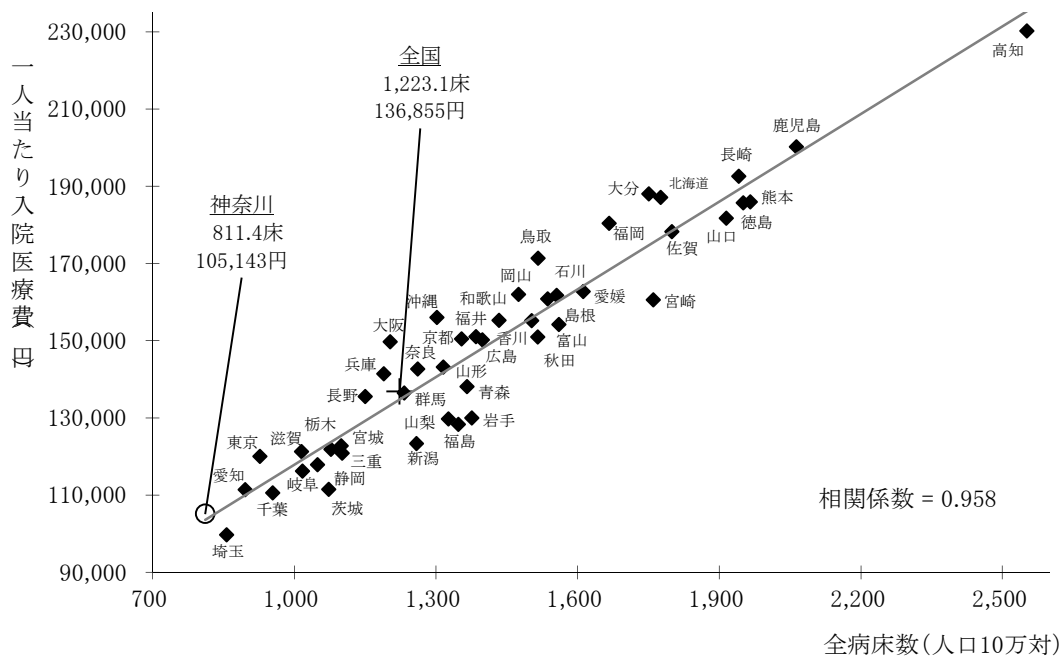


出典：神奈川県 衛生統計年報（平成30年）

(イ) 病床数と一人当たり概算医療費の関係

- 人口10万人当たりの全病床数と一人当たり概算医療費（入院）の関係を都道府県で比較すると、病床数が多いほど、一人当たり概算医療費（入院）が高くなる傾向があり、強い相関が見られます。（図3-23）
- 神奈川県は人口10万人当たりの全病床は全国値を大きく下回っており、一人当たり概算医療費（入院）も全国値を大きく下回っています。（図3-23）

図3-23 全病床数（人口10万人当たり）と一人当たり入院医療費の関係 [概算医療費] [都道府県別]

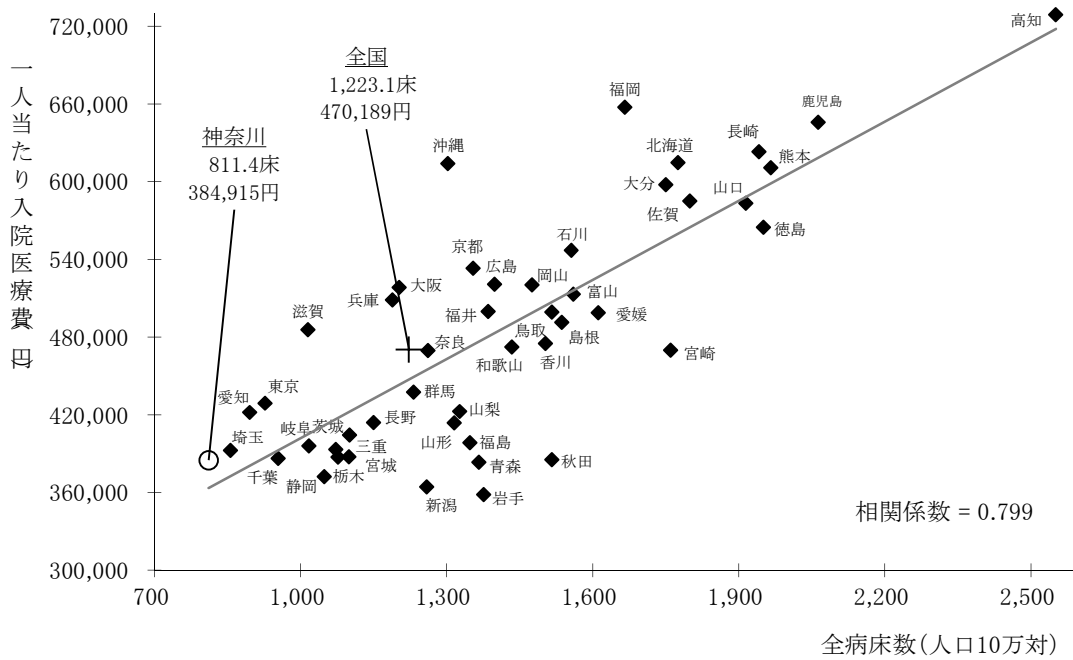


出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）
 厚生労働省 概算医療費（平成30年4月～平成31年3月）

(ウ) 病床数と一人当たり後期高齢者医療費の関係

- 人口10万人当たりの全病床数と一人当たり後期高齢者医療費（入院）の関係を都道府県で比較すると、病床数が多いほど、一人当たり後期高齢者医療費（入院）が高くなる傾向があります。（図3-24）
- 神奈川県の人口10万人当たりの全病床数は全国値を下回っており、一人当たり後期高齢者医療費（入院）も全国値を下回っています。（図3-24）

図3-24 全病床数（人口10万人当たり）と一人当たり入院医療費の関係〔後期高齢者医療費〕〔都道府県別〕



出典：厚生労働省 医療施設調査（平成30年）
 厚生労働省 後期高齢者医療事業年報（平成30年）

2 神奈川県の特徴と課題

(1) 神奈川県の特徴

ア 医療費の状況

- 神奈川県は県民医療費は平成27年度まで一貫して増加を続け、平成28年度は前年度から減少しましたが、平成29年度からは再び増加しています。
- 神奈川県は一人当たり概算医療費は全国値を大きく下回り、入院、入院外、歯科別にみても全て全国値を下回っています。ただし、入院外のうち、調剤の一人当たり医療費は全国値をやや上回っています。
- 概算医療費の一人当たり日数と一日当たり医療費の関係を入院、入院外、歯科別に全国値と比較すると、神奈川県は入院において「少日数・高単価」に分類され、入院外と歯科においては、「少日数・高単価」と「少日数・低単価」の中間に位置しています。
- 概算医療費における神奈川県の医療費の3要素を入院、入院外、歯科別にみると、一日当たり医療費は入院と歯科において全国値を上回り、その他の要素(受診率・一件当たり日数)はいずれも全国値を下回っています。
- 神奈川県は一人当たり後期高齢者医療費は、全国値を下回っています。入院、入院外、歯科別にみると入院では全国値を下回っていますが、入院外、歯科では全国値を上回っています。また、入院外のうち、調剤の一人当たり医療費も全国値を上回っています。
- 後期高齢者医療費の一人当たり日数と一日当たり医療費の関係を入院、入院外、歯科別に全国値と比較すると、入院外はほぼ全国平均の水準にあります。一方、入院は「少日数・高単価」、歯科は「多日数・低単価」に分類されます。
- 後期高齢者医療費における神奈川県の医療費の3要素を入院、入院外、歯科別にみると、全国値を上回るのは入院外及び歯科の受診率、入院の一日当たり医療費で、逆に下回るのは入院の受診率、入院、入院外及び歯科の一件当たり日数、入院外、歯科の一日当たり医療費となっています。
- 概算医療費及び後期高齢者医療費における入院及び入院外の医療費の3要素のそれぞれと一人当たり医療費の関係を都道府県で比較すると、受診率と一人当たり医療費の相関が強く、受診率が高いほど一人当たり医療費も高くなる傾向があります。
- 神奈川県は特定健康診査実施率は53.6%と、全国値の54.4%をわずかに下回っています。特定健康診査実施率と、一人当たり後期高齢者医療費との関係を都道府県別で比較すると、特定健康診査実施率が高いほど一人当たり後期高齢者医療費が低くなる傾向が見られます。
- 神奈川県は後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用割合は上昇傾向にありますが、令和2年3月で78.6%と全国値(80.4%)をやや下回っています。全国値と神奈川県の差(1.8%)は平成31年3月(2.0%)よりやや縮小しています。都道府県別にみると、後発医薬品の使用割合は低い方から数えて10番目です。
- 神奈川県のがん検診受診率は、平成28年から令和元年にかけて胃がんが横ばいであることを除き、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんのいずれも増加して目標の50%に近づいてきています。
国民健康保険及び後期高齢者医療制度における神奈川県の悪性新生物の医療費の推移をみると、平成28年5月から令和元年5月にかけて、後期高齢者医療制度では一貫して増加しています。一方、国民健康保険では令和元年5月はほぼ横ばいとなっています。

イ 生活習慣病を中心にみた医療費

- 神奈川県国民健康保険における中分類の疾病別医療費及び一人当たり医療費の上位10疾患をみると、全体では腎不全が最も高く、40歳代では2位につけ、50歳以上の年齢階層においては1位となっています。
- 一方、受診率の上位10疾患をみると、40歳未満では皮膚組織や呼吸器系の疾患が上位に出現し、40歳代では気分（感情）障害（躁うつ病を含む）、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、その他の神経系の疾患などの精神・神経系の疾患が、50歳代以上の年齢階層では高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病が、上位に出現しています。
- 生活習慣病の一人当たり医療費と受診率は、年齢の上昇とともに高まる傾向にあり、特に高血圧性疾患と糖尿病は、大きく上昇します。
- 神奈川県国民健康保険における疾病別医療費をみると、高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳梗塞、脳内出血、糖尿病、腎不全などの、生活習慣と関連の深い疾病が全体の約2割を占めています。
- 神奈川県糖尿病総患者数は、平成20年度が15万人、23年度が21万人と増加した後、26年度は19.6万人、29年度は16.5万人と減少しています。また、糖尿病性腎症による年間の新規透析患者数をみると、平成27年以降、令和4（2022）年度目標水準（925人）を大きく上回る1,000人超の水準にありましたが、平成28年度の1,039人をピークに減少に転じ、30年度は953人に減少しています。

ウ 医療の提供体制を巡る状況

- 神奈川県人口10万人当たりの医療施設数は、全国値を大きく下回っています。人口10万人当たり医療施設数と、一人当たり医療費（概算医療費）の関係を都道府県で比較すると、人口10万人当たり医療施設数が多くなるほど一人当たり医療費も高くなる傾向があり、特に、一人当たり入院医療費でこの傾向が強くなります。
- 神奈川県人口10万人当たりの病床数は、全国値を大きく下回っています。人口10万人当たりの病床数と一人当たり医療費（概算医療費・後期高齢者医療費）の関係を都道府県で比較すると、人口10万人当たりの病床数が多くなるほど一人当たり医療費も高くなる傾向があります。

(2) 重点的に取り組むべき課題

ア 健康の保持の推進

- 神奈川県の一人大たり後期高齢者医療費は、全国値を下回る水準にありますが、後期高齢者医療被保険者数の伸び率は全国の伸び率を上回って推移しています。生活習慣病患者は、特に高血圧性疾患や糖尿病で医療費に占める割合や受診率が40歳代以降大きく増加する傾向があるように、加齢とともに増加することから、急速な^{*1}高齢化の進行により、医療費の増加が予想されます。
- 生活習慣病は一人当たり医療費が高額で、医療費に占める生活習慣病の医療費の割合は国民健康保険で約20%を占めています。
- 神奈川県は総人口は、2020年前後をピークに減少に転じる見通し^{*1}です。一方、65歳以上の高齢者の割合は増加の一途を辿り、人口倍率(対2015年比)の伸び幅は、神奈川県が全国を上回っています。65歳以上の人口は、2030年には250万人を超え、神奈川県は人口の3割近くに増加すると予想されています^{*1}。さらに75歳以上の人口は、2030年には150万人を超え、神奈川県は人口の2割近くに増加することが見込まれています^{*1}。今後、神奈川県全体の医療費においても高齢者がより大きな割合を占めるようになると考えられます。
- 急速な高齢化に対し、公的医療保険制度を持続可能とするためには、県民医療費に占める割合が年々増加している後期高齢者医療費の伸びを適正化することが最重要課題といえます。
- 後期高齢者層では、生活習慣病をはじめとした疾患を複数保有している場合が多く、その分医療費が高額になっていると考えられます。特に、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞等の脳血管疾患は、その医療費が高額なこともあります。これら疾患を起因とした麻痺やその後の認知症の発生も少なからずあり、医療と介護の両面における負担の増加につながる可能性があります。
- 高血圧や糖尿病等の基礎疾患を保有する高齢者層においては、動脈硬化から虚血性心疾患や脳血管疾患等への重症化の予防が重要と考えられます。
- 後期高齢者層では、加齢とともに骨折のリスクが高まります。神奈川県においても、80歳以上の後期高齢者医療費の上位5位以内に骨折があがっています。高齢者の骨折の背景要因としては、骨自体が脆くなる骨粗しょう症が考えられますが、加齢に伴う筋力減少、運動機能の低下(フレイル、サルコペニア)等による転倒リスクの上昇も要因と考えられます。
- 高齢者では、加齢とともに栄養摂取状態が悪化し、フレイルやサルコペニアのリスクが高まるといわれています。「日本人の食事摂取基準(2020年版)」(厚生労働省)では、フレイル予防の観点から、75歳以上の後期高齢者においては目標とするBMIの範囲を21.5~24.9 kg/m²として、「肥満」とともに「低栄養」を課題としています。
- 後期高齢者の医療費上位の疾患の中には、認知症(アルツハイマー病等)があります。認知症も医療と介護の両面で負担の増加につながると考えられ、特に、認知症に伴う行動・心理症状(BPSD)^{*2}を有するケースでは、介護負担はより高まるといわれています。また、認知症患者は自己管理能力が低下するため、さまざまな疾患の重症化リスクが高まると考えられます。
- 神奈川県においては、今後も高齢者数の増加が続くと予測されており、認知症の未病改善は重要な課題と考えられます。令和2年2月以降のCOVID-19感染症の全国的な拡大に伴い、外出機会や社会的な接触の減少がフレイルや認知症の発症・進行のリスクとなる懸念が高まっています。
- 一方、県民の健康の保持の推進と、医療費の伸びの適正化のためには、若年期から前期高齢者層における高血圧性疾患や糖尿病などの生活習慣病予防対策に、引き続き重点的に取り組む必要があります。
- 糖尿病については、放置すると網膜症・腎症・神経障害等の合併症を引き起こし、患者QOLの著しい低下のみならず、医療費にも大きな影響を与えます。神奈川県第三期医療費適正化計画(以下「第三期計画」という。)では、令和4(2022)年度目標として、糖尿病有病者数の増加の抑制を

指しています。(目標水準22万人) また、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少を目指しています。(目標水準925人)

- 糖尿病重症化予防については、未治療者や治療中断者への受診勧奨やアドヒアランス*3向上の取組みが重要です。そのためには、特定健康診査受診率の向上が重要になります。第三期計画においては、令和5(2023)年度目標として、特定健康診査実施率70%以上を目指しています。特定健康診査未受診者は潜在的にリスクを保有している可能性があります。そのため、生活習慣病の早期治療・重症化予防のための毎年の健診受診の重要性を普及・啓発する取組み等を通じ、健康づくりを推進していくことが重要と考えられます。
- また、歯科疾病とくに歯周病も若年期からの日常生活における予防が重要な疾病です。歯と口腔の健康づくりは、生涯にわたる健康の保持増進に寄与するとともに、生活の質の向上にも影響するため、保健、医療、福祉等の多職種連携によるライフステージに応じた継続的な歯科保健対策が重要です。第三期計画においては、令和4(2022)年度目標として、80歳(75～84歳)で自分の歯を20本以上持つ人の割合を、65%以上とすることを目指しています。
- さらに、人口構成が高齢化する中で、がん対策も重要な課題の一つです。がんは早期発見、早期治療が肝要といわれており、第三期計画においては、令和5(2023)年度目標として、がん検診受診率(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)を50%以上とすることを位置づけています。令和元年度時点で40%台の水準ですので引き続き市町村が行っているがん検診の受診促進に加えて、事業者・保険者による職域におけるがん検診についても受診促進の取組みが必要です。
- いずれの取組みも効果が表れるまでに時間がかかるため、持続的な取組みが肝要です。とりわけ特定健康診査の実施率(受診率)を更に高め、特定保健指導により生活習慣病の予防を図ることは喫緊の課題と言えます。また、今後、生活習慣病の重症化予防を図るうえで、特定健康診査結果やレセプトを活用した客観的なエビデンス(データ)に基づく保健事業(データヘルス)の取組みや評価が重要と考えられます。

*1 65歳以上人口及び75歳以上人口推計(神奈川県/全国)

『日本の都道府県別将来推計人口』国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)
(平成27年を基準として、令和2～12年は推計)

全国							
	総人口 (1,000人)	65歳以上			75歳以上		
		人口 (1,000人)	対総人口 割合	人口倍率 (対2015年比)	人口 (1,000人)	対総人口 割合	人口倍率 (対2015年比)
平成27年(2015)	127,095	33,868	26.6%	1.00	16,322	12.8%	1.00
令和2年(2020)	125,325	36,192	28.9%	1.07	18,720	14.9%	1.15
令和7年(2025)	122,544	36,771	30.0%	1.09	21,800	17.8%	1.34
令和12年(2030)	119,125	37,160	31.2%	1.10	22,884	19.2%	1.40

神奈川県							
	総人口 (1,000人)	65歳以上			75歳以上		
		人口 (1,000人)	対総人口 割合	人口倍率 (対2015年比)	人口 (1,000人)	対総人口 割合	人口倍率 (対2015年比)
平成27年(2015)	9,126	2,178	23.9%	1.00	993	10.9%	1.00
令和2年(2020)	9,141	2,356	25.8%	1.08	1,230	13.5%	1.24
令和7年(2025)	9,070	2,424	26.7%	1.11	1,467	16.2%	1.48
令和12年(2030)	8,933	2,526	28.3%	1.16	1,531	17.1%	1.54

*2 BPSD Behavioral and Psychological Symptoms of Dementiaの略

*3 アドヒアランス 患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること。

イ 効率的な医療の提供

- 人口10万人当たりの医療施設数及び病床数は一人当たり医療費に影響を及ぼしていると考えられ、人口10万人当たりの医療施設数及び病床数が多いほど、一人当たり医療費が高くなる傾向があります。
- 神奈川県は人口10万人当たりの医療施設数は、歯科診療所を除き全国値を下回り、また、人口10万人当たりの病床数は、全ての病床において全国値を大きく下回っていることから、一人当たり医療費が低くなっています。
- 今後は急速な高齢化が進む中で、高齢単独世帯の大幅な増加も予測されています*4。効率的な医療の提供体制を維持しつつ急速な高齢化に対応するためには、地域包括ケアシステム構築を推進し、医療と介護の連携を強化することが急務と考えられます。
- 我が国の後発医薬品の使用割合*5の目標を令和2(2020)年9月までに80%とする政府目標(「経済財政運営と改革の基本方針2017」)を受け、神奈川県においても、第三期計画において、令和5(2023)年度目標として、後発医薬品の使用割合を80%以上とすることを位置づけています。令和2年3月の後発医薬品の使用割合(数量ベース)において、神奈川県は、前年度の75.7%から2.9ポイント上昇し78.6%となっていますが、全国平均の80.4%を下回っています。
- 後発医薬品の使用促進は、医療費にかかる患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するため、安定供給や品質に対する信頼性の確保に向けた取組み強化、県民や医療関係者への情報提供の強化、使用促進に係る環境整備といった後発医薬品の普及に係る更なる取組みが引き続き必要となります。
- 残薬の解消、重複投薬の是正も、医療費の適正化のための重要な取組です。また、高齢化が進展する中、医薬品の適正使用の観点からは、これらに加えて、ポリファーマシー*6への取組みの必要性も今後高まっていくと考えられます。そのため、かかりつけ薬剤師・薬局の活用を啓発することにより、医薬品の適正使用に係る理解と普及を促す取組みを推進していくことが重要と考えられます。

*4 神奈川県の高齢(65歳以上)単独世帯数の予測値

『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』(平成31年4月推計) 国立社会保障・人口問題研究所

平成27年(2015)	令和2年(2020)	令和7年(2025)	令和12年(2030)
約41万世帯 (10.4%)	約48万世帯 (11.7%)	約52万世帯 (12.5%)	約56万世帯 (13.7%)

(): 全世帯数に対する割合

*5 後発医薬品の使用割合の計算式

後発医薬品の使用割合 = [後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])

*6 ポリファーマシー

単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態。

ウ 適正な受診の促進

- 後期高齢者医療における一人当たり医療費は、受診率が高いほど高くなる傾向が強く、神奈川県は入院外と歯科において受診率が全国値を上回っていることから、一人当たり入院外医療費や一人当たり歯科医療費が全国値を上回っているものと考えられます。
- 医療機関の受診者のなかには、複数の医療機関での受診(重複受診)や毎日のように受診(頻回

受診) する方が見受けられ、必要以上に受診率が高くなり医療費も高くなっている可能性があります。

- 重複受診・頻回受診の状況をレセプト等から確認し適正な受診を促進していくことは重要な課題と考えられます。必要な受診を抑制することはあってはなりません。医療費の重複、過剰抑制の観点のみならず、例えば、医薬品の重複投与や飲み合わせなど医療安全上のリスク低減の観点からも重要と考えられます。併せて、医療費や公的医療保険の仕組みに対する関心を高める意識啓発も重要と考えられます。